

茂木町国民健康保険
第2期データヘルス計画

令和3年3月
茂木町

-目次-

第1章 計画策定について	
1. 背景	4
2. 計画期間	4
3. 基本方針	5
4. データヘルス計画の位置づけ	6
5. 実施体制・関係者連携	6
第2章 現状と課題把握	
1. 保険者の特性把握	7
(1) 基本情報	7
(2) 医療費等の状況	10
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	11
① 特定健康診査	11
② 特定保健指導	13
(4) 介護保険の状況	16
(5) 主たる死因の状況	22
2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)	25
(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況	25
(2) 第1期データヘルス計画の各事業実施内容	29
① 特定健康診査未受診者対策	29
② 特定健診継続受診対策	30
③ 特定保健指導事業	31
④ 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	32
⑤ 糖尿病性腎症重症化予防事業	33
⑥ 受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)	34
⑦ ジェネリック医薬品差額通知事業	35
⑧ 健康体操	36
⑨ 人間ドック受診推進事業	37
⑩ ヤング健診受診推進事業	38
⑪ COPD啓発事業	39
3. 医療情報分析結果	40
(1) 基礎統計	40
(2) 高額レセプトの件数及び医療費	42
① 高額レセプトの件数及び割合	42
② 高額レセプト発生患者の疾病傾向	44
(3) 疾病別医療費	48
① 大分類による疾病別医療費統計	48
② 中分類による疾病別医療費統計	55
(4) 生活習慣病に係る医療費	68
4. 保健事業実施に係る分析結果	71
(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析	71
(2) 特定健康診査に係る分析	72
(3) 特定保健指導に係る分析	74
(4) 健診異常値放置者に係る分析	76

-目次-

	(5)生活習慣病治療中断者に係る分析	78
	(6)糖尿病性腎症重症化予防に係る分析	80
	(7)受診行動適正化に係る分析	84
	(8)ジェネリック医薬品普及率に係る分析	85
	(9)薬剤併用禁忌に係る分析	88
	(10)服薬情報に係る分析	90
	5.分析結果に基づく健康課題の把握	92
	(1)分析結果	92
	(2)分析結果に基づく課題とその対策	99
	(3)茂木町の健康課題と第2期データヘルス計画に向けた目標	100
第3章 保健事業実施計画		
	1.各事業の目的と概要一覧	103
	2.全体スケジュール	105
	3.各事業の実施内容と評価方法	106
	(1)特定健康診査受診勧奨事業	106
	(2)特定健診継続受診対策	107
	(3)特定保健指導事業	108
	(4)生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	109
	(5)糖尿病重症化予防事業	110
	(6)受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)	111
	(7)ジェネリック医薬品差額通知事業	112
	(8)健康体操	113
	(9)人間ドック受診推進事業	114
	(10)ヤング健診受診推進事業	115
	(11)COPD啓発事業	116
	(12)歯周疾患検診事業	117
第4章 その他		
	1.データヘルス計画の見直し	118
	(1)評価	118
	(2)評価時期	118
	2.計画の公表・周知	118
	3.個人情報の取り扱い	119
	4.地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項	119
地区分析		
	1.大分類による疾病別医療費地区別統計	120
	2.中分類による疾病別医療費地区別統計	125
年度別 特定健康診査結果分析		
	1.有所見者割合	131
	2.質問別回答状況	140
巻末資料		
	1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	157
	2.用語解説集	158
	3.疾病分類表(2013年版)	159

第1章 計画策定について

1. 背景

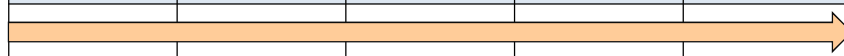
「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図る。

2. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、令和3年度から令和7年度の5年間とする。

■ 計画期間

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				

3. 基本方針

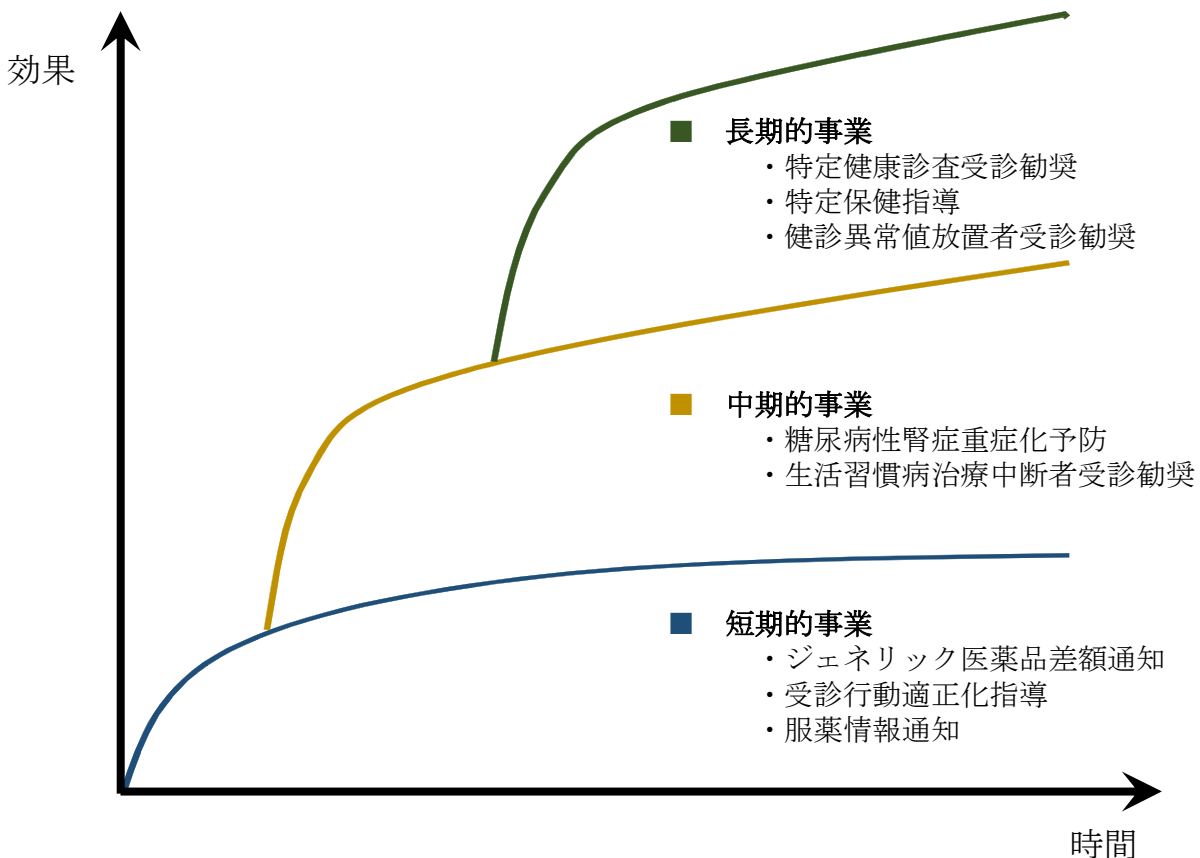
データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。

下図は代表的な保健事業の組み合わせである。これら事業を茂木町国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施する。



4. データヘルス計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「とちぎ健康21プラン」及び「茂木町健康増進計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要がある。

5. 実施体制・関係者連携

本計画の遂行に当たっては、保険部門(住民課)と健康・高齢者・介護部門(保健福祉課)が主体となり、保健師・栄養士等の専門職と課題や評価を共有し、一体となって保健事業を実施する。

計画の策定・評価・見直しには、町国民健康保険運営協議会、栃木県関係部局、栃木県国民健康保険団体連合会の保健事業支援評価委員会等との連携・協力を図る。

■ データ分析期間

- ・ 国保データベース(KDB)システムデータ
平成28年度～平成31年度(4年分)

- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
単年分析
平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)
年度分析
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
平成29年度…平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)
平成30年度…平成30年4月～平成31年3月診療分(12カ月分)
平成31年度…平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)

- ・ 健康診査データ
単年分析
平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)
年度分析
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)
平成29年度…平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)
平成30年度…平成30年4月～平成31年3月健診分(12カ月分)
平成31年度…平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)

第2章 現状と課題把握

1. 保険者の特性把握

(1) 基本情報

本町の平成31年度における、人口構成概要を以下に示す。高齢化率(65歳以上)は39.2%であり、県との比較で1.4倍、同規模との比較で1.2倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は3,653人で、町の人口に占める国民健康保険加入率は28.0%である。国民健康保険被保険者平均年齢は57.1歳である。

人口構成概要(平成31年度)

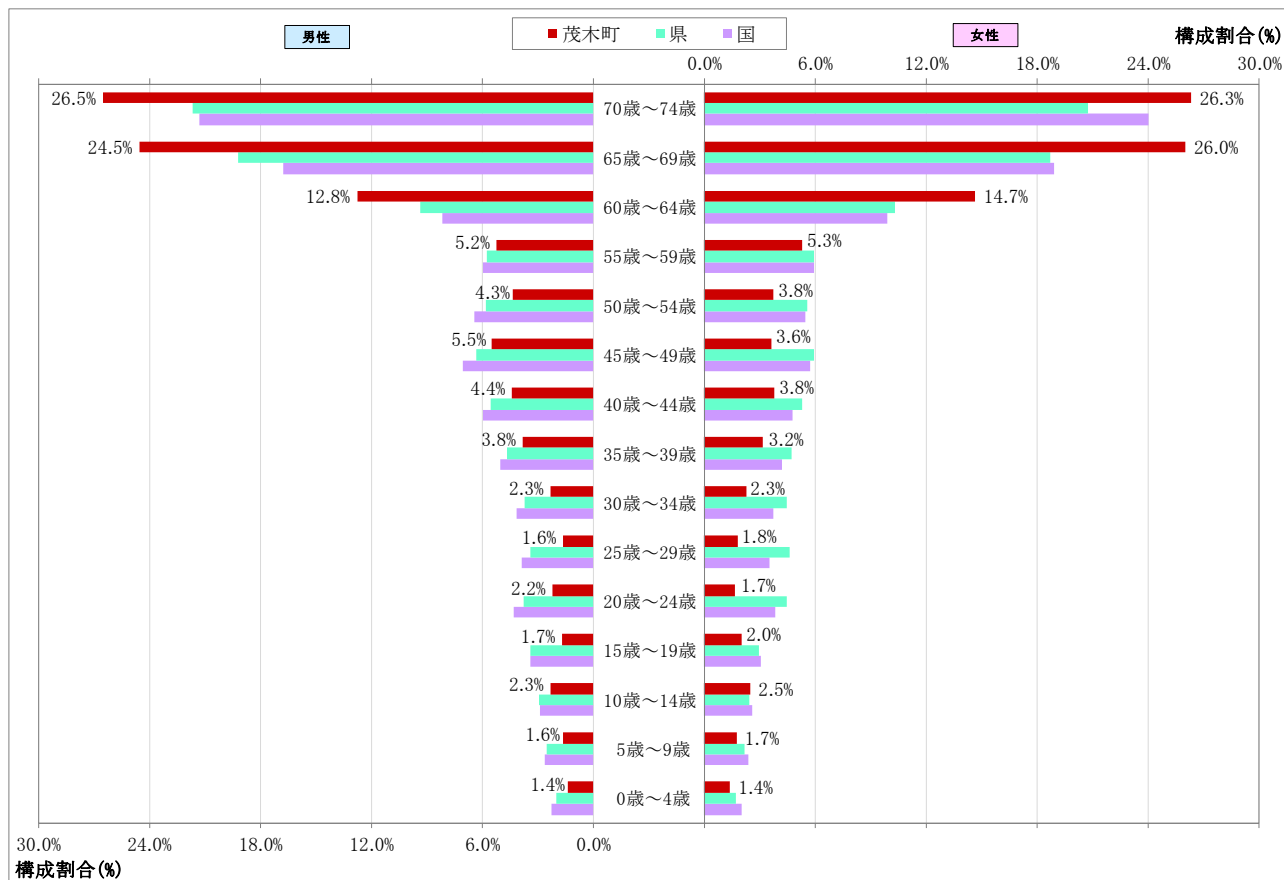
	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
茂木町	13,060	39.2%	3,653	28.0%	57.1	4.0%	18.0%
県	1,976,121	27.7%	452,906	22.9%	53.5	7.8%	10.4%
同規模	11,694	33.5%	3,056	26.1%	55.1	6.4%	14.9%
国	127,443,563	27.6%	27,083,475	21.3%	52.9	8.0%	10.3%

※「県」は栃木県を指す。以下すべての表において同様である。

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

総務省統計局「都道府県別年齢階級別人口」

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成31年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

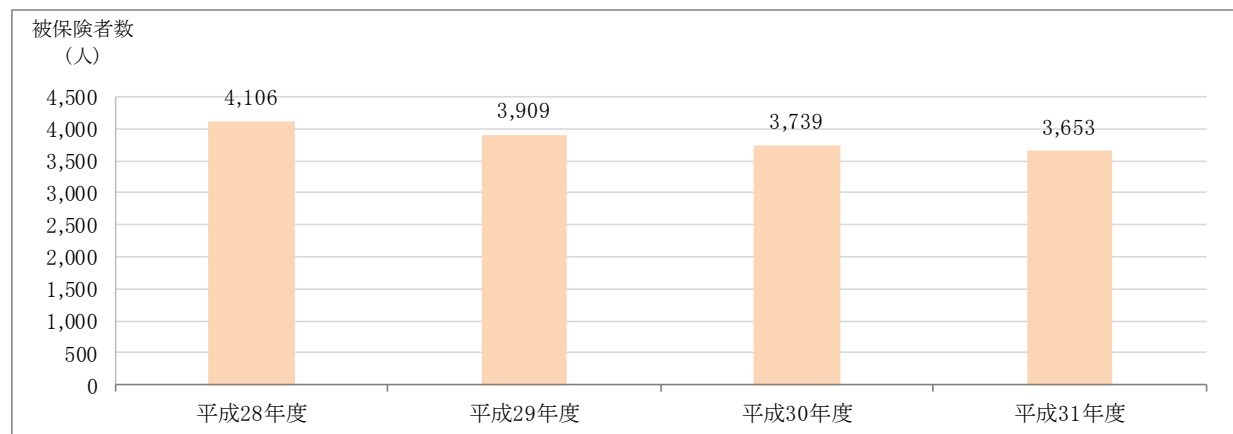
本町の平成28年度から平成31年度における、人口構成概要を年度別に示す。平成31年度を平成28年度と比較すると、国民健康保険被保険者数3,653人は平成28年度4,106人より453人減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢57.1歳は平成28年度55.0歳より2.1歳上昇している。

年度別 人口構成概要

区分		人口総数 (人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者 数(人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
茂木町	平成28年度	13,908	36.1%	4,106	29.5%	55.0	4.8%	15.9%
	平成29年度	13,603	37.2%	3,909	28.7%	55.9	4.0%	18.0%
	平成30年度	13,353	38.3%	3,739	28.0%	56.6	4.0%	18.0%
	平成31年度	13,060	39.2%	3,653	28.0%	57.1	4.0%	18.0%
県	平成28年度	1,998,864	25.7%	513,615	25.7%	51.9	8.4%	10.1%
	平成29年度	1,991,597	26.4%	491,802	24.7%	52.5	7.8%	10.4%
	平成30年度	1,985,738	27.1%	469,231	23.6%	53.0	7.8%	10.4%
	平成31年度	1,976,121	27.7%	452,906	22.9%	53.5	7.8%	10.4%
同規模	平成28年度	12,310	29.6%	3,354	27.2%	53.5	6.9%	13.7%
	平成29年度	11,371	33.6%	3,225	28.4%	54.2	6.4%	14.9%
	平成30年度	11,584	33.4%	3,139	27.1%	54.6	6.4%	14.8%
	平成31年度	11,694	33.5%	3,056	26.1%	55.1	6.4%	14.9%
国	平成28年度	128,066,211	26.3%	29,794,893	23.3%	51.8	8.6%	9.6%
	平成29年度	127,907,086	26.8%	28,831,499	22.5%	52.3	8.0%	10.3%
	平成30年度	127,707,259	27.2%	28,039,851	22.0%	52.5	8.0%	10.3%
	平成31年度	127,443,563	27.6%	27,083,475	21.3%	52.9	8.0%	10.3%

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」
総務省統計局「都道府県別年齢階級別人口」

年度別 被保険者数



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

男女・年齢階層別被保険者数を年度別に示す。

年度別 男女・年齢階層別国民健康保険被保険者数

単位：人

年齢階層	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性
0歳～4歳	61	30	31	57	29	28	49	25	24
5歳～9歳	87	41	46	69	28	41	60	29	31
10歳～14歳	93	47	46	94	48	46	87	42	45
15歳～19歳	89	45	44	78	38	40	72	37	35
20歳～24歳	103	54	49	83	46	37	67	40	27
25歳～29歳	80	50	30	79	49	30	76	37	39
30歳～34歳	150	77	73	108	60	48	87	49	38
35歳～39歳	168	101	67	161	98	63	151	88	63
40歳～44歳	161	96	65	152	84	68	167	95	72
45歳～49歳	173	94	79	166	102	64	160	102	58
50歳～54歳	180	100	80	165	90	75	151	83	68
55歳～59歳	285	137	148	250	119	131	214	100	114
60歳～64歳	663	323	340	586	290	296	542	271	271
65歳～69歳	1,140	602	538	1,089	564	525	1,001	512	489
70歳～74歳	673	342	331	772	393	379	855	453	402
合計	4,106	2,139	1,967	3,909	2,038	1,871	3,739	1,963	1,776

年齢階層	平成31年度		
	男女計	男性	女性
0歳～4歳	50	26	24
5歳～9歳	61	31	30
10歳～14歳	87	44	43
15歳～19歳	67	32	35
20歳～24歳	71	42	29
25歳～29歳	62	31	31
30歳～34歳	83	44	39
35歳～39歳	128	73	55
40歳～44歳	150	84	66
45歳～49歳	168	105	63
50歳～54歳	148	83	65
55歳～59歳	192	100	92
60歳～64歳	499	245	254
65歳～69歳	922	471	451
70歳～74歳	965	509	456
合計	3,653	1,920	1,733

出典：国保データベース（KDB）システム「人口及び被保険者の状況」

(2) 医療費等の状況

本町の平成31年度における、医療基礎情報を以下に示す。

医療基礎情報(平成31年度)

医療項目	茂木町	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.3	0.2	0.3	0.3
診療所数	2.2	2.7	2.5	3.4
病床数	10.9	40.1	40.5	52.0
医師数	2.5	8.6	4.5	10.7
外来患者数	797.7	679.6	704.1	682.3
入院患者数	23.6	16.8	23.2	18.7
受診率	821.3	696.4	727.3	701.0
一件当たり医療費(円)	34,730	34,820	40,040	37,230
一般(円)	34,770	34,820	40,040	37,230
退職(円)	14,960	35,030	38,600	36,040
外来				
外来費用の割合	59.1%	61.5%	56.4%	59.4%
外来受診率	797.7	679.6	704.1	682.3
一件当たり医療費(円)	21,120	21,940	23,330	22,710
一人当たり医療費(円)	16,850	14,910	16,420	15,500
一日当たり医療費(円)	15,890	14,940	15,930	14,960
一件当たり受診回数	1.3	1.5	1.5	1.5
入院				
入院費用の割合	40.9%	38.5%	43.6%	40.6%
入院率	23.6	16.8	23.2	18.7
一件当たり医療費(円)	494,260	556,200	546,830	567,030
一人当たり医療費(円)	11,680	9,340	12,700	10,600
一日当たり医療費(円)	25,600	34,870	32,660	36,070
一件当たり在院日数	19.3	16.0	16.7	15.7

出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

① 特定健康診査

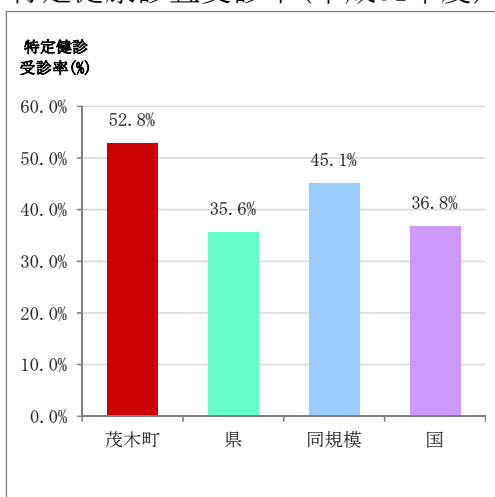
本町の平成31年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。

特定健康診査受診率(平成31年度)

	特定健診受診率
茂木町	52.8%
県	35.6%
同規模	45.1%
国	36.8%

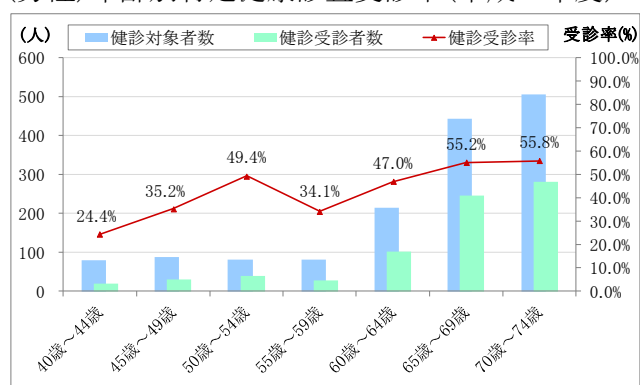
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定健康診査受診率(平成31年度)



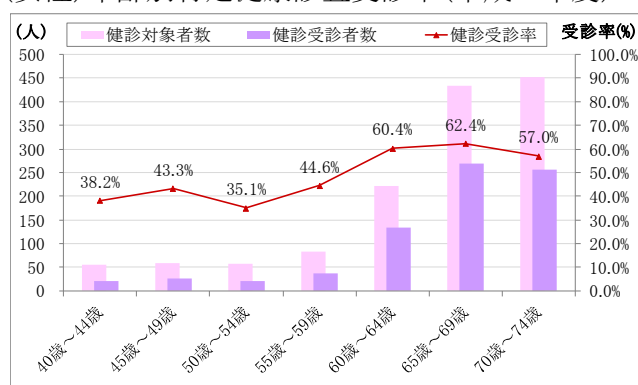
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(男性)年齢別特定健康診査受診率(平成31年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

(女性)年齢別特定健康診査受診率(平成31年度)



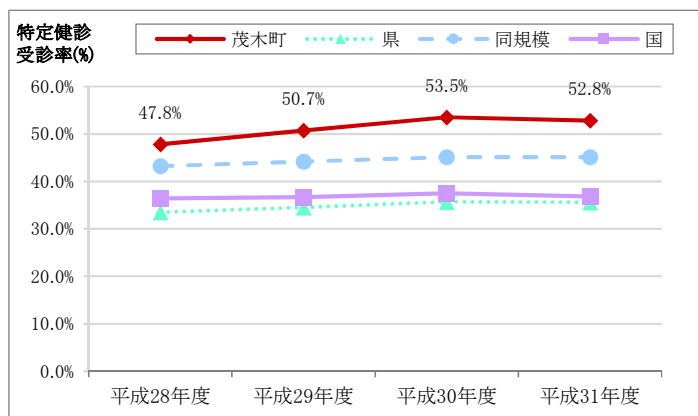
本町の平成28年度から平成31年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。平成31年度の特定健康診査受診率52.8%は平成28年度47.8%より5.0ポイント上昇している。

年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
茂木町	47.8%	50.7%	53.5%	52.8%
県	33.5%	34.5%	35.7%	35.6%
同規模	43.2%	44.2%	45.1%	45.1%
国	36.4%	36.7%	37.5%	36.8%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

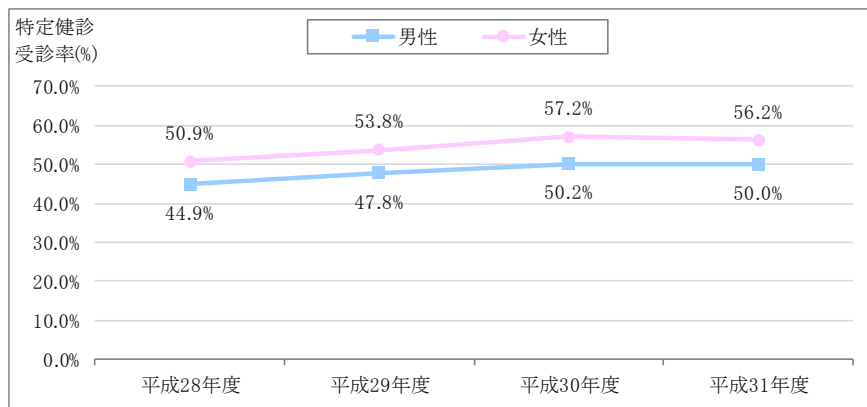
年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成31年度受診率50.0%は平成28年度44.9%より5.1ポイント上昇しており、女性の平成31年度受診率56.2%は平成28年度50.9%より5.3ポイント上昇している。

年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

②特定保健指導

本町の平成31年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示す。

特定保健指導実施状況(平成31年度)

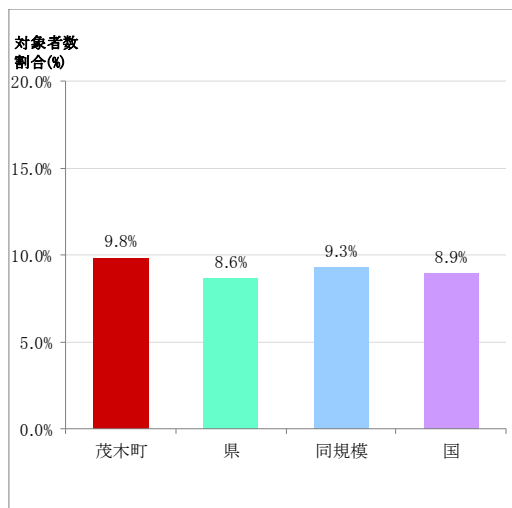
	動機付け支援 対象者数割合	積極的支援 対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導 実施率
茂木町	9.8%	3.0%	12.8%	40.7%
県	8.6%	2.7%	11.3%	28.8%
同規模	9.3%	3.1%	12.3%	25.7%
国	8.9%	3.1%	12.1%	14.9%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

特定保健指導実施率…最新データ反映前のため、最終結果とは異なる。

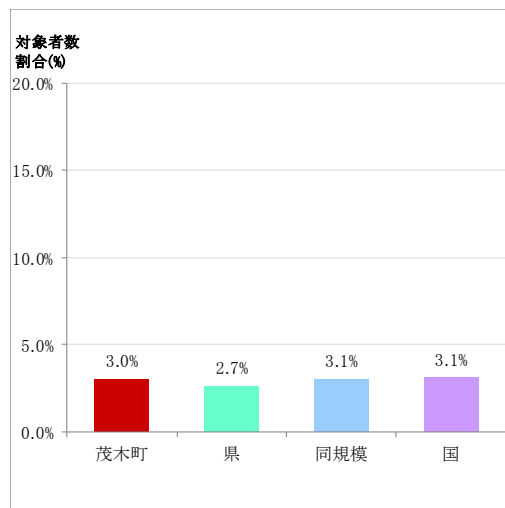
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

動機付け支援対象者数割合(平成31年度)



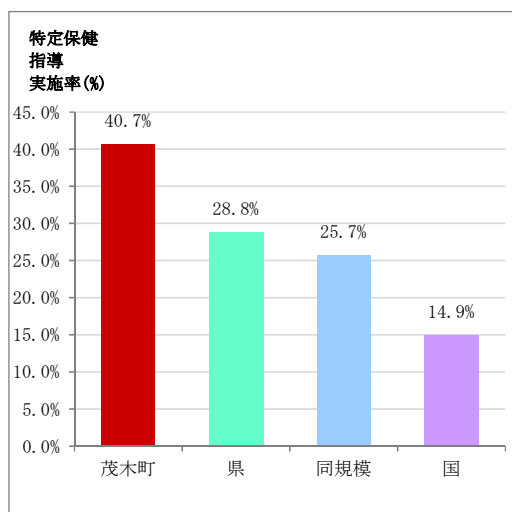
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

積極的支援対象者数割合(平成31年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定保健指導実施率(平成31年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本町の平成28年度から平成31年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。平成31年度の特定保健指導実施率36.6%は平成28年度31.6%より5.0ポイント上昇している。

年度別 動機付け支援対象者数割合

	動機付け支援対象者数割合			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
茂木町	9.8%	9.9%	10.3%	9.8%
県	8.6%	8.9%	8.8%	8.6%
同規模	9.0%	9.4%	9.4%	9.3%
国	8.7%	9.0%	9.0%	8.9%

年度別 積極的支援対象者数割合

	積極的支援対象者数割合			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
茂木町	3.4%	3.3%	2.9%	3.0%
県	2.9%	2.9%	2.7%	2.7%
同規模	3.4%	3.2%	3.1%	3.1%
国	3.2%	3.2%	3.2%	3.1%

年度別 支援対象者数割合

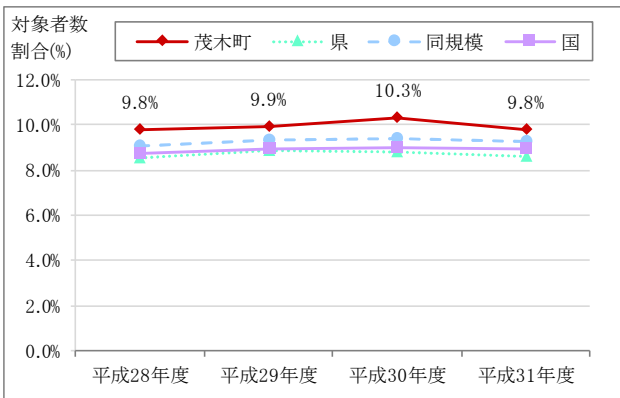
	支援対象者数割合			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
茂木町	13.2%	13.2%	13.2%	12.8%
県	11.5%	11.8%	11.5%	11.3%
同規模	12.5%	12.6%	12.5%	12.3%
国	12.0%	12.1%	12.2%	12.1%

年度別 特定保健指導実施率

	特定保健指導実施率			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
茂木町	31.6%	38.4%	44.4%	36.6%
県	27.9%	28.2%	29.3%	22.9%
同規模	42.3%	44.3%	44.6%	25.7%
国	22.7%	21.2%	23.8%	14.9%

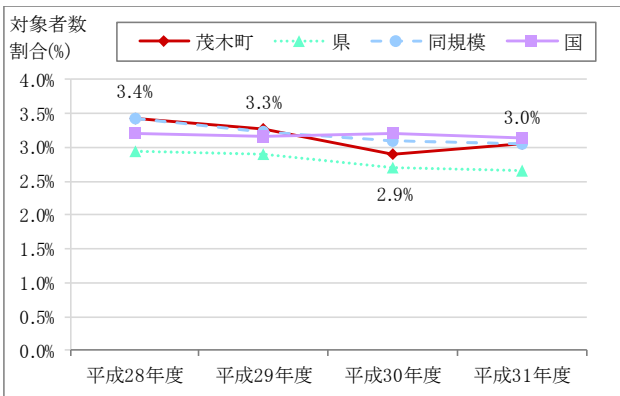
動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。
 特定保健指導実施率(平成31年度)…最新データ反映前のため、最終結果とは異なる。
 出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 動機付け支援対象者数割合



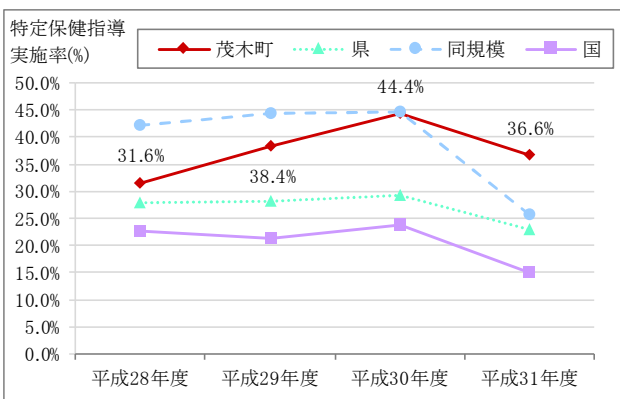
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 積極的支援対象者数割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 特定保健指導実施率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(4) 介護保険の状況

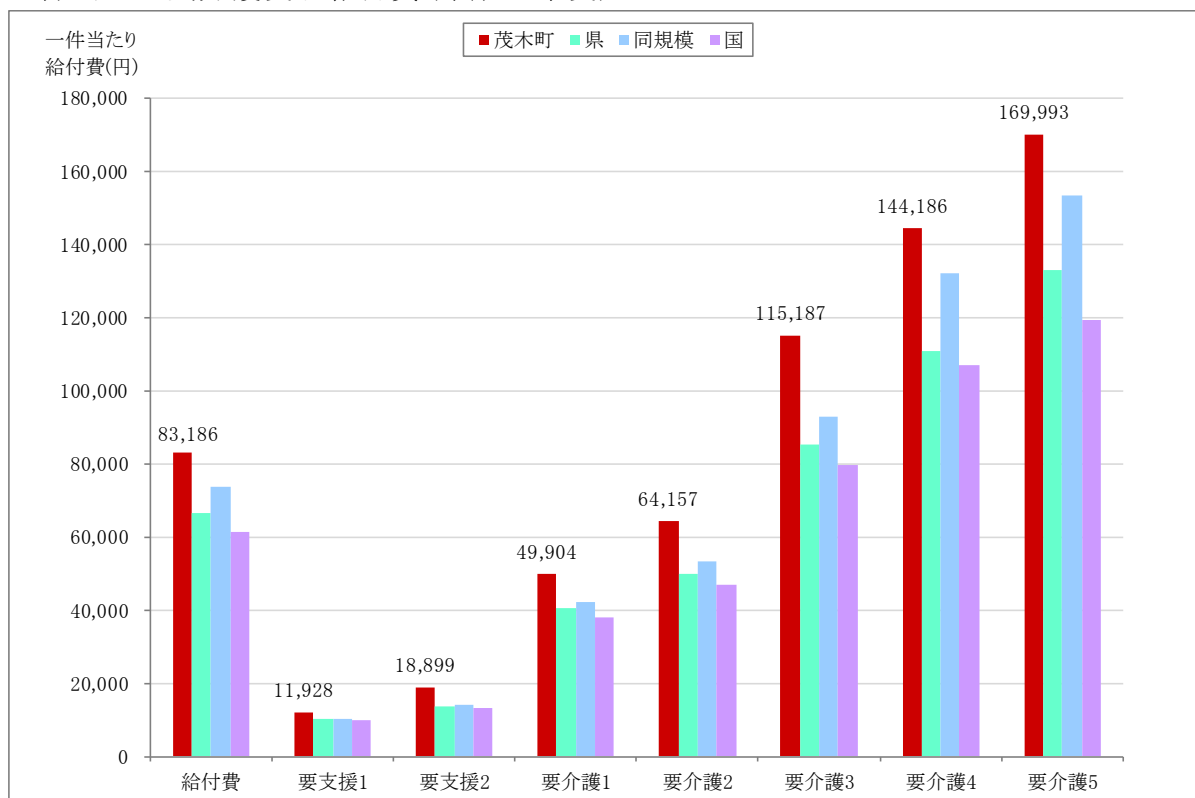
本町の平成31年度における、認定率及び給付費等の状況を以下に示す。

認定率及び給付費等の状況(平成31年度)

区分	茂木町	県	同規模	国
認定率	18.0%	17.4%	19.4%	19.6%
認定者数(人)	882	91,559	117,292	6,620,276
第1号(65歳以上)	859	89,127	115,127	6,467,463
第2号(40～64歳)	23	2,432	2,165	152,813
一件当たり給付費(円)				
給付費	83,186	66,336	73,634	61,336
要支援1	11,928	10,287	10,204	9,825
要支援2	18,899	13,892	14,240	13,241
要介護1	49,904	40,571	42,037	37,931
要介護2	64,157	49,806	53,483	47,085
要介護3	115,187	85,220	92,921	79,808
要介護4	144,186	110,756	132,170	106,950
要介護5	169,993	133,113	153,202	119,410

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

一件当たり要介護度別給付費(平成31年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

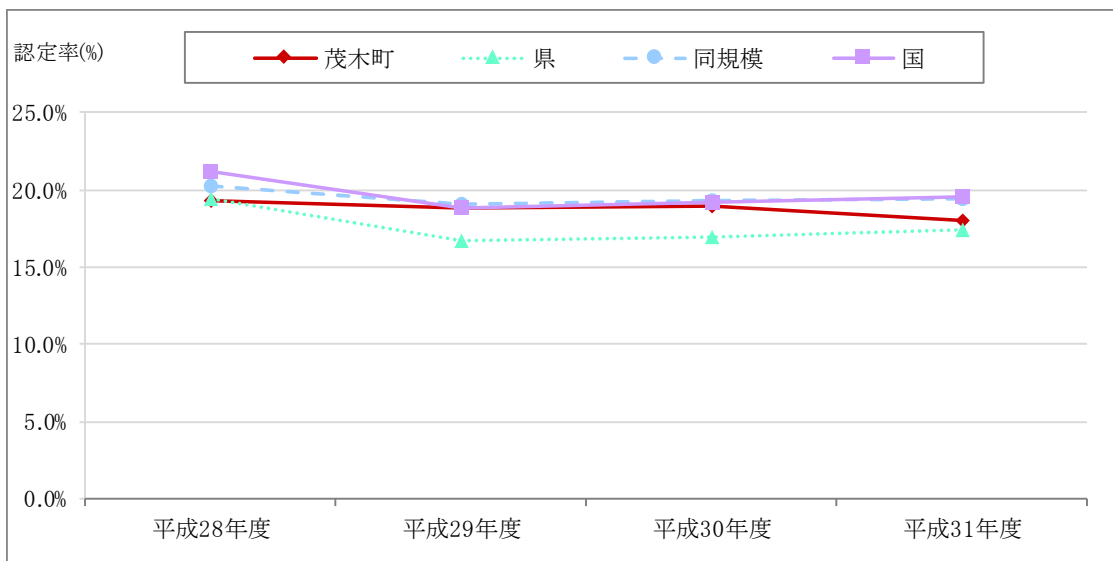
平成28年度から平成31年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成31年度認定率18.0%は平成28年度19.3%より1.3ポイント低下しており、平成31年度の認定者数882人は平成28年度941人より59人減少している。

年度別 認定率及び認定者数

区分	認定率	認定者数(人)			
		第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)		
茂木町	平成28年度	19.3%	941	923	18
	平成29年度	18.8%	959	944	15
	平成30年度	19.0%	924	910	14
	平成31年度	18.0%	882	859	23
県	平成28年度	19.4%	86,228	83,751	2,477
	平成29年度	16.7%	87,714	85,242	2,472
	平成30年度	17.0%	89,749	87,275	2,474
	平成31年度	17.4%	91,559	89,127	2,432
同規模	平成28年度	20.2%	117,338	114,846	2,492
	平成29年度	19.1%	114,437	112,089	2,348
	平成30年度	19.3%	115,646	113,392	2,254
	平成31年度	19.4%	117,292	115,127	2,165
国	平成28年度	21.2%	6,037,083	5,885,270	151,813
	平成29年度	18.8%	6,208,699	6,057,292	151,407
	平成30年度	19.2%	6,482,704	6,329,312	153,392
	平成31年度	19.6%	6,620,276	6,467,463	152,813

出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定率



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

本町の平成31年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示す。疾病別の有病者数を合計すると2,578人となり、認定者は平均2.9疾病を有していることがわかる。

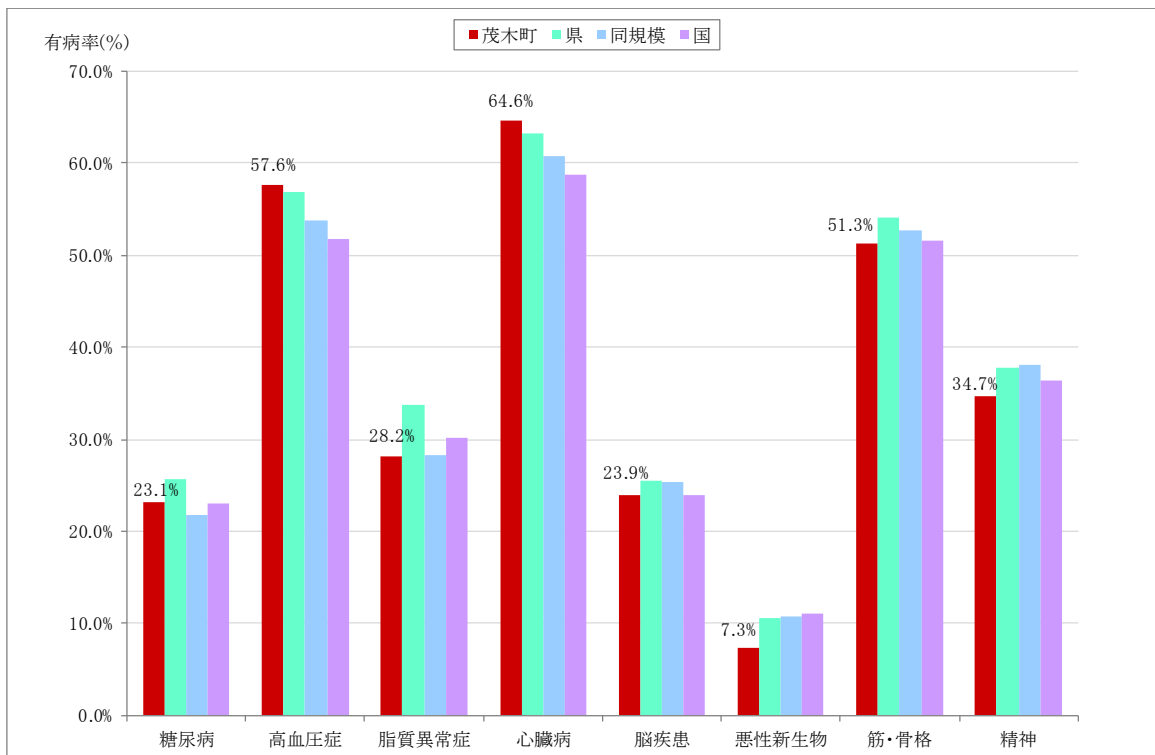
認定者の疾病別有病状況(平成31年度)

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

区分	茂木町	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)	882		91,559		117,292		6,620,276	
糖尿病	実人数(人)	209	23,446	6	25,701	7	1,537,914	7
	有病率	23.1%	25.7%	6	21.7%	7	23.0%	7
高血圧症	実人数(人)	514	51,820	2	63,409	2	3,472,146	2
	有病率	57.6%	56.9%	2	53.8%	2	51.7%	2
脂質異常症	実人数(人)	250	31,057	5	33,541	5	2,036,238	5
	有病率	28.2%	33.8%	5	28.3%	5	30.1%	5
心臓病	実人数(人)	574	57,728	1	71,432	1	3,939,115	1
	有病率	64.6%	63.3%	1	60.8%	1	58.7%	1
脳疾患	実人数(人)	209	22,967	6	29,549	6	1,587,755	6
	有病率	23.9%	25.5%	7	25.4%	6	24.0%	6
悪性新生物	実人数(人)	62	9,662	8	12,447	8	739,425	8
	有病率	7.3%	10.6%	8	10.7%	8	11.0%	8
筋・骨格	実人数(人)	452	48,954	3	61,845	3	3,448,596	3
	有病率	51.3%	54.0%	3	52.7%	3	51.6%	3
精神	実人数(人)	308	34,423	4	44,684	4	2,437,051	4
	有病率	34.7%	37.8%	4	38.0%	4	36.4%	4

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

認定者の疾病別有病率(平成31年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本町の平成28年度から平成31年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成31年度の認定者が有している平均疾病数2.9疾病は平成28年度からほぼ横ばいとなっている。

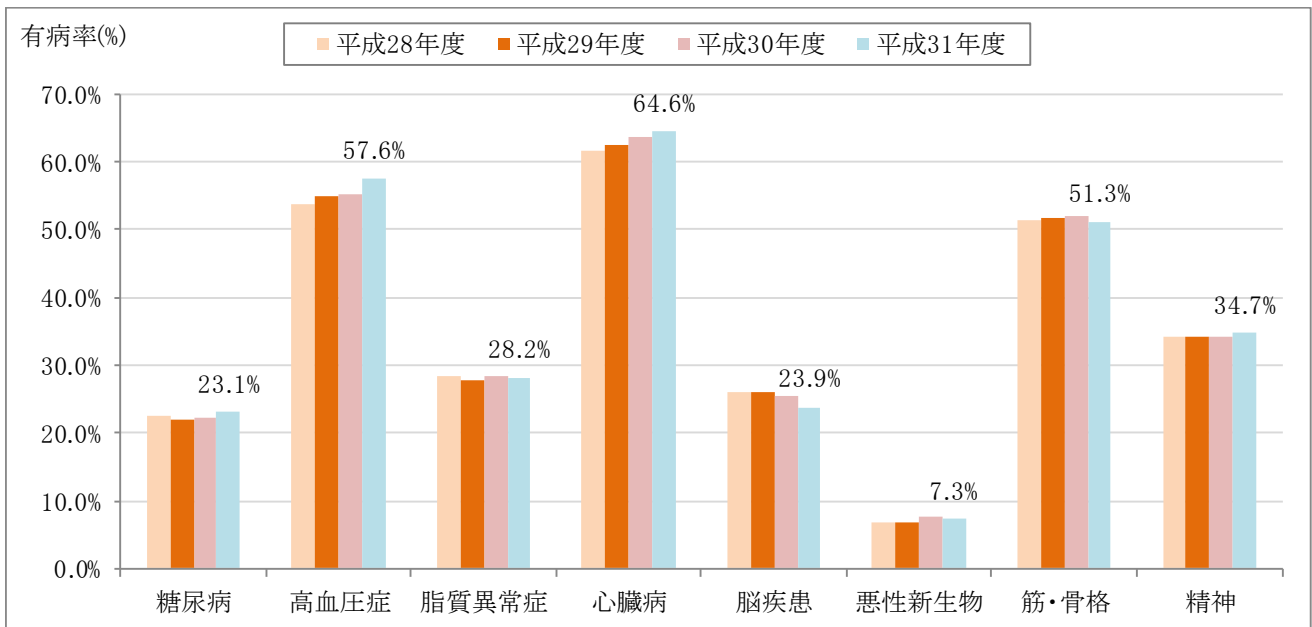
年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

区分	茂木町							
	平成28年度	順位	平成29年度	順位	平成30年度	順位	平成31年度	順位
認定者数(人)	941		959		924		882	
糖尿病	実人数(人)	208	203	212	209			
	有病率(%)	22.5%	21.9%	22.4%	23.1%			
高血圧症	実人数(人)	508	539	521	514			
	有病率(%)	53.9%	54.9%	55.3%	57.6%			
脂質異常症	実人数(人)	279	267	263	250			
	有病率(%)	28.4%	27.9%	28.5%	28.2%			
心臓病	実人数(人)	582	615	588	574			
	有病率(%)	61.6%	62.6%	63.6%	64.6%			
脳疾患	実人数(人)	241	260	221	209			
	有病率(%)	26.0%	26.1%	25.5%	23.9%			
悪性新生物	実人数(人)	65	84	67	62			
	有病率(%)	6.9%	6.8%	7.6%	7.3%			
筋・骨格	実人数(人)	473	504	475	452			
	有病率(%)	51.4%	51.7%	52.1%	51.3%			
精神	実人数(人)	333	316	315	308			
	有病率(%)	34.2%	34.2%	34.2%	34.7%			

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病状況(県)

区分	県				茂木町(再掲)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
認定者数(人)	86,228	87,714	89,749	91,559	941	959	924	882	
糖尿病	実人数(人)	21,687	22,195	23,045	23,446	208	203	212	209
	有病率(%)	24.8%	25.0%	25.4%	25.7%	22.5%	21.9%	22.4%	23.1%
高血圧症	実人数(人)	49,184	50,208	51,304	51,820	508	539	521	514
	有病率(%)	56.3%	56.7%	56.9%	56.9%	53.9%	54.9%	55.3%	57.6%
脂質異常症	実人数(人)	27,894	28,913	30,106	31,057	279	267	263	250
	有病率(%)	31.7%	32.5%	33.1%	33.8%	28.4%	27.9%	28.5%	28.2%
心臓病	実人数(人)	54,711	55,884	57,070	57,728	582	615	588	574
	有病率(%)	62.8%	63.1%	63.3%	63.3%	61.6%	62.6%	63.6%	64.6%
脳疾患	実人数(人)	23,554	23,644	23,343	22,967	241	260	221	209
	有病率(%)	27.2%	26.8%	26.2%	25.5%	26.0%	26.1%	25.5%	23.9%
悪性新生物	実人数(人)	8,508	9,043	9,393	9,662	65	84	67	62
	有病率(%)	9.8%	10.0%	10.3%	10.6%	6.9%	6.8%	7.6%	7.3%
筋・骨格	実人数(人)	46,229	47,378	48,775	48,954	473	504	475	452
	有病率(%)	52.9%	53.5%	54.0%	54.0%	51.4%	51.7%	52.1%	51.3%
精神	実人数(人)	32,121	33,263	34,013	34,423	333	316	315	308
	有病率(%)	36.5%	37.3%	37.7%	37.8%	34.2%	34.2%	34.2%	34.7%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病状況(同規模)

区分	同規模				茂木町(再掲)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
認定者数(人)	117,338	114,437	115,646	117,292	941	959	924	882	
糖尿病	実人数(人)	25,612	24,838	25,192	25,701	208	203	212	209
	有病率(%)	21.3%	21.5%	21.7%	21.7%	22.5%	21.9%	22.4%	23.1%
高血圧症	実人数(人)	63,835	61,864	62,366	63,409	508	539	521	514
	有病率(%)	53.4%	53.7%	53.9%	53.8%	53.9%	54.9%	55.3%	57.6%
脂質異常症	実人数(人)	31,966	31,490	32,560	33,541	279	267	263	250
	有病率(%)	26.7%	27.2%	27.9%	28.3%	28.4%	27.9%	28.5%	28.2%
心臓病	実人数(人)	72,264	70,093	70,407	71,432	582	615	588	574
	有病率(%)	60.6%	60.8%	60.9%	60.8%	61.6%	62.6%	63.6%	64.6%
脳疾患	実人数(人)	32,398	30,897	30,108	29,549	241	260	221	209
	有病率(%)	27.3%	27.1%	26.3%	25.4%	26.0%	26.1%	25.5%	23.9%
悪性新生物	実人数(人)	11,697	11,660	12,133	12,447	65	84	67	62
	有病率(%)	9.6%	10.0%	10.4%	10.7%	6.9%	6.8%	7.6%	7.3%
筋・骨格	実人数(人)	62,083	60,191	60,834	61,845	473	504	475	452
	有病率(%)	51.8%	52.2%	52.5%	52.7%	51.4%	51.7%	52.1%	51.3%
精神	実人数(人)	44,206	43,407	44,034	44,684	333	316	315	308
	有病率(%)	36.6%	37.4%	37.8%	38.0%	34.2%	34.2%	34.2%	34.7%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病状況(国)

区分	国				茂木町(再掲)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
認定者数(人)	6,037,083	6,208,699	6,482,704	6,620,276	941	959	924	882	
糖尿病	実人数(人)	1,350,152	1,396,109	1,470,196	1,537,914	208	203	212	209
	有病率(%)	22.1%	22.2%	22.4%	23.0%	22.5%	21.9%	22.4%	23.1%
高血圧症	実人数(人)	3,101,200	3,176,320	3,318,793	3,472,146	508	539	521	514
	有病率(%)	50.9%	50.8%	50.8%	51.7%	53.9%	54.9%	55.3%	57.6%
脂質異常症	実人数(人)	1,741,866	1,804,586	1,915,551	2,036,238	279	267	263	250
	有病率(%)	28.4%	28.7%	29.2%	30.1%	28.4%	27.9%	28.5%	28.2%
心臓病	実人数(人)	3,529,682	3,612,547	3,770,674	3,939,115	582	615	588	574
	有病率(%)	58.0%	57.8%	57.8%	58.7%	61.6%	62.6%	63.6%	64.6%
脳疾患	実人数(人)	1,538,683	1,540,429	1,563,143	1,587,755	241	260	221	209
	有病率(%)	25.5%	24.9%	24.3%	24.0%	26.0%	26.1%	25.5%	23.9%
悪性新生物	実人数(人)	631,950	657,405	702,800	739,425	65	84	67	62
	有病率(%)	10.3%	10.4%	10.7%	11.0%	6.9%	6.8%	7.6%	7.3%
筋・骨格	実人数(人)	3,067,196	3,150,734	3,305,225	3,448,596	473	504	475	452
	有病率(%)	50.3%	50.4%	50.6%	51.6%	51.4%	51.7%	52.1%	51.3%
精神	実人数(人)	2,154,214	2,222,308	2,339,782	2,437,051	333	316	315	308
	有病率(%)	35.2%	35.5%	35.8%	36.4%	34.2%	34.2%	34.2%	34.7%

出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(5) 主たる死因の状況

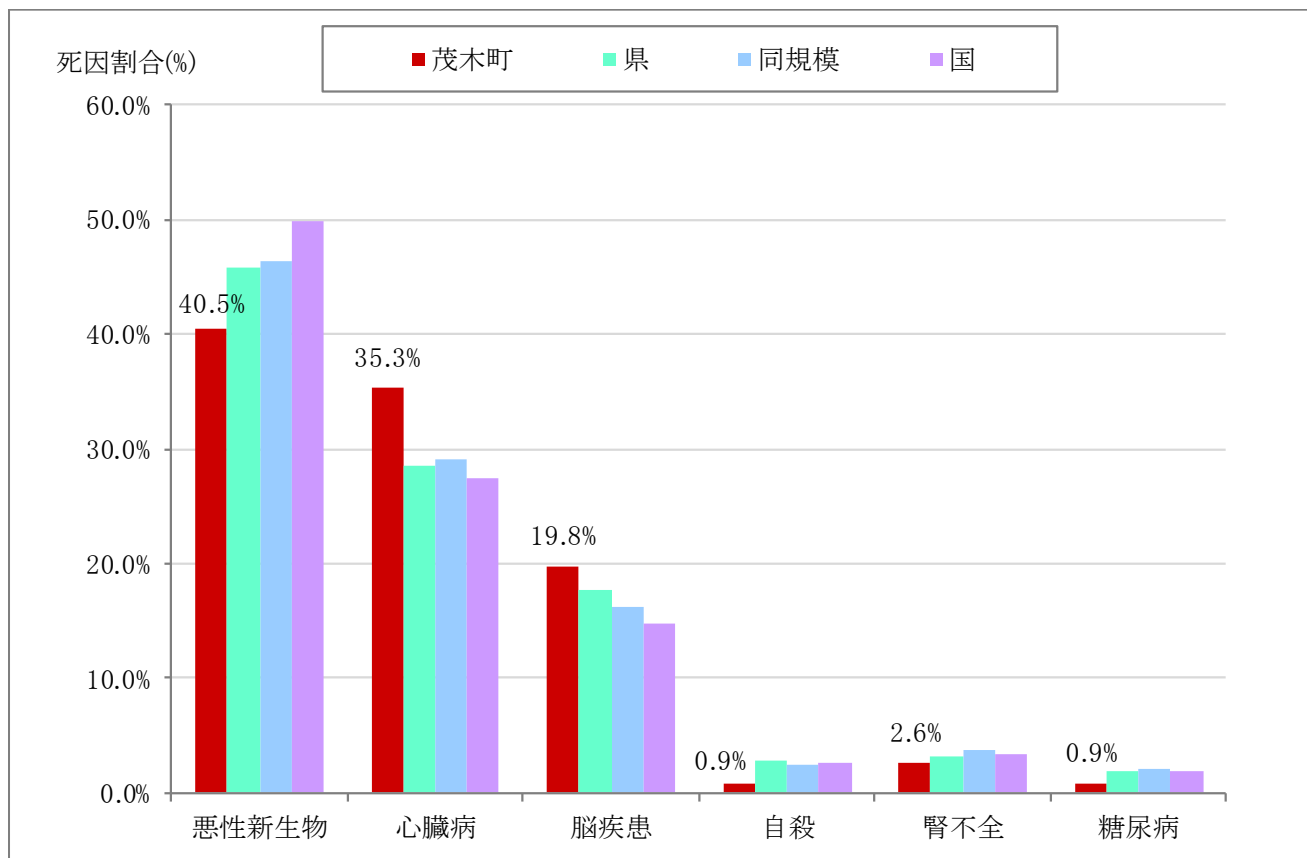
本町の平成31年度における、主たる死因の状況を以下に示す。

主たる死因の状況(平成31年度)

疾病項目	茂木町		県	同規模	国
	人数(人)	割合(%)			
悪性新生物	47	40.5%	45.8%	46.4%	49.9%
心臓病	41	35.3%	28.5%	29.0%	27.4%
脳疾患	23	19.8%	17.7%	16.3%	14.7%
自殺	1	0.9%	2.8%	2.4%	2.7%
腎不全	3	2.6%	3.2%	3.8%	3.4%
糖尿病	1	0.9%	2.0%	2.1%	1.9%
合計	116				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の割合(平成31年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

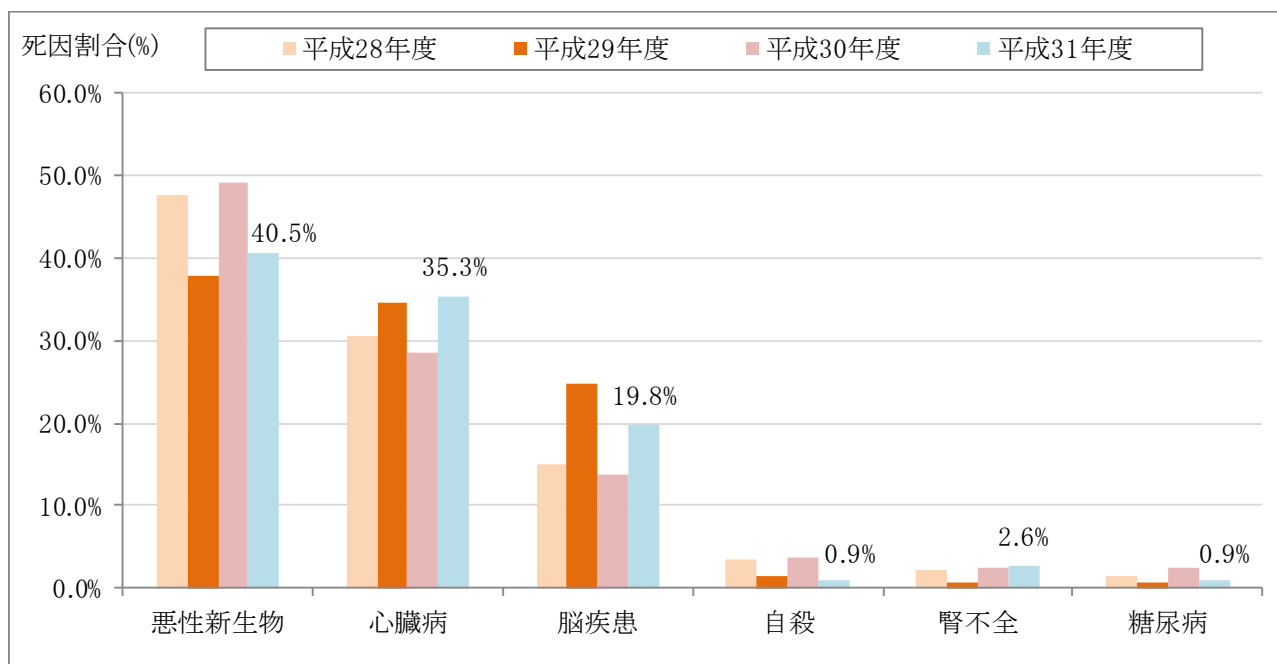
本町の平成28年度から平成31年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成31年度を平成28年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数47人は平成28年度67人より20人減少しており、心臓病を死因とする人数41人は平成28年度43人より2人減少している。また、脳疾患を死因とする人数23人は平成28年度21人より2人増加している。

年度別 主たる死因の状況

疾病項目	茂木町							
	人数(人)				割合(%)			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
悪性新生物	67	55	79	47	47.5%	37.9%	49.1%	40.5%
心臓病	43	50	46	41	30.5%	34.5%	28.6%	35.3%
脳疾患	21	36	22	23	14.9%	24.8%	13.7%	19.8%
自殺	5	2	6	1	3.5%	1.4%	3.7%	0.9%
腎不全	3	1	4	3	2.1%	0.7%	2.5%	2.6%
糖尿病	2	1	4	1	1.4%	0.7%	2.5%	0.9%
合計	141	145	161	116				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合(県)

疾病項目	県				茂木町(再掲)			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
悪性新生物	46.5%	45.4%	46.7%	45.8%	47.5%	37.9%	49.1%	40.5%
心臓病	27.5%	27.9%	27.5%	28.5%	30.5%	34.5%	28.6%	35.3%
脳疾患	17.9%	18.5%	17.6%	17.7%	14.9%	24.8%	13.7%	19.8%
自殺	3.2%	3.1%	2.9%	2.8%	3.5%	1.4%	3.7%	0.9%
腎不全	3.1%	3.4%	3.3%	3.2%	2.1%	0.7%	2.5%	2.6%
糖尿病	1.9%	1.8%	1.9%	2.0%	1.4%	0.7%	2.5%	0.9%
合計								

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合(同規模)

疾病項目	同規模				茂木町(再掲)			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
悪性新生物	45.4%	46.5%	46.3%	46.4%	47.5%	37.9%	49.1%	40.5%
心臓病	28.4%	28.4%	28.8%	29.0%	30.5%	34.5%	28.6%	35.3%
脳疾患	17.5%	17.1%	16.8%	16.3%	14.9%	24.8%	13.7%	19.8%
自殺	3.0%	2.5%	2.4%	2.4%	3.5%	1.4%	3.7%	0.9%
腎不全	3.9%	3.7%	3.9%	3.8%	2.1%	0.7%	2.5%	2.6%
糖尿病	1.8%	1.7%	1.9%	2.1%	1.4%	0.7%	2.5%	0.9%
合計								

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合(国)

疾病項目	国				茂木町(再掲)			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
悪性新生物	49.6%	50.1%	50.5%	49.9%	47.5%	37.9%	49.1%	40.5%
心臓病	26.5%	26.5%	26.8%	27.4%	30.5%	34.5%	28.6%	35.3%
脳疾患	15.4%	15.2%	14.8%	14.7%	14.9%	24.8%	13.7%	19.8%
自殺	3.3%	3.1%	2.8%	2.7%	3.5%	1.4%	3.7%	0.9%
腎不全	3.3%	3.3%	3.3%	3.4%	2.1%	0.7%	2.5%	2.6%
糖尿病	1.8%	1.8%	1.8%	1.9%	1.4%	0.7%	2.5%	0.9%
合計								

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)

(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況

第1期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を以下に示す。全11事業のうち、目標達成している事業は4事業である。事業推進に当たっては、特定健診未受診者対策及び特定健診継続受診対策による特定健診受診率の増加が好材料となったが、生活習慣病重症化予防に対する対策では更なる強化が必要である。

実施年度	事業名	事業目的	事業概要
平成28年度 から 令和2年度	特定健康診査 未受診者対策	被保険者の 生活習慣病等の 予防・早期発見	特定健診を受診していない人に、生活習慣病の予防の観点から受診するように受診勧奨通知を行う。
平成28年度 から 令和2年度	特定健診 継続受診対策	被保険者の 生活習慣病等の 予防・早期発見	特定健診受診者を対象に、自身の健康管理に役立てるため結果説明会を行う。経年結果を活用した検査値の見方などを説明し継続受診に繋げる。
平成28年度 から 令和2年度	特定保健 指導事業	被保険者の 生活習慣病等の 予防・早期発見	特定健診の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話等で行う。方法は厚生労働省による「標準的な健診・保健指導プログラム」に沿うこととする。グループ支援として、調理実習や運動指導等を取り入れた「ヘルスアップ教室」を実施する。
平成28年度 から 令和2年度	生活習慣病 治療中断者 受診勧奨事業	生活習慣病 治療中断者の減少	かつて生活習慣病の治療を受けていたにもかかわらず、一定期間、医療機関受診が確認できず、治療を中断している可能性のある対象者を特定する。対象者に通知書を送付することで、受診勧奨を行う。通知書の内容は、生活習慣病治療を中断するリスクを分かりやすく記載する。
平成28年度 から 令和2年度	糖尿病重症化 予防事業	被保険者の 糖尿病重症化予防	特定健診の結果説明会を実施し、「栃木県糖尿病重症化予防プログラム」の情報提供対象者の基準以上に該当する者に指導を行う。正しい生活習慣を継続できるよう指導する。また、受診勧奨対象者についても、受診勧奨の通知の送付や指導を行う。保健指導対象者については、医師との連携などもあるため実施できるように準備を進めていく。
平成28年度 から 令和2年度	受診行動適正化 指導事業 (重複・頻回受診、 重複服薬)	重複・頻回受診者数、 重複服薬者数の減少	レセプトの治療状況から、医療機関への過度な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、指導する。対象者への通知と専門職の指導を行う。適正な医療機関へのかかり方について面談指導または電話指導を行う。また、お薬手帳の所持をすすめ、使い方を指導する。集団指導として、いきいき健康教室を開催し、被保険者が自身の改善についての知識と方法を習得できるように指導する。

5:目標達成
 4:改善している
 3:横ばい
 2:悪化している
 1:評価できない

実施内容	目標値 (令和2年度末)	達成状況 (平成31年度時点)	評価
特定健診未受診者に対し、個々の健康意識に合わせた勧奨通知を送付した。また、町報、ケーブルテレビ等により広報を行った。	特定健診受診率 55%	52.8%	4
健診受診時に結果説明会についてのお知らせを記載した健診結果引換券を配布し、結果説明会にて健診結果引換券と健診結果を引き換え、個別指導を実施した。説明会では、経年結果を活用した検査結果の見方及び、継続受診の必要性を説明した。	特定健診受診率 55%	52.8%	4
指導対象者を特定し、町保健師等が個別に厚生労働省による「標準的な健診・保健指導プログラム」に基づき、生活習慣病に重点を置いた保健指導を実施した。また、グループ支援として、管理栄養士による料理教室や日常に取り込みやすい運動指導等を取り入れた「ヘルスアップ教室」を実施した。	積極的支援及び 動機付け支援 対象者 10%減 (H27 188名)	172名	4
生活習慣病治療中断者の内、「栃木県糖尿病重症化予防プログラム」に基づく治療中断者を特定し、生活習慣病治療を中断するリスクを分かりやすく記載した受診勧奨通知を発送した。また、レセプトデータにより定期的な受診の有無を確認した。	生活習慣病治療 中断者数 20%減 (H27 4名)	0名	4
「栃木県糖尿病重症化予防プログラム」に基づき情報提供対象者の基準以上に該当する者に健診結果説明会時に指導を行った。受診勧奨対象者については、受診勧奨通知の発送を行った。保健指導対象者については、対象者の選定後かかりつけの医師と連携し、保健指導を実施した。	糖尿病性腎症を 原因とする 新規透析者の減少 (H27 2名)	1名	5
対象者を抽出し、受診状況確認通知を発送し、レセプトにより受診状況を確認した。受診状況に変化がない場合は再通知を行い、なお、改善が見られない際は町保健師等により保健指導を実施した。グループ支援として症状緩和のための「いきいき健康教室」を実施した。	重複・頻回 受診者数、 重複服薬者数 50%減少 (H27 234名)	12名	1

実施年度	事業名	事業目的	事業概要
平成28年度 から 令和2年度	ジェネリック医薬品 差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上による 薬剤費の軽減	レセプトから、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が、一定以上となる対象者を特定する。年に2回、2月と8月にジェネリック医薬品への切り替えを促す通知書を送付する。通知書の内容は、先発医薬品からジェネリック医薬品に切り替えることで、どのくらい薬剤費が軽減できるか、ジェネリック医薬品とは何かなどの情報を記載する。
平成28年度 から 令和2年度	健康体操	被保険者が主体となった、各地域での健康づくり推進活動	生命の貯蓄体操茂木支部（継続者教室）が町内に27道場あり、地域公民館等で健康づくりに取り組んでいる。指導者の支援と初心者教室の開催により継続的に被保険者が健康づくりを進められるように支援する。
平成28年度 から 令和2年度	人間ドック受診 推進事業	被保険者の健康増進及び病気の予防や 早期発見	35歳以上の被保険者を対象に、提携医療機関で行う人間ドック受診費用の一部を助成する。より細かく自身の体調を知ることで、病気の予防や早期発見に繋げる。
平成28年度 から 令和2年度	ヤング健診受診 推進事業	若年者の 生活習慣病予防	特定健診の対象者は40歳以上であるが、その以前から健診の受診勧奨と結果説明会への参加を促し、健康への意識を高め、生活習慣病を予防する。
平成28年度 から 令和2年度	COPD啓発事業	COPD認知度向上	特定健診実施時の喫煙指導とチラシの配布、イベント等を実施し、COPDの啓発を行う。

5:目標達成
 4:改善している
 3:横ばい
 2:悪化している
 1:評価できない

実施内容	目標値 (令和2年度末)	達成状況 (平成31年度時点)	評価
レセプトデータより、ジェネリック医薬品への切り替えにより100円以上軽減される対象者にジェネリック医薬品に切り替えることで、どのくらい薬剤費が軽減できるか、ジェネリック医薬品とは何かなどの情報を記載した通知を年2回送付した。	調剤レセプトにおける ジェネリック 医薬品普及率 (数量ベース) 80%	83.1%	5
町主体で健康体操の初心者教室を開催し、その後各地域にある継続教室へと繋げ、住民主体の健康づくりをすすめた。	継続者教室 27カ所	25カ所	3
人間ドックを受診する方に26,000円、人間ドックと併せて脳ドックを受診する方へ36,000円の助成を行った。	年間受診者 170名	219名	5
19歳から39歳の町民を対象とし、ヤング健診を実施し、結果説明会において、保健指導も併せて実施した。また、30歳から39歳の未受診者に対し、勧奨通知を送付した。	対象者の受診率 16%	17.7%	5
特定健診結果説明会において、喫煙者に対し禁煙指導とリーフレット等による指導・啓発を実施した。	COPDの認知率 60%	50%	4

(2) 第1期データヘルス計画の各事業実施内容

第1期データヘルス計画に基づき実施した事業の詳細は以下の通りである。

① 特定健康診査未受診者対策

【実施年度】 平成28年度から令和2年度

【事業目的】 被保険者の生活習慣病等の予防・早期発見

【事業概要】 特定健診を受診していない人に、生活習慣病の予防の観点から受診するように受診勧奨通知を行う。

【実施内容】 特定健診未受診者に対し、個々の健康意識に合わせた勧奨通知を発送した。また、町報、ケーブルテレビ等により広報を行った。

【目標値】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
特定健診受診率(%)	47%以上	49%以上	51%以上	53%以上	55%以上

【達成状況】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
特定健診受診率(%)	47.8%	50.6%	53.5%	52.8%	—

【考察】 平成31年度の特定健診受診率は52.8%であり、平成28年度の47.8%から5.0ポイント上昇した。結果に基づき目標値等の見直しを行い、更なる取り組みを検討する。

②特定健診継続受診対策

【実施年度】平成28年度から令和2年度

【事業目的】被保険者の生活習慣病等の予防・早期発見

【事業概要】特定健診受診者を対象に、自身の健康管理に役立てるため結果説明会を行う。経年結果を活用した検査値の見方などを説明し継続受診に繋げる。

【実施内容】健診受診時に結果説明会についてのお知らせを記載した健診結果引換券を配布し、結果説明会にて健診結果引換券と健診結果を引き換え、個別指導を実施した。説明会では、経年結果を活用した検査結果の見方及び、継続受診の必要性を説明した。

【目標値】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
特定健診受診率(%)	47%以上	49%以上	51%以上	53%以上	55%以上

【達成状況】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
特定健診受診率(%)	47.8%	50.6%	53.5%	52.8%	—

【考察】平成31年度の特定健診受診率は52.8%であり、平成28年度の47.8%から5.0ポイント上昇している。結果に基づき目標値等の見直しを行い、更なる取り組みを検討する。

③特定保健指導事業

【実施年度】平成28年度から令和2年度

【事業目的】被保険者の生活習慣病等の予防・早期発見

【事業概要】特定健診の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話等で行う。方法は厚生労働省による「標準的な健診・保健指導プログラム」に沿うこととする。グループ支援として、調理実習や運動指導等を取り入れた「ヘルスアップ教室」を実施する。

【実施内容】指導対象者を特定し、町保健師等が個別に厚生労働省による「標準的な健診・保健指導プログラム」に基づき、生活習慣病に重点を置いた保健指導を実施した。また、グループ支援として、管理栄養士による料理教室や日常に取り込みやすい運動指導等を取り入れた「ヘルスアップ教室」を実施した。

【目標値】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
積極的支援及び動機付け 支援対象者数(人) (H27 188人より10%減)	—	—	—	—	169人以下

【達成状況】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
積極的支援及び動機付け 支援対象者数(人)	193人	198人	205人	172人	—

【考察】健診結果説明会等により、生活習慣病予防の啓発を行った。対象者数については、特定健診の新規受診者の増加等により増加する年度もあったが、平成31年度は減少した。結果に基づき目標値等の見直しを行い、更なる取り組みを検討する。

④生活習慣病治療中断者受診勧奨事業

【実施年度】平成28年度から令和2年度

【事業目的】生活習慣病治療中断者の減少

【事業概要】かつて生活習慣病の治療を受けていたにもかかわらず、一定期間、医療機関受診が確認できず、治療を中断している可能性のある対象者を特定する。対象者に通知書を送付することで、受診勧奨を行う。通知書の内容は、生活習慣病治療を中断するリスクを分かりやすく記載する。

【実施内容】生活習慣病治療中断者の内、「栃木県糖尿病重症化予防プログラム」に基づく治療中断者を特定し、生活習慣病治療を中断するリスクを分かりやすく記載した受診勧奨通知を発送した。また、レセプトデータにより定期的な受診の有無を確認した。

【目標値】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
生活習慣病治療中断者数(人) (H27 4名から20%減)	—	—	—	—	3人以下

【達成状況】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
生活習慣病治療中断者数(人)	—	1人	2人	0人	—

【考察】糖尿病治療中断者に対し通知による勧奨を行い、治療中断者は減少した。今後、他の生活習慣病治療中断者への勧奨方法を検討し、更なる取り組みを検討する。

⑤糖尿病性腎症重症化予防事業

【実施年度】平成28年度から令和2年度

【事業目的】被保険者の糖尿病重症化予防

【事業概要】特定健診の結果説明会を実施し、「栃木県糖尿病重症化予防プログラム」の情報提供対象者の基準以上に該当する者に指導を行う。正しい生活習慣を持続できるように指導する。また、受診勧奨対象者についても、受診勧奨の通知の送付や指導を行う。保健指導対象者については、医師との連携などもあるため実施できるように準備を進めていく。

【実施内容】 「栃木県糖尿病重症化予防プログラム」に基づき情報提供対象者の基準以上に該当する者に健診結果説明会時に指導を行った。受診勧奨対象者については、受診勧奨通知の発送を行った。保健指導対象者については、対象者の選定後かかりつけの医師と連携し、保健指導を実施した。

【目標値】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
新規透析者数の減少 (H27 2人)	—	—	—	—	1人以下

【達成状況】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
新規透析者数(人)	1人	3人	1人	1人	—

【考察】平成30年以降、新規で人工透析を開始した被保険者は各年1名であった。今後も「栃木県糖尿病重症化予防プログラム」に基づき、更なる取り組みを検討する。

⑥受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)

【実施年度】平成28年度から令和2年度

【事業目的】重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

【事業概要】レセプトの治療状況から、医療機関への過度な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、指導する。対象者への通知と専門職の指導を行う。適正な医療機関へのかかり方について面談指導または電話指導を行う。また、お薬手帳の所持をすすめ、使い方を指導する。集団指導として、いきいき健康教室を開催し、被保険者が自身の改善についての知識と方法を習得できるように指導する。

【実施内容】対象者を抽出し、受診状況確認通知を発送し、その後の受診状況をレセプトにより確認した。受診状況に変化がない場合は再通知を行い、なお、改善が見られない際は町保健師等により保健指導を実施した。グループ支援として症状緩和のための「いきいき健康教室」を実施した。

【目標値】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
重複・頻回・重複服薬者数 H27 234人より50%減(人)	—	—	—	—	167人以下

【達成状況】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
重複・頻回・重複服薬者数(人)	107人	99人	17人	12人	—

【考察】平成30年度から、町が策定した新基準により、延人数を実人数にする等抽出法を変更したことにより対象者が大きく減少している。第2期計画については、目標値の見直しを行い、更なる取り組みを検討する。

⑦ジェネリック医薬品差額通知事業

【実施年度】平成28年度から令和2年度

【事業目的】ジェネリック医薬品の普及率向上による薬剤費の軽減

【事業概要】レセプトから、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が、一定以上となる対象者を特定する。年に2回、2月と8月にジェネリック医薬品への切り替えを促す通知書を送付する。通知書の内容は、先発医薬品からジェネリック医薬品に切り替えることで、どのくらい薬剤費が軽減できるか、ジェネリック医薬品とは何かなどの情報を記載する。

【実施内容】レセプトデータより、ジェネリック医薬品への切り替えにより100円以上軽減される者に、ジェネリック医薬品に切り替えることで、どのくらい薬剤費が軽減できるか、ジェネリック医薬品とは何かなどの情報を記載した通知を年2回送付した。

【目標値】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
ジェネリック 医薬品普及率(%)	—	—	—	—	80%以上

【達成状況】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
ジェネリック 医薬品普及率(%) 数量ベース・新指標	76.8%	81.0%	80.7%	83.1%	—

【考察】平成31年度の調剤レセプトによるジェネリック医薬品普及率は83.1%（数量ベース・新指標）であり、令和2年度目標の普及率80%を達成する見込みである。第2期計画においては、院内処方レセプトも普及率算定の対象とし、更なる取り組みを検討する。

⑧健康体操

【実施年度】平成28年度から令和2年度

【事業目的】被保険者が主体となった、各地域での健康づくり推進活動

【事業概要】生命の貯蓄体操茂木支部（継続者教室）が町内に27道場あり、地域公民館等で健康づくりに取り組んでいる。指導者の支援と初心者教室の開催により継続的に被保険者が健康づくりを進められるように支援する。

【実施内容】町主体で健康体操の初心者教室を開催し、その後各地域にある継続教室へと繋げ、住民主体の健康づくりをすすめた。

【目標値】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
継続教室数の維持 H27 27教室	—	—	—	—	27教室

【達成状況】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
継続教室数	27教室	26教室	26教室	25教室	—

【考察】平成31年度の継続教室数は25教室であり、指導員・会員の高齢化等により平成27年度の27教室から2教室減少している。実施体制や目標値等の見直しを行い、更なる取り組みを検討する。

⑨人間ドック受診推進事業

【実施年度】平成28年度から令和2年度

【事業目的】被保険者の健康増進及び病気の予防や早期発見

【事業概要】35歳以上の国民健康保険被保険者を対象に、提携医療機関で行う人間ドック受診費用の一部を助成する。より細かく自身の体調を知ること、病気の予防や早期発見に繋げる。

【実施内容】人間ドックを受診する方に26,000円、人間ドックと併せて脳ドックを受診する方へ36,000円の助成を行った。

【目標値】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
年間受診者数	—	—	—	—	170人以上

【達成状況】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
年間受診者数	165人	199人	205人	219人	—

【考察】平成31年度の受診者数は219人であり、平成28年度から順調に受診者数は伸びている。結果に基づき目標値等の見直しを行い、更なる取り組みを検討する。

⑩ヤング健診受診推進事業

【実施年度】平成28年度から令和2年度

【事業目的】若年者の生活習慣病予防

【事業概要】特定健診の対象者は40歳以上であるが、その以前から健診の受診勧奨と結果説明会への参加を促し、健康への意識を高め、生活習慣病を予防する。

【実施内容】19歳から39歳の町民を対象とし、ヤング健診を実施し、結果説明会において、保健指導も併せて実施した。また、30歳から39歳の国保未受診者に対し、勧奨通知を送付した。

【目標値】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
受診率	—	—	—	—	16%以上

【達成状況】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
受診率	—	9.7%	12.6%	17.7%	—

【考察】平成31年度の受診率は17.7%であり、令和2年度目標の16%を達成する見込みである。結果に基づき目標値等の見直しを行い、更なる取り組みを検討する。

⑪COPD啓発事業

【実施年度】平成28年度から令和2年度

【事業目的】COPD認知度向上

【事業概要】特定健診実施時の喫煙指導とチラシの配布、イベント等を実施し、COPDの啓発を行う。

【実施内容】特定健診結果説明会において、喫煙者に対し、禁煙指導とリーフレット等による指導・啓発を実施した。

【目標値】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
認知率	—	—	—	—	60%以上

【達成状況】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
認知率	—	—	—	50%	—

【考察】平成31年度の認知率は50%であり、令和2年度目標の60%に向け、取組を行っている。結果に基づき目標値等の見直しを行い、更なる取り組みについて検討する。

3. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

当医療費統計は、茂木町国民健康保険における、平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均3,661人、レセプト件数は平均4,128件、患者数は平均2,138人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均48,683円となった。

基礎統計

		平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	
A	被保険者数(人)	3,733	3,680	3,689	3,693	3,678	3,634	3,648	
B	レセプト件数(件)	入院外	2,938	2,786	2,866	3,051	2,873	2,876	2,977
		入院	90	79	93	89	83	90	92
		調剤	1,166	1,032	1,076	1,181	1,074	1,087	1,147
		合計	4,194	3,897	4,035	4,321	4,030	4,053	4,216
C	医療費(円) ※	101,981,600	90,062,420	102,649,620	104,659,070	95,176,120	99,958,720	105,537,800	
D	患者数(人) ※	2,173	2,082	2,103	2,203	2,125	2,115	2,160	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	27,319	24,473	27,826	28,340	25,877	27,507	28,930	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	24,316	23,111	25,440	24,221	23,617	24,663	25,033	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	46,931	43,258	48,811	47,508	44,789	47,262	48,860	
B/A	受診率(%)	112.3%	105.9%	109.4%	117.0%	109.6%	111.5%	115.6%	
D/A	有病率(%)	58.2%	56.6%	57.0%	59.7%	57.8%	58.2%	59.2%	

		令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	3,639	3,645	3,637	3,617	3,642	3,661		
B	レセプト件数(件)	入院外	2,938	3,060	2,873	2,867	2,911	2,918	35,016
		入院	91	88	83	82	83	87	1,043
		調剤	1,107	1,191	1,109	1,143	1,162	1,123	13,475
		合計	4,136	4,339	4,065	4,092	4,156	4,128	49,534
C	医療費(円) ※	107,970,270	115,713,590	111,485,630	107,106,010	106,657,980	104,079,903	1,248,958,830	
D	患者数(人) ※	2,125	2,205	2,128	2,104	2,132	2,138	25,655	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	29,670	31,746	30,653	29,612	29,286	28,427		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	26,105	26,668	27,426	26,174	25,664	25,214		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	50,810	52,478	52,390	50,906	50,027	48,683		
B/A	受診率(%)	113.7%	119.0%	111.8%	113.1%	114.1%	112.7%		
D/A	有病率(%)	58.4%	60.5%	58.5%	58.2%	58.5%	58.4%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

1ヵ月平均の被保険者は減少しているが、1人当たりの医療費と有病率は増加している。

平成28年度から平成31年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし年度別に分析する。平成31年度を平成28年度と比較すると、一カ月平均の被保険者数3,661人は、平成28年度4,027人より366人減少しており、医療費12億4,896万円は平成28年度12億1,204万円より3,692万円増加している。また、一カ月平均の患者数2,138人は、平成28年度2,193人より55人減少している。

年度別 基礎統計

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
A	一カ月平均の被保険者数(人)	4,027	3,889	3,738	3,661	
B	レセプト件数(件)	入院外	35,561	35,554	35,106	35,016
		入院	1,072	1,067	1,020	1,043
		調剤	13,107	13,189	13,240	13,475
		合計	49,740	49,810	49,366	49,534
C	医療費(円) ※	1,212,036,960	1,199,506,310	1,206,686,460	1,248,958,830	
D	一カ月平均の患者数(人) ※	2,193	2,193	2,157	2,138	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	300,984	308,409	322,816	341,129	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	24,367	24,082	24,444	25,214	
D/A	有病率(%)	54.4%	56.4%	57.7%	58.4%	

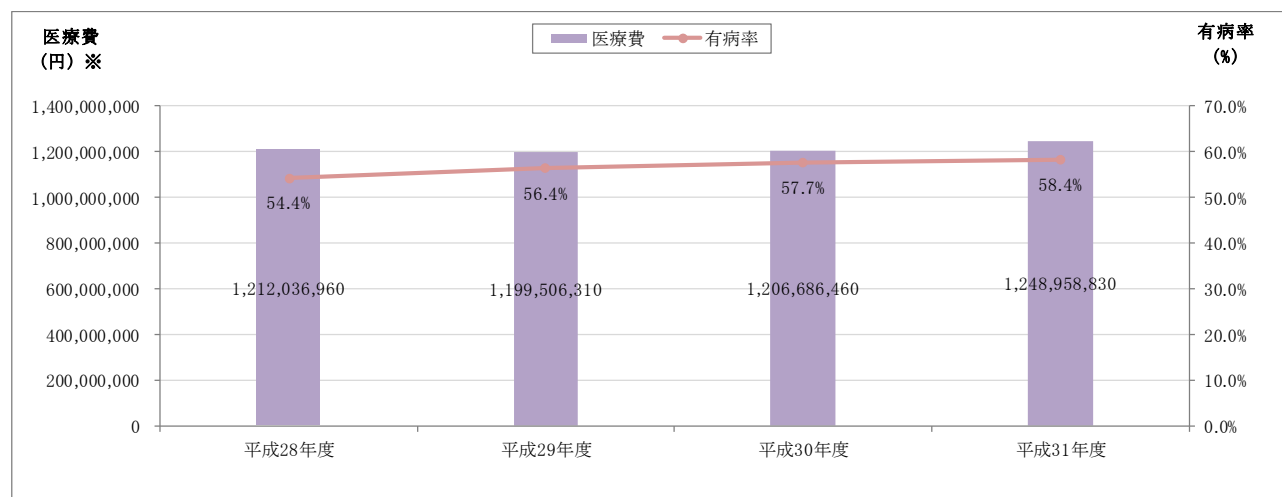
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～令和2年3月診療分(48カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～令和2年3月診療分(48カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは383件発生しており、レセプト件数全体の0.8%を占める。高額レセプトの医療費は4億21万円となり、医療費全体の32.0%を占める。

高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月
A	レセプト件数(件)	4,194	3,897	4,035	4,321	4,030	4,053	4,216
B	高額レセプト件数(件)	30	25	31	35	29	33	28
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.6%	0.8%	0.8%	0.7%	0.8%	0.7%
C	医療費全体(円) ※	101,981,600	90,062,420	102,649,620	104,659,070	95,176,120	99,958,720	105,537,800
D	高額レセプトの医療費(円) ※	29,976,100	23,526,510	32,906,680	32,286,720	26,189,450	29,807,520	29,398,600
E	その他レセプトの医療費(円) ※	72,005,500	66,535,910	69,742,940	72,372,350	68,986,670	70,151,200	76,139,200
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	29.4%	26.1%	32.1%	30.8%	27.5%	29.8%	27.9%

		令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	4,136	4,339	4,065	4,092	4,156	4,128	49,534
B	高額レセプト件数(件)	33	43	37	32	27	32	383
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	1.0%	0.9%	0.8%	0.6%	0.8%	
C	医療費全体(円) ※	107,970,270	115,713,590	111,485,630	107,106,010	106,657,980	104,079,903	1,248,958,830
D	高額レセプトの医療費(円) ※	35,379,330	44,038,780	42,112,750	39,817,140	34,768,320	33,350,658	400,207,900
E	その他レセプトの医療費(円) ※	72,590,940	71,674,810	69,372,880	67,288,870	71,889,660	70,729,244	848,750,930
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	32.8%	38.1%	37.8%	37.2%	32.6%	32.0%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

平成28年度から平成31年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示す。平成31年度高額レセプト件数383件は平成28年度328件より55件増加しており、平成31年度高額レセプトの医療費4億21万円は平成28年度3億3,688万円より6,333万円増加している。

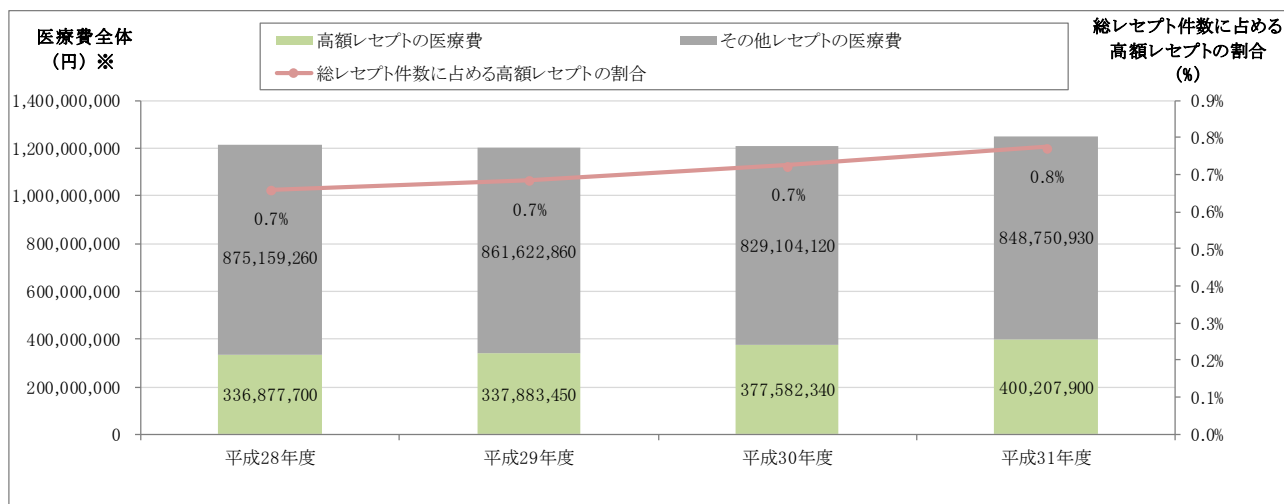
年度別 高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
A	レセプト件数(件)	49,740	49,810	49,366	49,534
B	高額レセプト件数(件)	328	342	358	383
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%
C	医療費全体(円) ※	1,212,036,960	1,199,506,310	1,206,686,460	1,248,958,830
D	高額レセプトの医療費(円) ※	336,877,700	337,883,450	377,582,340	400,207,900
E	その他レセプトの医療費(円) ※	875,159,260	861,622,860	829,104,120	848,750,930
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	27.8%	28.2%	31.3%	32.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～令和2年3月診療分(48カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。
※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。
※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

年度別 高額(5万点以上)レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～令和2年3月診療分(48カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

高額(5万点以上)レセプトの件数は増加しており、総医療費に占める高額レセプトの割合も増加している。

②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示す。高額レセプト発生患者の対象期間の全レセプトを分析後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」「心臓の先天奇形」「結核」等となった。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
				入院	入院外	合計	
1	0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	ファブリー病, 心アミロイドーシス, ラトケのう胞	3	3,586,150	49,227,690	52,813,840	17,604,613
2	1701 心臓の先天奇形	両大血管右室起始症	1	8,594,700	1,111,180	9,705,880	9,705,880
3	0102 結核	結核性髄膜炎	1	8,892,690	264,450	9,157,140	9,157,140
4	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉非小細胞肺癌, 肺門部肺癌, 下葉肺癌	3	9,266,520	11,939,750	21,206,270	7,068,757
5	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	四肢麻痺	1	6,954,180	2,880	6,957,060	6,957,060
6	0209 白血病	慢性骨髄性白血病	1	0	6,597,740	6,597,740	6,597,740
7	1402 腎不全	慢性腎不全	5	8,163,510	18,876,900	27,040,410	5,408,082
8	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	腎癌, 肝門部胆管癌, 多発性骨髄腫	18	43,515,620	40,841,450	84,357,070	4,686,504
9	0601 パーキンソン病	パーキンソン病	2	8,543,210	642,160	9,185,370	4,592,685
10	0905 脳内出血	視床出血	1	4,253,580	42,150	4,295,730	4,295,730
11	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌, 直腸悪性黒色腫, 直腸S状部結腸癌	5	6,729,480	12,845,640	19,575,120	3,915,024
12	0105 ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎, 急性肝炎	6	2,121,080	20,295,700	22,416,780	3,736,130
13	1011 その他の呼吸器系の疾患	誤嚥性肺炎, 続発性気胸	4	13,777,050	873,070	14,650,120	3,662,530
14	0602 アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	1	3,315,940	237,050	3,552,990	3,552,990
15	0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	上行結腸癌, 大腸癌, 虫垂癌	6	5,884,180	14,951,850	20,836,030	3,472,672
16	0603 てんかん	てんかん, 症候性てんかん	2	6,891,640	0	6,891,640	3,445,820
17	0902 虚血性心疾患	労作性狭心症, 急性前壁中隔心筋梗塞, 無症候性心筋虚血	3	7,548,240	2,633,400	10,181,640	3,393,880
18	2106 その他の理由による保健サービスの利用者	胃瘻造設状態, 人工膝関節置換術後	2	6,358,700	152,600	6,511,300	3,255,650
19	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳房下外側部乳癌, 炎症性乳癌, 乳房上外側部乳癌	3	1,375,620	7,892,490	9,268,110	3,089,370
20	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	1	2,496,120	245,900	2,742,020	2,742,020

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成28年度から平成31年度における、患者一人当たりの医療費上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト(5万点以上)発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成28年度	1	0912 その他の循環器系の疾患	脳底動脈瘤	1	13,403,200
	2	1402 腎不全	慢性腎不全	5	7,315,788
	3	0603 てんかん	てんかん	1	6,741,700
	4	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	四肢麻痺, 脳性麻痺	2	6,562,340
	5	1602 その他の周産期に発生した病態	新生児特発性呼吸窮迫症候群, 新生児一過性多呼吸	2	5,945,435
平成29年度	1	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	中毒性表皮壊死症	1	13,307,600
	2	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	四肢麻痺, 脳性麻痺	3	6,520,440
	3	1402 腎不全	慢性腎不全	5	5,730,776
	4	0209 白血病	慢性骨髄性白血病	1	5,266,750
	5	0208 悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	3	4,812,693
平成30年度	1	0404 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	ファブリー病	1	31,106,220
	2	1402 腎不全	慢性腎不全	3	7,958,770
	3	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	四肢麻痺	2	6,996,320
	4	0912 その他の循環器系の疾患	急性大動脈解離StanfordA, 解離性大動脈瘤, 腹部大動脈瘤破裂	4	5,980,330
	5	0603 てんかん	てんかん	2	5,915,745
平成31年度	1	0404 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	ファブリー病, 心アミロイドーシス, ラトケのう胞	3	17,604,613
	2	1701 心臓の先天奇形	両大血管右室起始症	1	9,705,880
	3	0102 結核	結核性髄膜炎	1	9,157,140
	4	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉非小細胞肺癌, 肺門部肺癌, 下葉肺癌	3	7,068,757
	5	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	四肢麻痺	1	6,957,060

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～令和2年3月診療分(48ヵ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示す。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「骨折」「その他の眼及び付属器の疾患」等である。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	腎癌, 肝門部胆管癌, 多発性骨髄腫	18	43,515,620	40,841,450	84,357,070	4,686,504
2	1901	骨折	踵骨骨折, 鎖骨骨折, 胸椎圧迫骨折	11	13,059,500	2,772,560	15,832,060	1,439,278
3	0704	その他の眼及び付属器の疾患	網膜前膜, 黄斑円孔, 増殖性硝子体網膜症	9	8,486,290	1,718,690	10,204,980	1,133,887
3	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頸椎症性脊髄症, 軸椎歯突起後方偽腫瘍	9	15,700,440	4,561,560	20,262,000	2,251,333
5	0906	脳梗塞	アテローム血栓性脳梗塞, アテローム血栓性脳梗塞・急性期, 心原性脳塞栓症	8	12,568,040	2,397,810	14,965,850	1,870,731
6	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	壁内子宮平滑筋腫, 膝管内乳頭粘液性腫瘍, 左心房粘液腫	7	11,933,260	2,103,900	14,037,160	2,005,309
7	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎, 急性肝炎	6	2,121,080	20,295,700	22,416,780	3,736,130
7	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	上行結腸癌, 大腸癌, 虫垂癌	6	5,884,180	14,951,850	20,836,030	3,472,672
7	0903	その他の心疾患	発作性心房細動, うっ血性心不全, 非弁膜症性心房細動	6	11,137,630	2,290,990	13,428,620	2,238,103
7	1302	関節症	一側性原発性膝関節症, 両側性原発性股関節症, 原発性股関節症	6	13,268,940	1,621,530	14,890,470	2,481,745
11	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃前庭部癌, 幽門前庭部癌, 噴門食道接合部癌	5	10,529,170	2,145,110	12,674,280	2,534,856
11	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌, 直腸悪性黒色腫, 直腸S状部結腸癌	5	6,729,480	12,845,640	19,575,120	3,915,024
11	1402	腎不全	慢性腎不全	5	8,163,510	18,876,900	27,040,410	5,408,082
11	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	頭部外傷後遺症, 肩腱板断裂, 内側半月板断裂	5	11,231,400	745,970	11,977,370	2,395,474
15	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	4	8,791,820	1,331,670	10,123,490	2,530,873
15	0912	その他の循環器系の疾患	腸骨動脈瘤, 総腸骨動脈狭窄, 急性大動脈解離StanfordB	4	5,368,750	3,014,100	8,382,850	2,095,713
15	1004	肺炎	細菌性肺炎, 緑膿菌肺炎	4	4,481,930	1,117,730	5,599,660	1,399,915
15	1011	その他の呼吸器系の疾患	誤嚥性肺炎, 続発性気胸	4	13,777,050	873,070	14,650,120	3,662,530
19	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉非小細胞肺癌, 肺門部肺癌, 下葉肺癌	3	9,266,520	11,939,750	21,206,270	7,068,757
19	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳房下外側部乳癌, 炎症性乳癌, 乳房上外側部乳癌	3	1,375,620	7,892,490	9,268,110	3,089,370

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成28年度から平成31年度における、患者数上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 卵巣癌, 腎癌	25	2,415,549
	2	0105 ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, 急性肝炎	10	3,626,193
	2	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 腰椎化膿性椎間板炎, 頸椎症性脊髄症	10	1,989,582
	4	1111 胆石症及び胆のう炎	総胆管結石性胆管炎, 胆石性胆のう炎, 胆石性急性胆のう炎	9	1,303,792
	5	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 大動脈弁狭窄症兼僧帽弁狭窄症兼三尖弁閉鎖不全症, 肺動脈性肺高血圧症	8	3,764,885
平成29年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 腎癌, 頬粘膜癌	18	3,035,308
	2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 脛骨腓骨遠位端開放骨折, 胸腰椎圧迫骨折	11	2,113,538
	3	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 発作性心房細動, 肺動脈性肺高血圧症	9	2,496,999
	4	1302 関節症	原発性股関節症, 変形性膝関節症, 両側性原発性膝関節症	7	2,370,303
	5	0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 胃癌	6	2,267,262
	5	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌	6	4,069,755
平成30年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 腎癌, 膀胱癌	19	3,694,326
	2	1901 骨折	橈骨遠位端骨折, 踵骨骨折, 大腿骨骨幹部骨折	10	1,463,848
	3	0906 脳梗塞	アテローム血栓性脳梗塞, 心原性脳塞栓症, 塞栓性脳梗塞	9	2,766,448
	4	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌, 直腸悪性黒色腫	7	2,549,997
	4	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳房上外側部乳癌, 乳房下外側部乳癌, 乳房下内側部乳癌	7	1,610,420
	4	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	肩腱板断裂, 術後感染症, 内側半月板断裂	7	2,304,491
平成31年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	腎癌, 肝門部胆管癌, 多発性骨髄腫	18	4,686,504
	2	1901 骨折	踵骨骨折, 鎖骨骨折, 胸椎圧迫骨折	11	1,439,278
	3	0704 その他の眼及び付属器の疾患	網膜前膜, 黄斑円孔, 増殖性硝子体網膜症	9	1,133,887
	3	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頸椎症性脊髄症, 軸椎歯突起後方偽腫瘍	9	2,251,333
	5	0906 脳梗塞	アテローム血栓性脳梗塞, アテローム血栓性脳梗塞・急性期, 心原性脳塞栓症	8	1,870,731

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～令和2年3月診療分(48カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 疾病別医療費

① 大分類による疾病別医療費統計

平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「新生物<腫瘍>」が医療費合計の17.3%、「内分泌、栄養及び代謝疾患」は医療費合計の13.3%と高い割合を占めている。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	42,942,419	3.4%	11	3,614	13	943	9	45,538	12
II. 新生物<腫瘍>	215,648,709	17.3%	1	4,177	11	1,050	7	205,380	2
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	5,082,719	0.4%	17	1,402	17	363	15	14,002	20
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	165,947,818	13.3%	2	17,777	2	1,818	1	91,280	6
V. 精神及び行動の障害	117,819,201	9.4%	5	5,076	8	451	14	261,240	1
VI. 神経系の疾患	122,991,752	9.9%	4	8,574	6	876	11	140,402	5
VII. 眼及び付属器の疾患	49,729,032	4.0%	10	5,463	7	1,183	6	42,036	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	9,858,647	0.8%	15	1,640	15	347	16	28,411	16
IX. 循環器系の疾患	147,946,674	11.9%	3	18,155	1	1,689	2	87,594	8
X. 呼吸器系の疾患	60,877,663	4.9%	9	8,611	5	1,641	4	37,098	15
X I. 消化器系の疾患 ※	70,936,910	5.7%	7	13,551	3	1,646	3	43,097	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	18,852,631	1.5%	13	4,456	9	980	8	19,237	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	86,125,084	6.9%	6	10,220	4	1,366	5	63,049	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	64,766,752	5.2%	8	4,157	12	715	12	90,583	7
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	2,877,924	0.2%	19	49	19	17	19	169,290	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※	231,581	0.0%	20	5	21	4	21	57,895	10
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	9,653,032	0.8%	16	328	18	60	18	160,884	4
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	15,324,629	1.2%	14	4,317	10	933	10	16,425	19
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	36,274,112	2.9%	12	1,728	14	639	13	56,767	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,083,061	0.3%	18	1,442	16	230	17	17,752	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	46,610	0.0%	21	11	20	8	20	5,826	21
合計	1,248,016,960			49,344		3,270		381,657	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

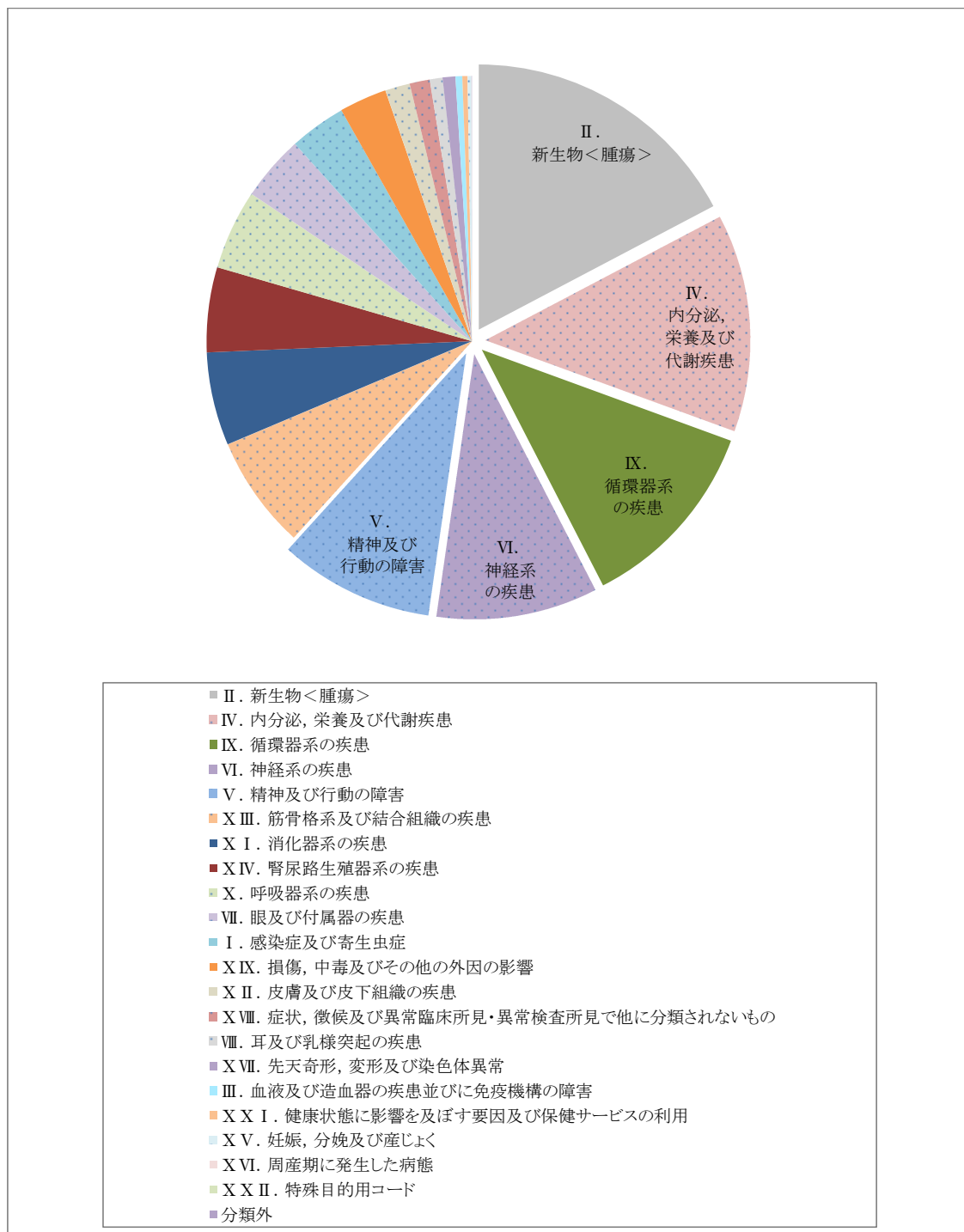
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「新生物<腫瘍>」「内分泌，栄養及び代謝疾患」「循環器系の疾患」「神経系の疾患」「精神及び行動の障害」の医療費で高い割合を占める。

疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

平成28年度から平成31年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示す。

年度別 大分類による疾病別医療費統計

疾病分類(大分類)	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	56,973,220	4.7%	9	37,418,349	3.1%	12	26,992,143	2.2%	12
II. 新生物<腫瘍>	168,105,512	13.9%	2	180,676,129	15.1%	1	186,096,436	15.5%	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	7,935,724	0.7%	16	7,078,755	0.6%	16	7,496,062	0.6%	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	111,634,692	9.2%	5	114,065,265	9.5%	5	140,988,381	11.7%	3
V. 精神及び行動の障害	120,273,244	9.9%	3	126,438,361	10.6%	3	122,815,267	10.2%	5
VI. 神経系の疾患	117,078,039	9.7%	4	119,498,578	10.0%	4	123,467,488	10.3%	4
VII. 眼及び付属器の疾患	41,386,682	3.4%	11	40,804,348	3.4%	11	40,053,704	3.3%	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	7,146,467	0.6%	17	8,022,120	0.7%	15	7,402,491	0.6%	16
IX. 循環器系の疾患	176,065,458	14.5%	1	169,159,600	14.1%	2	193,711,251	16.1%	1
X. 呼吸器系の疾患	50,623,349	4.2%	10	59,702,256	5.0%	9	54,100,090	4.5%	9
X I. 消化器系の疾患 ※	80,493,811	6.7%	8	76,001,899	6.3%	7	72,486,233	6.0%	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	20,563,961	1.7%	13	23,085,551	1.9%	13	18,712,755	1.6%	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	89,416,495	7.4%	7	101,702,575	8.5%	6	76,917,153	6.4%	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	95,794,040	7.9%	6	65,268,365	5.4%	8	66,993,625	5.6%	8
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	4,766,510	0.4%	18	1,756,455	0.1%	19	4,187,781	0.3%	17
X VI. 周産期に発生した病態 ※	12,171,477	1.0%	15	2,695,826	0.2%	17	1,976,011	0.2%	18
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	2,396,057	0.2%	20	1,216,221	0.1%	20	515,364	0.0%	20
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	14,616,223	1.2%	14	14,772,098	1.2%	14	19,298,578	1.6%	13
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	29,837,578	2.5%	12	45,875,524	3.8%	10	37,523,248	3.1%	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,843,521	0.2%	19	2,122,665	0.2%	18	1,673,602	0.1%	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
分類外	305,140	0.0%	21	245,770	0.0%	21	70,467	0.0%	21
合計	1,210,427,200			1,197,606,710			1,203,478,130		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～令和2年3月診療分(48カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

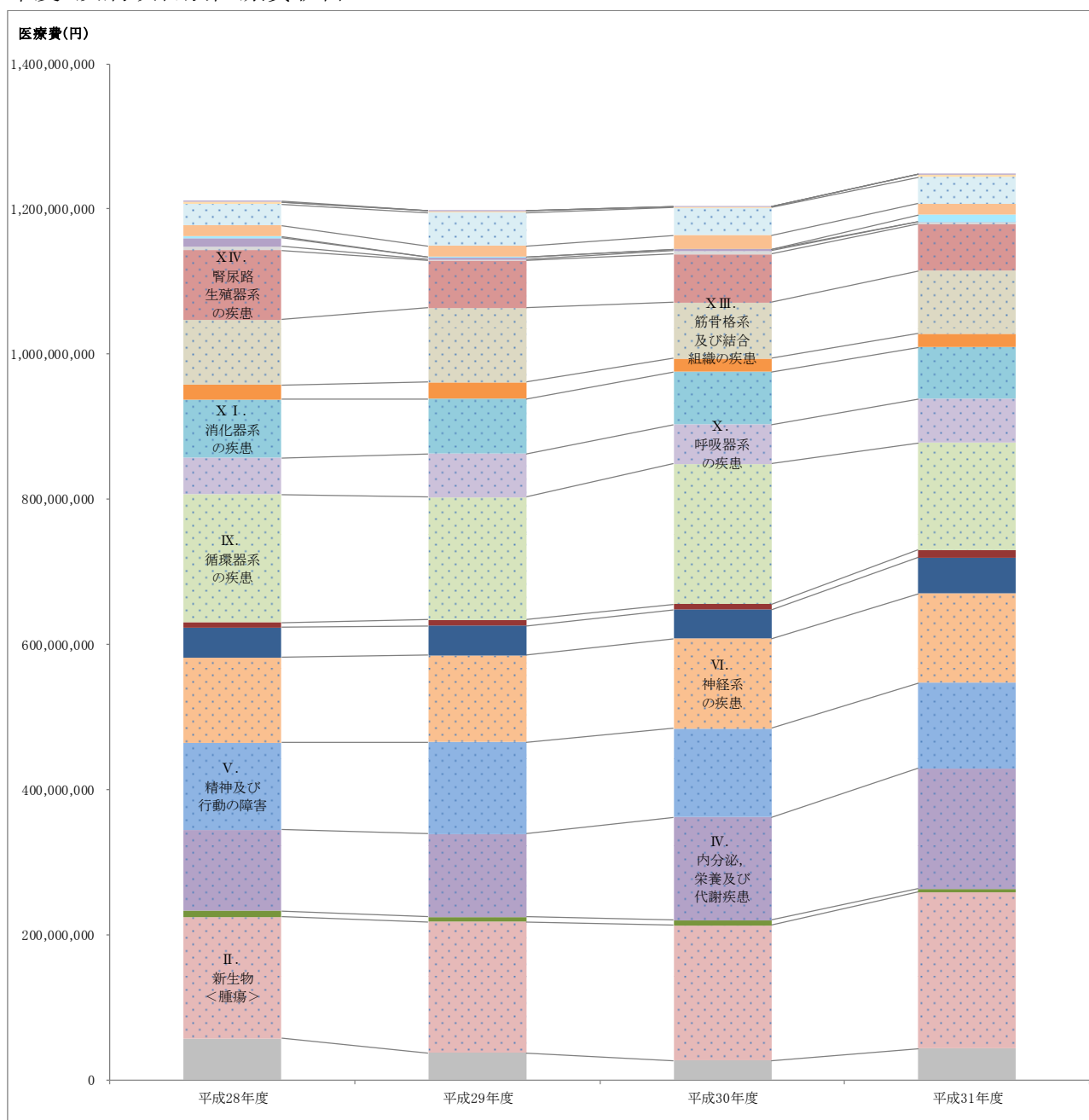
※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※各年度毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

平成31年度		
医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
42,942,419	3.4%	11
215,648,709	17.3%	1
5,082,719	0.4%	17
165,947,818	13.3%	2
117,819,201	9.4%	5
122,991,752	9.9%	4
49,729,032	4.0%	10
9,858,647	0.8%	15
147,946,674	11.9%	3
60,877,663	4.9%	9
70,936,910	5.7%	7
18,852,631	1.5%	13
86,125,084	6.9%	6
64,766,752	5.2%	8
2,877,924	0.2%	19
231,581	0.0%	20
9,653,032	0.8%	16
15,324,629	1.2%	14
36,274,112	2.9%	12
4,083,061	0.3%	18
0	0.0%	
46,610	0.0%	21
1,248,016,960		

年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～令和2年3月診療分(48カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

②中分類による疾病別医療費統計

平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	87,299,371	7.0%	459
2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	78,901,112	6.3%	163
3	0606 その他の神経系の疾患	76,420,379	6.1%	787
4	0402 糖尿病	69,758,688	5.6%	1,228
5	0404 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	59,111,717	4.7%	510
6	0901 高血圧性疾患	57,630,501	4.6%	1,372
7	1113 その他の消化器系の疾患	42,373,787	3.4%	1,147
8	1402 腎不全	40,634,268	3.3%	88
9	0903 その他の心疾患	37,586,069	3.0%	512
10	0403 脂質異常症	31,788,069	2.5%	1,046

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	57,630,501	1,372	42.0%
2	0402 糖尿病	69,758,688	1,228	37.6%
3	1113 その他の消化器系の疾患	42,373,787	1,147	35.1%
4	0403 脂質異常症	31,788,069	1,046	32.0%
5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	15,324,629	933	28.5%
6	0703 屈折及び調節の障害	4,301,761	931	28.5%
7	1006 アレルギー性鼻炎	9,262,331	866	26.5%
8	1003 その他の急性上気道感染症	4,243,150	820	25.1%
9	1105 胃炎及び十二指腸炎	10,906,691	812	24.8%
10	0606 その他の神経系の疾患	76,420,379	787	24.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0209 白血病	8,511,436	9	945,715
2	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	10,445,406	12	870,451
3	1701 心臓の先天奇形	5,983,549	10	598,355
4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	78,901,112	163	484,056
5	1402 腎不全	40,634,268	88	461,753
6	0601 パーキンソン病	13,136,471	36	364,902
7	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	17,232,780	53	325,147
8	1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	2,832,057	13	217,851
9	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	87,299,371	459	190,195
10	0603 てんかん	20,465,686	113	181,112

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

平成28年度から平成31年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成28年度	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	86,408,728	7.1%	160
	2	0606 その他の神経系の疾患	79,518,758	6.6%	794
	3	1402 腎不全	69,895,660	5.8%	74
	4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	69,246,433	5.7%	435
	5	0901 高血圧性疾患	66,610,271	5.5%	1,360
	6	0402 糖尿病	60,982,615	5.0%	1,061
	7	0903 その他の心疾患	46,130,407	3.8%	444
	8	1113 その他の消化器系の疾患	41,815,557	3.5%	1,152
	9	0105 ウイルス性肝炎	41,332,546	3.4%	186
	10	0403 脂質異常症	34,388,932	2.8%	974
平成29年度	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	89,997,186	7.5%	167
	2	0606 その他の神経系の疾患	81,500,765	6.8%	799
	3	0901 高血圧性疾患	64,888,320	5.4%	1,384
	4	0402 糖尿病	63,587,406	5.3%	1,125
	5	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	58,567,460	4.9%	420
	6	1402 腎不全	41,762,684	3.5%	78
	7	0903 その他の心疾患	40,893,186	3.4%	478
	8	1113 その他の消化器系の疾患	40,147,986	3.4%	1,172
	9	0403 脂質異常症	34,744,274	2.9%	1,029
	10	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	26,264,677	2.2%	128
平成30年度	1	0606 その他の神経系の疾患	84,148,257	7.0%	802
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	77,465,484	6.4%	160
	3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	73,136,457	6.1%	428
	4	0402 糖尿病	64,412,832	5.4%	1,203
	5	0901 高血圧性疾患	59,328,627	4.9%	1,386
	6	1402 腎不全	41,524,436	3.5%	86
	7	1113 その他の消化器系の疾患	41,049,375	3.4%	1,126
	8	0404 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	40,530,017	3.4%	492
	9	0903 その他の心疾患	38,345,174	3.2%	505
	10	0403 脂質異常症	32,104,525	2.7%	1,043

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成31年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	87,299,371	7.0%	459
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	78,901,112	6.3%	163
	3	0606 その他の神経系の疾患	76,420,379	6.1%	787
	4	0402 糖尿病	69,758,688	5.6%	1,228
	5	0404 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	59,111,717	4.7%	510
	6	0901 高血圧性疾患	57,630,501	4.6%	1,372
	7	1113 その他の消化器系の疾患	42,373,787	3.4%	1,147
	8	1402 腎不全	40,634,268	3.3%	88
	9	0903 その他の心疾患	37,586,069	3.0%	512
	10	0403 脂質異常症	31,788,069	2.5%	1,046

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～令和2年3月診療分(48カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者数上位10疾病を年度別に示す。

4年を通して患者数上位の疾病は「高血圧性疾患」「糖尿病」「その他消化器系の疾患」「脂質異常症」となっている。特に「糖尿病」は増加傾向となっている。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成28年度	1	0901 高血圧性疾患	66,610,271	1,360	38.2%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	41,815,557	1,152	32.4%
	3	0402 糖尿病	60,982,615	1,061	29.8%
	4	1006 アレルギー性鼻炎	10,260,302	977	27.5%
	5	0403 脂質異常症	34,388,932	974	27.4%
	6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	14,616,223	972	27.3%
	7	1003 その他の急性上気道感染症	5,133,790	915	25.7%
	8	1105 胃炎及び十二指腸炎	12,294,225	904	25.4%
	9	0703 屈折及び調節の障害	4,117,724	882	24.8%
	10	1202 皮膚炎及び湿疹	8,517,239	816	22.9%
平成29年度	1	0901 高血圧性疾患	64,888,320	1,384	39.3%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	40,147,986	1,172	33.3%
	3	0402 糖尿病	63,587,406	1,125	31.9%
	4	0403 脂質異常症	34,744,274	1,029	29.2%
	5	1006 アレルギー性鼻炎	10,357,790	1,013	28.7%
	6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	14,772,098	958	27.2%
	7	1003 その他の急性上気道感染症	4,521,744	934	26.5%
	8	1105 胃炎及び十二指腸炎	12,592,701	882	25.0%
	9	0703 屈折及び調節の障害	4,106,144	855	24.3%
	10	1202 皮膚炎及び湿疹	9,390,025	813	23.1%
平成30年度	1	0901 高血圧性疾患	59,328,627	1,386	40.6%
	2	0402 糖尿病	64,412,832	1,203	35.2%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	41,049,375	1,126	33.0%
	4	0403 脂質異常症	32,104,525	1,043	30.6%
	5	1006 アレルギー性鼻炎	9,332,297	972	28.5%
	6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	19,298,578	956	28.0%
	7	0703 屈折及び調節の障害	4,289,333	940	27.5%
	8	1003 その他の急性上気道感染症	3,804,751	845	24.8%
	9	0606 その他の神経系の疾患	84,148,257	802	23.5%
	10	1105 胃炎及び十二指腸炎	10,793,422	800	23.4%

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成31年度	1	0901 高血圧性疾患	57,630,501	1,372	42.0%
	2	0402 糖尿病	69,758,688	1,228	37.6%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	42,373,787	1,147	35.1%
	4	0403 脂質異常症	31,788,069	1,046	32.0%
	5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	15,324,629	933	28.5%
	6	0703 屈折及び調節の障害	4,301,761	931	28.5%
	7	1006 アレルギー性鼻炎	9,262,331	866	26.5%
	8	1003 その他の急性上気道感染症	4,243,150	820	25.1%
	9	1105 胃炎及び十二指腸炎	10,906,691	812	24.8%
	10	0606 その他の神経系の疾患	76,420,379	787	24.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～令和2年3月診療分(48カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示す。

患者1人当たりの医療費が高額な疾病は「白血病」となっている。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
平成28年度	1	1602 その他の周産期に発生した病態	12,160,450	4	3,040,113
	2	1402 腎不全	69,895,660	74	944,536
	3	0209 白血病	6,028,985	7	861,284
	4	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	12,581,784	17	740,105
	5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	86,408,728	160	540,055
	6	0208 悪性リンパ腫	6,639,958	16	414,997
	7	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	6,763,987	27	250,518
	8	1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	4,598,616	19	242,032
	9	0105 ウイルス性肝炎	41,332,546	186	222,218
	10	0601 パーキンソン病	5,959,564	30	198,652
平成29年度	1	0209 白血病	7,731,078	7	1,104,440
	2	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	11,137,648	12	928,137
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	89,997,186	167	538,905
	4	1602 その他の周産期に発生した病態	2,683,482	5	536,696
	5	1402 腎不全	41,762,684	78	535,419
	6	0208 悪性リンパ腫	10,551,004	23	458,739
	7	0601 パーキンソン病	8,922,630	41	217,625
	8	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	26,264,677	128	205,193
	9	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	3,306,547	17	194,503
	10	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	7,721,231	44	175,483
平成30年度	1	0209 白血病	7,734,610	7	1,104,944
	2	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	10,204,198	15	680,280
	3	1602 その他の周産期に発生した病態	1,962,776	4	490,694
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	77,465,484	160	484,159
	5	1402 腎不全	41,524,436	86	482,842
	6	0905 脳内出血	15,428,105	42	367,336
	7	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	17,059,739	58	294,133
	8	0507 その他の精神及び行動の障害	12,175,701	50	243,514
	9	0601 パーキンソン病	8,901,098	38	234,239
	10	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	18,339,412	88	208,402

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
平成31年度	1	0209 白血病	8,511,436	9	945,715
	2	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	10,445,406	12	870,451
	3	1701 心臓の先天奇形	5,983,549	10	598,355
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	78,901,112	163	484,056
	5	1402 腎不全	40,634,268	88	461,753
	6	0601 パーキンソン病	13,136,471	36	364,902
	7	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	17,232,780	53	325,147
	8	1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	2,832,057	13	217,851
	9	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	87,299,371	459	190,195
	10	0603 てんかん	20,465,686	113	181,112

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～令和2年3月診療分(48カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※				
	1,248,016,960			49,344			3,270				
疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	42,942,419	3.4%		3,614	7.3%		943	28.8%		45,538	
0101 腸管感染症	1,360,136	0.1%	87	589	1.2%	56	230	7.0%	39	5,914	107
0102 結核	3,729,107	0.3%	60	97	0.2%	101	42	1.3%	91	88,788	23
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	298,989	0.0%	106	118	0.2%	98	70	2.1%	77	4,271	114
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	3,070,021	0.2%	67	686	1.4%	50	206	6.3%	45	14,903	80
0105 ウイルス性肝炎	23,692,414	1.9%	13	569	1.2%	58	182	5.6%	50	130,178	14
0106 その他のウイルス性疾患	2,110,343	0.2%	81	121	0.2%	97	56	1.7%	84	37,685	47
0107 真菌症	4,475,968	0.4%	54	1,020	2.1%	42	253	7.7%	34	17,692	75
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	626,230	0.1%	97	29	0.1%	110	7	0.2%	112	89,461	22
0109 その他の感染症及び寄生虫症	3,579,211	0.3%	62	795	1.6%	47	267	8.2%	33	13,405	86
II. 新生物<腫瘍>	215,648,709	17.3%		4,177	8.5%		1,050	32.1%		205,380	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	15,999,625	1.3%	25	605	1.2%	53	233	7.1%	38	68,668	29
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	23,436,294	1.9%	14	601	1.2%	54	222	6.8%	42	105,569	18
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	17,232,780	1.4%	22	246	0.5%	84	53	1.6%	87	325,147	7
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	2,993,044	0.2%	68	224	0.5%	85	78	2.4%	73	38,372	45
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	24,466,521	2.0%	11	405	0.8%	70	157	4.8%	55	155,838	12
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	14,389,728	1.2%	28	390	0.8%	73	86	2.6%	72	167,322	11
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	2,613,797	0.2%	73	156	0.3%	92	73	2.2%	76	35,805	51
0208 悪性リンパ腫	577,552	0.0%	98	85	0.2%	102	26	0.8%	98	22,214	63
0209 白血病	8,511,436	0.7%	41	38	0.1%	107	9	0.3%	109	945,715	1
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	87,299,371	7.0%	1	1,850	3.7%	29	459	14.0%	22	190,195	9
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	18,128,561	1.5%	19	893	1.8%	45	348	10.6%	27	52,094	39
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5,082,719	0.4%		1,402	2.8%		363	11.1%		14,002	
0301 貧血	2,463,872	0.2%	76	962	1.9%	43	222	6.8%	42	11,099	92
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,618,847	0.2%	72	558	1.1%	60	206	6.3%	45	12,713	87
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	165,947,818	13.3%		17,777	36.0%		1,818	55.6%		91,280	
0401 甲状腺障害	5,289,344	0.4%	51	1,089	2.2%	41	246	7.5%	37	21,501	66
0402 糖尿病	69,758,688	5.6%	4	9,240	18.7%	4	1,228	37.6%	2	56,807	36
0403 脂質異常症	31,788,069	2.5%	10	11,040	22.4%	2	1,046	32.0%	4	30,390	56
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	59,111,717	4.7%	5	3,285	6.7%	12	510	15.6%	18	115,905	16
V. 精神及び行動の障害	117,819,201	9.4%		5,076	10.3%		451	13.8%		261,240	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	1,257,992	0.1%	88	102	0.2%	99	16	0.5%	102	78,625	25
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	953,463	0.1%	91	62	0.1%	103	9	0.3%	109	105,940	17
0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	78,901,112	6.3%	2	2,358	4.8%	19	163	5.0%	53	484,056	4

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1,248,016,960	49,344	3,270

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位	
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	23,140,596	1.9%	15	2,472	5.0%	16	191	5.8%	49	121,155	15
0505	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	10,192,977	0.8%	35	2,746	5.6%	15	270	8.3%	32	37,752	46
0506	知的障害<精神遅滞>	218,218	0.0%	111	164	0.3%	90	12	0.4%	105	18,185	73
0507	その他の精神及び行動の障害	3,154,843	0.3%	65	425	0.9%	68	48	1.5%	90	65,726	31
VI.	神経系の疾患	122,991,752	9.9%		8,574	17.4%		876	26.8%		140,402	
0601	パーキンソン病	13,136,471	1.1%	29	515	1.0%	63	36	1.1%	94	364,902	6
0602	アルツハイマー病	2,132,375	0.2%	80	186	0.4%	87	22	0.7%	100	96,926	21
0603	てんかん	20,465,686	1.6%	16	1,390	2.8%	36	113	3.5%	63	181,112	10
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	10,445,406	0.8%	34	62	0.1%	103	12	0.4%	105	870,451	2
0605	自律神経系の障害	391,435	0.0%	101	276	0.6%	80	37	1.1%	93	10,579	94
0606	その他の神経系の疾患	76,420,379	6.1%	3	7,442	15.1%	5	787	24.1%	10	97,103	20
VII.	眼及び付属器の疾患	49,729,032	4.0%		5,463	11.1%		1,183	36.2%		42,036	
0701	結膜炎	4,661,763	0.4%	52	2,179	4.4%	23	551	16.9%	15	8,461	103
0702	白内障	16,688,333	1.3%	24	2,193	4.4%	22	419	12.8%	23	39,829	44
0703	屈折及び調節の障害	4,301,761	0.3%	56	4,322	8.8%	7	931	28.5%	6	4,621	112
0704	その他の眼及び付属器の疾患	24,077,175	1.9%	12	3,793	7.7%	10	734	22.4%	11	32,803	54
VIII.	耳及び乳様突起の疾患	9,858,647	0.8%		1,640	3.3%		347	10.6%		28,411	
0801	外耳炎	345,633	0.0%	103	285	0.6%	79	77	2.4%	74	4,489	113
0802	その他の外耳疾患	1,103,458	0.1%	89	568	1.2%	59	182	5.6%	50	6,063	106
0803	中耳炎	2,544,702	0.2%	74	252	0.5%	83	57	1.7%	82	44,644	41
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	1,629,463	0.1%	83	458	0.9%	66	63	1.9%	81	25,864	59
0805	メニエール病	367,357	0.0%	102	151	0.3%	93	30	0.9%	96	12,245	88
0806	その他の内耳疾患	2,439,108	0.2%	77	516	1.0%	62	113	3.5%	63	21,585	65
0807	その他の耳疾患	1,428,926	0.1%	86	594	1.2%	55	157	4.8%	55	9,101	101
IX.	循環器系の疾患	147,946,674	11.9%		18,155	36.8%		1,689	51.7%		87,594	
0901	高血圧性疾患	57,630,501	4.6%	6	15,828	32.1%	1	1,372	42.0%	1	42,005	42
0902	虚血性心疾患	11,715,510	0.9%	32	2,021	4.1%	25	252	7.7%	35	46,490	40
0903	その他の心疾患	37,586,069	3.0%	9	3,050	6.2%	14	512	15.7%	17	73,410	28
0904	くも膜下出血	48,556	0.0%	113	9	0.0%	114	5	0.2%	114	9,711	97
0905	脳内出血	7,653,365	0.6%	45	144	0.3%	95	50	1.5%	88	153,067	13
0906	脳梗塞	17,983,201	1.4%	20	1,383	2.8%	37	204	6.2%	47	88,153	24
0907	脳動脈硬化(症)	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
0908	その他の脳血管疾患	2,979,883	0.2%	69	431	0.9%	67	110	3.4%	66	27,090	58
0909	動脈硬化(症)	3,321,421	0.3%	63	302	0.6%	78	55	1.7%	85	60,389	33
0911	低血圧(症)	50,595	0.0%	112	43	0.1%	105	10	0.3%	107	5,060	111
0912	その他の循環器系の疾患	8,977,573	0.7%	38	686	1.4%	50	141	4.3%	61	63,671	32
X.	呼吸器系の疾患	60,877,663	4.9%		8,611	17.5%		1,641	50.2%		37,098	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	341,499	0.0%	104	403	0.8%	71	106	3.2%	68	3,222	118
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	1,527,705	0.1%	84	882	1.8%	46	411	12.6%	25	3,717	116
1003	その他の急性上気道感染症	4,243,150	0.3%	57	2,094	4.2%	24	820	25.1%	8	5,175	110

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1,248,016,960	49,344	3,270

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004 肺炎	11,968,550	1.0%	31	399	0.8%	72	153	4.7%	57	78,226	26
1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	5,871,364	0.5%	49	1,851	3.8%	28	614	18.8%	13	9,562	100
1006 アレルギー性鼻炎	9,262,331	0.7%	36	4,222	8.6%	9	866	26.5%	7	10,696	93
1007 慢性副鼻腔炎	1,845,057	0.1%	82	657	1.3%	52	88	2.7%	70	20,967	68
1008 急性又は慢性と明示されない気管支炎	505,892	0.0%	100	271	0.5%	82	69	2.1%	78	7,332	105
1009 慢性閉塞性肺疾患	4,639,242	0.4%	53	959	1.9%	44	153	4.7%	57	30,322	57
1010 喘息	8,608,722	0.7%	40	1,434	2.9%	34	210	6.4%	44	40,994	43
1011 その他の呼吸器系の疾患	12,064,151	1.0%	30	1,738	3.5%	30	477	14.6%	20	25,292	61
X I . 消化器系の疾患	70,936,910	5.7%		13,551	27.5%		1,646	50.3%		43,097	
1101 う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102 歯肉炎及び歯周疾患	20,801	0.0%	117	4	0.0%	117	4	0.1%	115	5,200	109
1103 その他の歯及び歯の支持組織の障害	7,074	0.0%	118	6	0.0%	115	3	0.1%	116	2,358	119
1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	5,698,431	0.5%	50	2,412	4.9%	17	285	8.7%	30	19,994	71
1105 胃炎及び十二指腸炎	10,906,691	0.9%	33	4,874	9.9%	6	812	24.8%	9	13,432	85
1106 痔核	684,262	0.1%	96	275	0.6%	81	49	1.5%	89	13,965	81
1107 アルコール性肝疾患	709,648	0.1%	95	123	0.2%	96	21	0.6%	101	33,793	53
1108 慢性肝炎 (アルコール性のものを除く)	912,641	0.1%	92	422	0.9%	69	67	2.0%	80	13,622	84
1109 肝硬変 (アルコール性のものを除く)	879,144	0.1%	93	173	0.4%	89	34	1.0%	95	25,857	60
1110 その他の肝疾患	2,935,216	0.2%	70	1,322	2.7%	38	327	10.0%	28	8,976	102
1111 胆石症及び胆のう炎	4,313,172	0.3%	55	493	1.0%	64	119	3.6%	62	36,245	49
1112 膵疾患	1,496,043	0.1%	85	215	0.4%	86	74	2.3%	75	20,217	70
1113 その他の消化器系の疾患	42,373,787	3.4%	7	9,333	18.9%	3	1,147	35.1%	3	36,943	48
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患	18,852,631	1.5%		4,456	9.0%		980	30.0%		19,237	
1201 皮膚及び皮下組織の感染症	2,288,822	0.2%	78	376	0.8%	75	166	5.1%	52	13,788	82
1202 皮膚炎及び湿疹	7,601,582	0.6%	46	3,221	6.5%	13	731	22.4%	12	10,399	96
1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	8,962,227	0.7%	39	2,007	4.1%	26	476	14.6%	21	18,828	72
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患	86,125,084	6.9%		10,220	20.7%		1,366	41.8%		63,049	
1301 炎症性多発性関節障害	7,986,079	0.6%	44	1,608	3.3%	32	250	7.6%	36	31,944	55
1302 関節症	20,106,452	1.6%	17	2,332	4.7%	20	376	11.5%	26	53,475	38
1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	17,289,439	1.4%	21	1,684	3.4%	31	304	9.3%	29	56,873	35
1304 椎間板障害	3,774,986	0.3%	59	554	1.1%	61	162	5.0%	54	23,302	62
1305 頸腕症候群	1,085,278	0.1%	90	726	1.5%	49	113	3.5%	63	9,604	99
1306 腰痛症及び坐骨神経痛	6,395,785	0.5%	47	3,324	6.7%	11	553	16.9%	14	11,566	89
1307 その他の脊柱障害	3,218,445	0.3%	64	378	0.8%	74	89	2.7%	69	36,162	50
1308 肩の傷害<損傷>	2,518,704	0.2%	75	1,252	2.5%	39	226	6.9%	41	11,145	90
1309 骨の密度及び構造の障害	15,594,201	1.2%	26	2,404	4.9%	18	271	8.3%	31	57,543	34
1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	8,155,715	0.7%	42	2,303	4.7%	21	534	16.3%	16	15,273	79

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※		
	1,248,016,960			49,344			3,270		

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	
											順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	64,766,752	5.2%		4,157	8.4%		715	21.9%		90,583	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	2,254,861	0.2%	79	469	1.0%	65	108	3.3%	67	20,878	69
1402 腎不全	40,634,268	3.3%	8	729	1.5%	48	88	2.7%	70	461,753	5
1403 尿路結石症	547,951	0.0%	99	157	0.3%	91	57	1.7%	82	9,613	98
1404 その他の腎尿路系の疾患	9,205,140	0.7%	37	1,974	4.0%	27	417	12.8%	24	22,075	64
1405 前立腺肥大(症)	8,035,114	0.6%	43	1,421	2.9%	35	148	4.5%	59	54,291	37
1406 その他の男性生殖器系の疾患	284,608	0.0%	108	146	0.3%	94	27	0.8%	97	10,541	95
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	715,524	0.1%	94	180	0.4%	88	41	1.3%	92	17,452	76
1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患	3,089,286	0.2%	66	312	0.6%	76	144	4.4%	60	21,453	67
XV. 妊娠、分娩及び産じょく	2,877,924	0.2%		49	0.1%		17	0.5%		169,290	
1501 流産	45,867	0.0%	115	10	0.0%	113	6	0.2%	113	7,645	104
1502 妊娠高血圧症候群	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく	2,832,057	0.2%	71	40	0.1%	106	13	0.4%	104	217,851	8
XVI. 産産期に発生した病態	231,581	0.0%		5	0.0%		4	0.1%		57,895	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	3,640	0.0%	119	2	0.0%	119	1	0.0%	119	3,640	117
1602 その他の産産期に発生した病態	227,941	0.0%	110	3	0.0%	118	3	0.1%	116	75,980	27
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常	9,653,032	0.8%		328	0.7%		60	1.8%		160,884	
1701 心臓の先天奇形	5,983,549	0.5%	48	37	0.1%	108	10	0.3%	107	598,355	3
1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常	3,669,483	0.3%	61	311	0.6%	77	55	1.7%	85	66,718	30
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	15,324,629	1.2%		4,317	8.7%		933	28.5%		16,425	
1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	15,324,629	1.2%	27	4,317	8.7%	8	933	28.5%	5	16,425	77
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	36,274,112	2.9%		1,728	3.5%		639	19.5%		56,767	
1901 骨折	18,679,398	1.5%	18	586	1.2%	57	192	5.9%	48	97,289	19
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	327,962	0.0%	105	33	0.1%	109	24	0.7%	99	13,665	83
1903 熱傷及び腐食	234,048	0.0%	109	29	0.1%	110	15	0.5%	103	15,603	78
1904 中毒	288,129	0.0%	107	101	0.2%	100	69	2.1%	78	4,176	115
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	16,744,575	1.3%	23	1,151	2.3%	40	479	14.6%	19	34,957	52
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,083,061	0.3%		1,442	2.9%		230	7.0%		17,752	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1,248,016,960	49,344	3,270

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105 特定の処置(歯の補てつを除外)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	33,310	0.0%	116	5	0.0%	116	3	0.1%	116	11,103	91
2106 その他の理由による保健サービスの利用者	4,049,751	0.3%	58	1,437	2.9%	33	227	6.9%	40	17,840	74
XXII. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210 重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220 その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外	46,610	0.0%		11	0.0%		8	0.2%		5,826	
9999 分類外	46,610	0.0%	114	11	0.0%	112	8	0.2%	111	5,826	108

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)によると

医療費総計の1位が「その他の悪性新生物(腫瘍)」、2位が「統合失調症」、3位が「その他の神経系の疾患」となっている。4位が「糖尿病」、5位が「その他内分泌、栄養及び代謝疾患」、6位が「高血圧性疾患」である。

レセプト件数の1位が「高血圧性疾患」、2位が「脂質異常症」、3位が「その他消化器系疾患」となっている。

患者数の1位が「高血圧性疾患」で1,372人、2位が「糖尿病」で1,228人、3位が「その他消化器系疾患」で1,147人となっている。

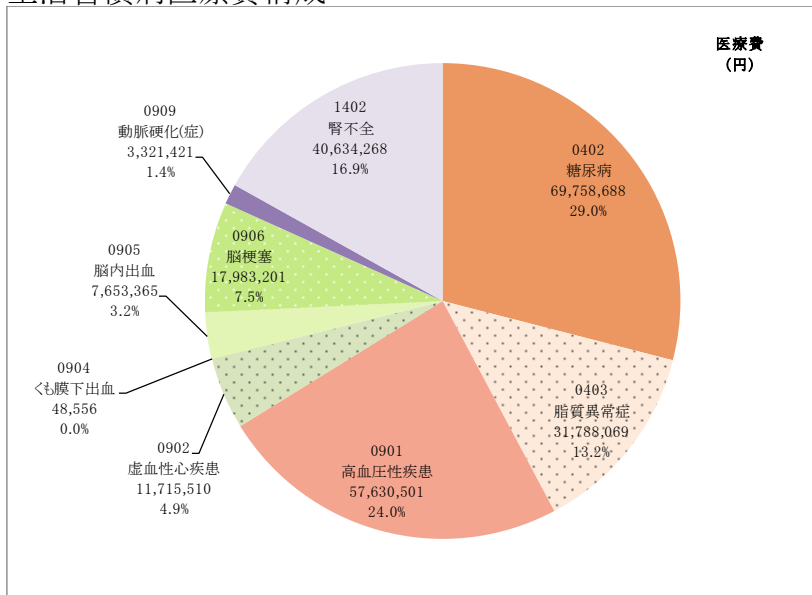
(4) 生活習慣病に係る医療費

平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、生活習慣病の医療費及び患者数を算出した。糖尿病医療費は6,976万円、脂質異常症医療費は3,179万円、高血圧性疾患医療費は5,763万円となっている。

生活習慣病医療費

疾病分類(中分類)	医療費(円)	構成比(%)	順位	患者数(人)	有病率(%) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0402 糖尿病	69,758,688	29.0%	1	1,228	30.5%	2	56,807	5
0403 脂質異常症	31,788,069	13.2%	4	1,046	26.0%	3	30,390	8
0901 高血圧性疾患	57,630,501	24.0%	2	1,372	34.1%	1	42,005	7
0902 虚血性心疾患	11,715,510	4.9%	6	252	6.3%	4	46,490	6
0904 くも膜下出血	48,556	0.0%	9	5	0.1%	9	9,711	9
0905 脳内出血	7,653,365	3.2%	7	50	1.2%	8	153,067	2
0906 脳梗塞	17,983,201	7.5%	5	204	5.1%	5	88,153	3
0907 脳動脈硬化(症)	0	0.0%	10	0	0.0%	10	0	10
0909 動脈硬化(症)	3,321,421	1.4%	8	55	1.4%	7	60,389	4
1402 腎不全	40,634,268	16.9%	3	88	2.2%	6	461,753	1
合計	240,533,579			2,059	51.1%		116,821	

生活習慣病医療費構成



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※有病率…被保険者数に占める患者数の割合。
生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

生活習慣病の医療費上位5位は、第1位「糖尿病」、第2位「高血圧性疾患」、3位「腎不全」、4位「脂質異常症」、5位「脳梗塞」となっている。

平成28年度から平成31年度における、生活習慣病医療費を年度別に示す。平成31年度を平成28年度と比較すると、糖尿病医療費6,976万円は、平成28年度6,098万円より878万円増加している。また、脂質異常症医療費3,179万円は、平成28年度3,439万円より260万円減少している。高血圧性疾患医療費5,763万円は、平成28年度6,661万円より898万円減少している。

年度別 生活習慣病医療費

疾病分類(中分類)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)
0402	糖尿病	60,982,615	22.1%	63,587,406	25.9%	64,412,832	25.6%
0403	脂質異常症	34,388,932	12.5%	34,744,274	14.1%	32,104,525	12.8%
0901	高血圧性疾患	66,610,271	24.2%	64,888,320	26.4%	59,328,627	23.6%
0902	虚血性心疾患	15,456,472	5.6%	17,964,627	7.3%	15,151,344	6.0%
0904	くも膜下出血	238,835	0.1%	102,488	0.0%	122,514	0.0%
0905	脳内出血	4,039,404	1.5%	8,133,158	3.3%	15,428,105	6.1%
0906	脳梗塞	18,612,006	6.8%	10,706,018	4.4%	18,508,236	7.4%
0907	脳動脈硬化(症)	0	0.0%	4,510	0.0%	0	0.0%
0909	動脈硬化(症)	5,096,102	1.9%	3,806,060	1.5%	5,035,232	2.0%
1402	腎不全	69,895,660	25.4%	41,762,684	17.0%	41,524,436	16.5%
合計		275,320,297		245,699,545		251,615,851	

疾病分類(中分類)		平成31年度	
		医療費(円) ※	構成比(%)
0402	糖尿病	69,758,688	29.0%
0403	脂質異常症	31,788,069	13.2%
0901	高血圧性疾患	57,630,501	24.0%
0902	虚血性心疾患	11,715,510	4.9%
0904	くも膜下出血	48,556	0.0%
0905	脳内出血	7,653,365	3.2%
0906	脳梗塞	17,983,201	7.5%
0907	脳動脈硬化(症)	0	0.0%
0909	動脈硬化(症)	3,321,421	1.4%
1402	腎不全	40,634,268	16.9%
合計		240,533,579	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～令和2年3月診療分(48カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

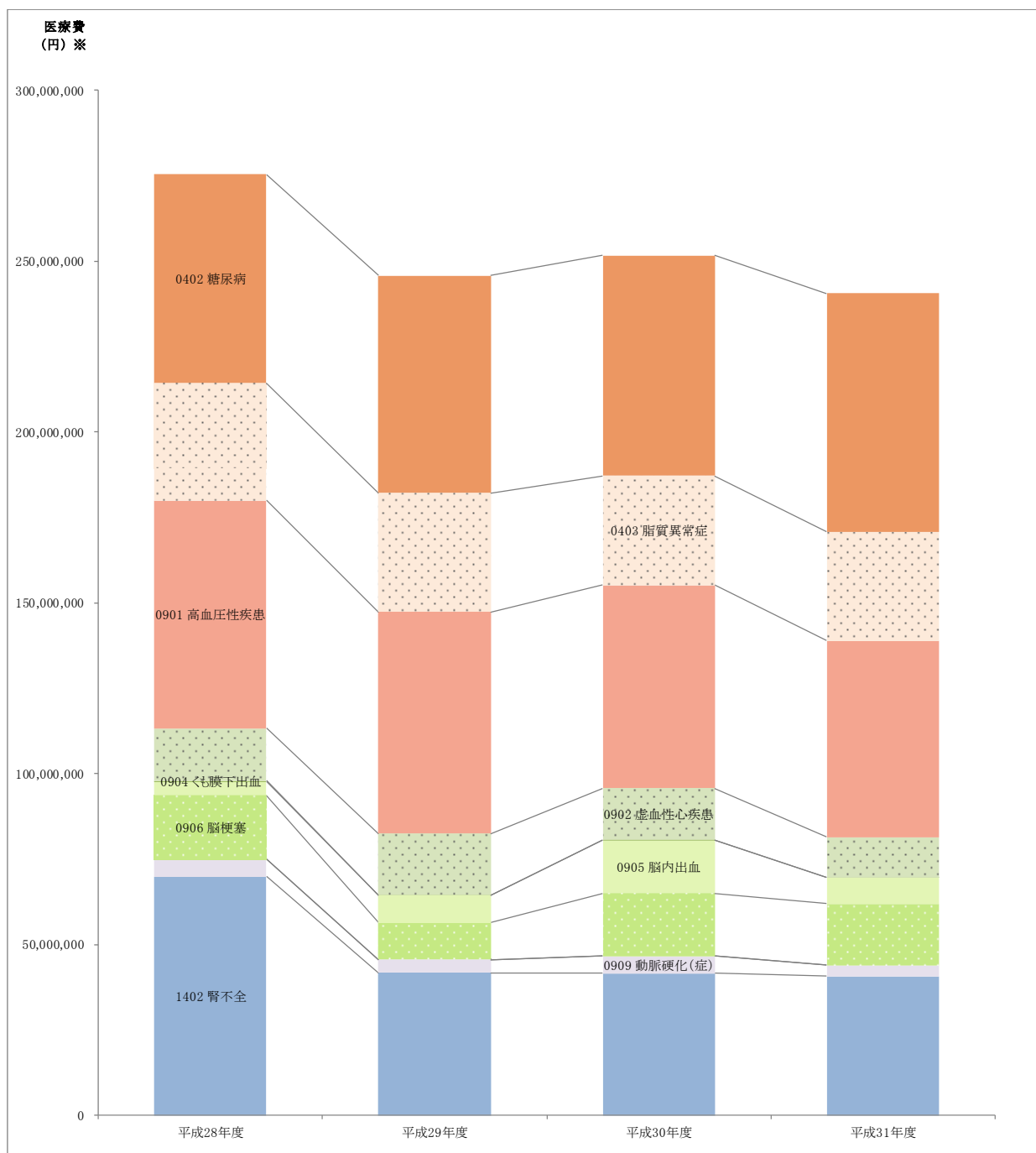
生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、

「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

生活習慣病の医療費合計は、減少傾向にあるものの、横ばいの状況である。

年度別 生活習慣病医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～令和2年3月診療分(48カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、

「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

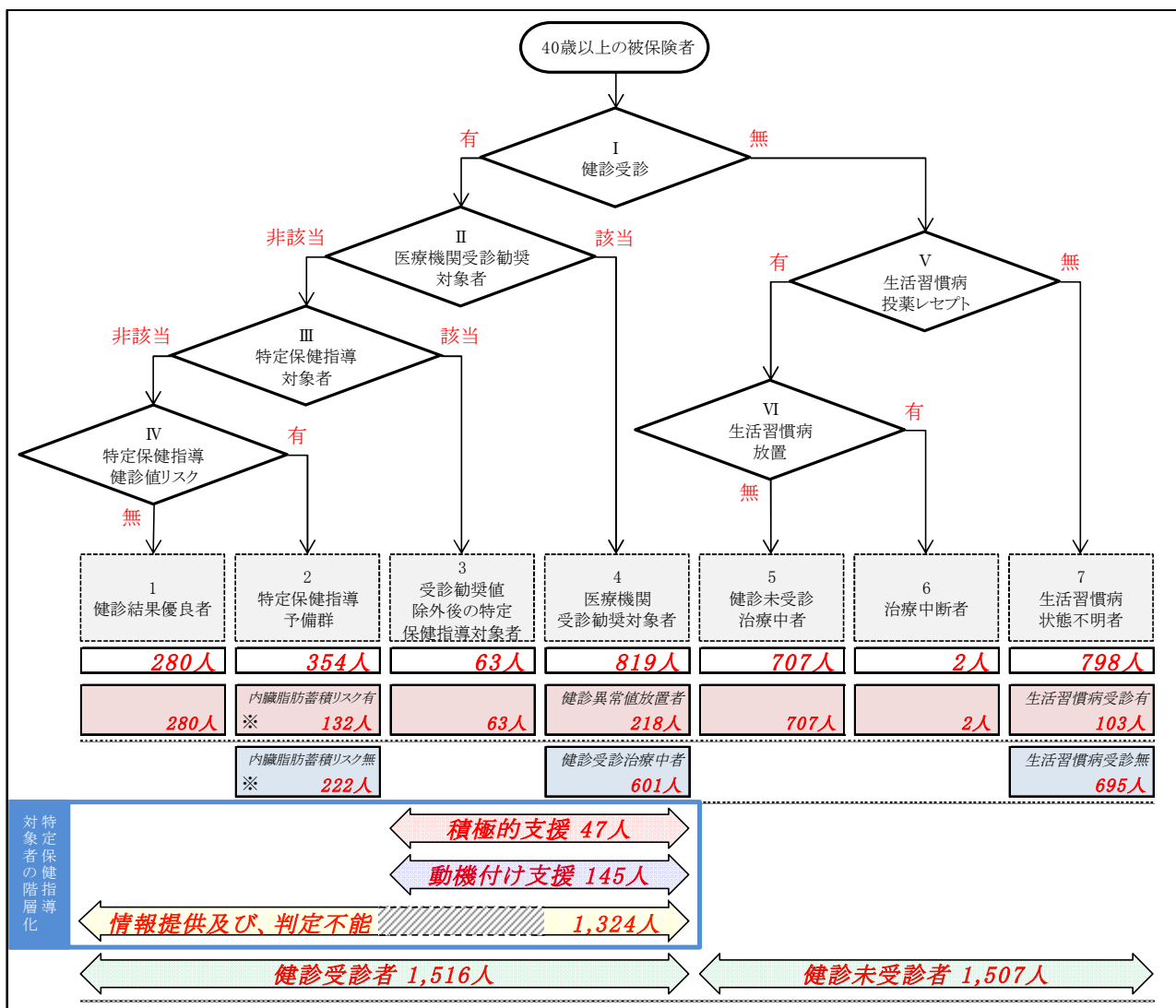
4. 保健事業実施に係る分析結果

(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

各フローの詳細については巻末資料「1. 指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。

※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 特定健康診査に係る分析

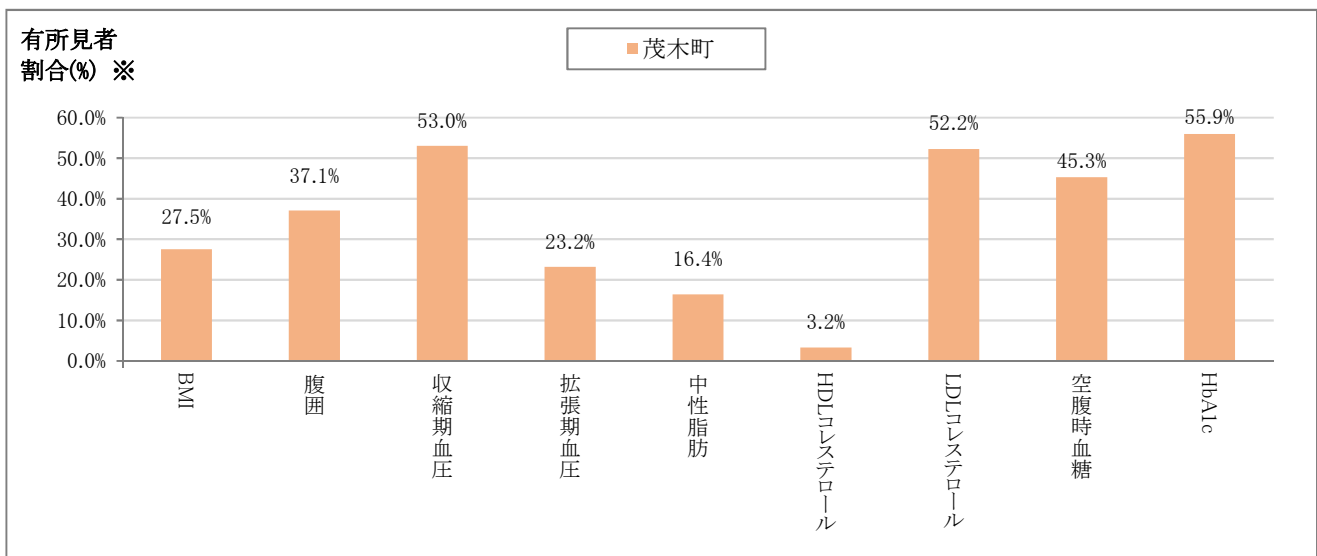
特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を以下に示す。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	1,516	1,516	1,516	1,516
有所見者数(人) ※	417	562	803	351
有所見者割合(%) ※	27.5%	37.1%	53.0%	23.2%

	中性脂肪	HDL コレステロール	LDL コレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	1,516	1,516	1,516	1,444	1,516
有所見者数(人) ※	248	49	792	654	848
有所見者割合(%) ※	16.4%	3.2%	52.2%	45.3%	55.9%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、
中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、
空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

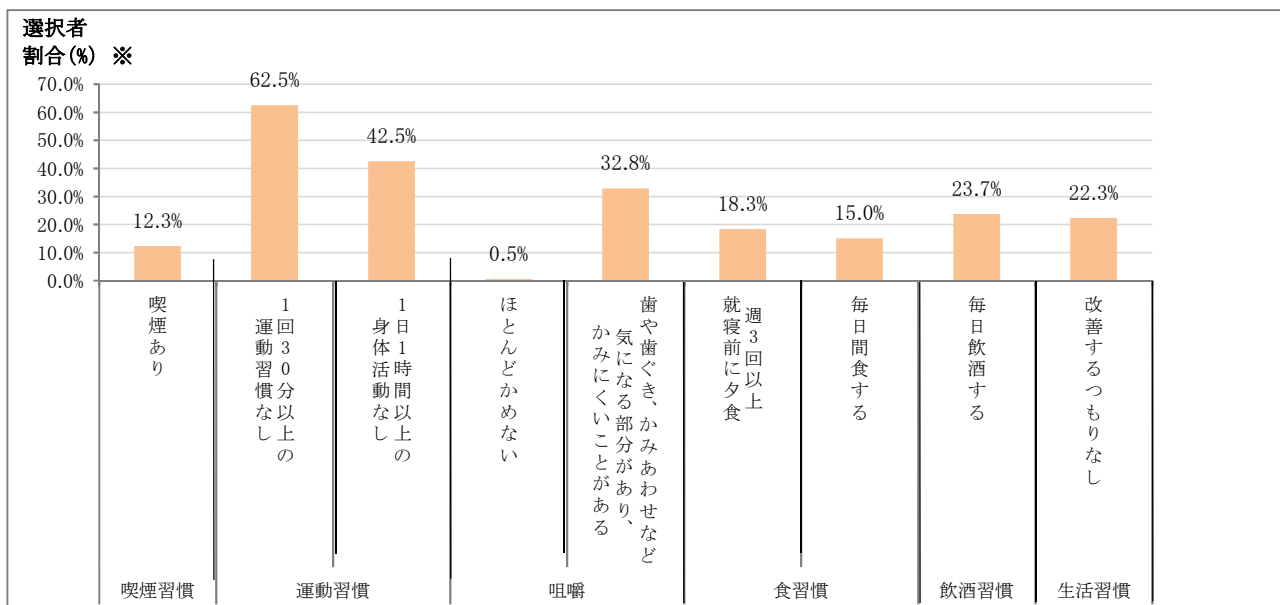
有所見者割合が高い検査値上位3位は、「HbA1c」55.9%、「収縮期血圧」53.0%、「LDLコレステロール」52.2%である。また、選択者割合が高い質問の上位3位は「1回30分以上の運動習慣なし」62.5%、「1日1時間以上の身体活動なし」42.5%、「毎日飲酒する」23.7%となっている。

質問別回答状況

質問の選択肢	喫煙習慣	運動習慣		咀嚼	
	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし	ほとんどかめない	歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある
質問回答者数(人) ※	1,516	1,516	1,516	1,502	1,502
選択者数(人) ※	187	947	644	8	493
選択者割合(%) ※	12.3%	62.5%	42.5%	0.5%	32.8%

質問の選択肢	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
	週3回以上就寝前に夕食	毎日間食する	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	1,516	1,516	1,516	1,514
選択者数(人) ※	278	228	359	338
選択者割合(%) ※	18.3%	15.0%	23.7%	22.3%

質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

喫煙あり

…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

1回30分以上の運動習慣なし

…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

1日1時間以上の身体活動なし

…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

ほとんどかめない

…「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対し、「ほとんどかめない」の回答数を集計。

歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある

…「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対し、「歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある」の回答数を集計。

週3回以上就寝前に夕食

…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

毎日間食する

…「朝食夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。

毎日飲酒する

…「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。

改善するつもりなし

…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いませんか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

(3) 特定保健指導に係る分析

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は192人である。このうち、積極的支援の対象者は47人、動機付け支援の対象者は145人である。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			192人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	3人	47人 24%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	6人	
	●	●		●		血糖＋血圧＋喫煙	3人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	2人	
	●	●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	3人	
	●	●			因子数2	血糖＋血圧	11人	
	●		●			血糖＋脂質	2人	
		●	●			血圧＋脂質	7人	
	●			●		血糖＋喫煙	1人	
		●		●		血圧＋喫煙	4人	
			●	●	因子数1	脂質＋喫煙	5人	
	●					血糖	0人	
		●				血圧	0人	
		●		因子数0	脂質	0人		
			●		喫煙	0人		
				なし	0人			
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	2人	145人 76%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	10人	
	●	●		●		血糖＋血圧＋喫煙	3人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	1人	
	●	●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	1人	
	●	●			因子数2	血糖＋血圧	26人	
	●		●			血糖＋脂質	2人	
		●	●			血圧＋脂質	12人	
	●			●		血糖＋喫煙	3人	
		●		●		血圧＋喫煙	3人	
			●	●	因子数1	脂質＋喫煙	0人	
	●					血糖	21人	
		●				血圧	49人	
		●		因子数0	脂質	12人		
			●		喫煙	0人		
				なし	0人			

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

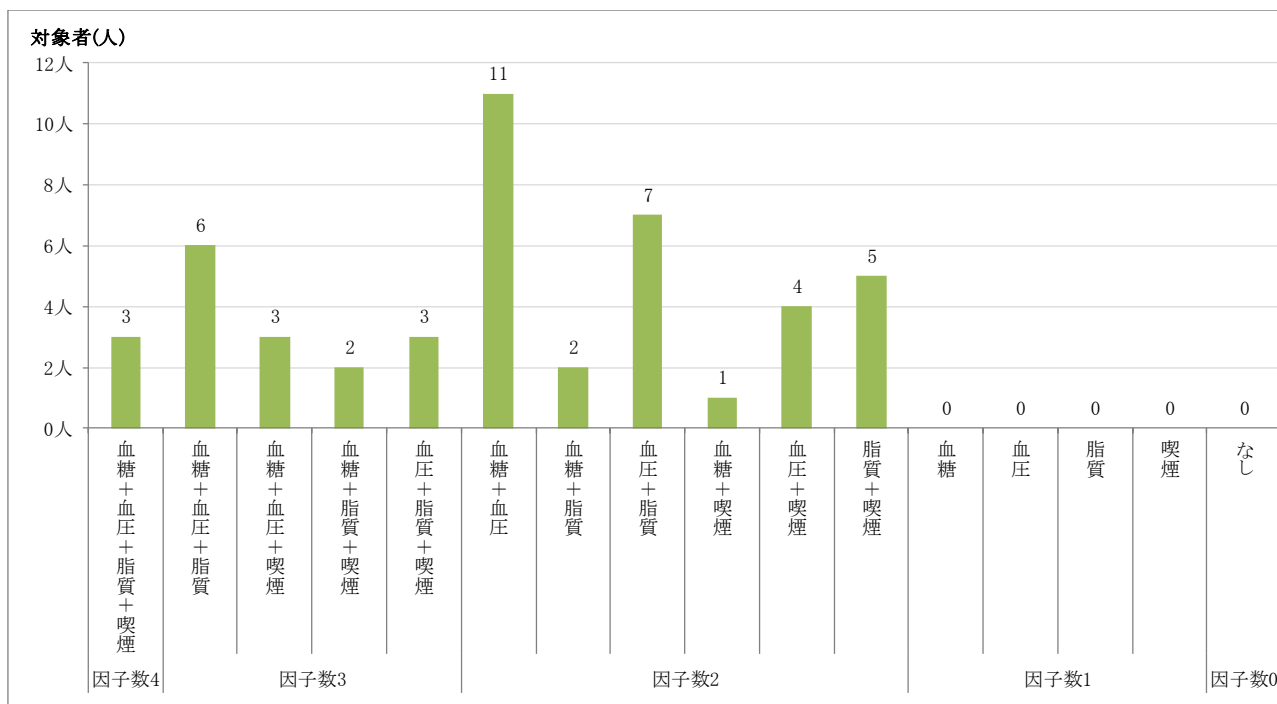
※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。また、医師の判断等により、リスク因子数が0であっても特定保健指導対象者に分類される場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

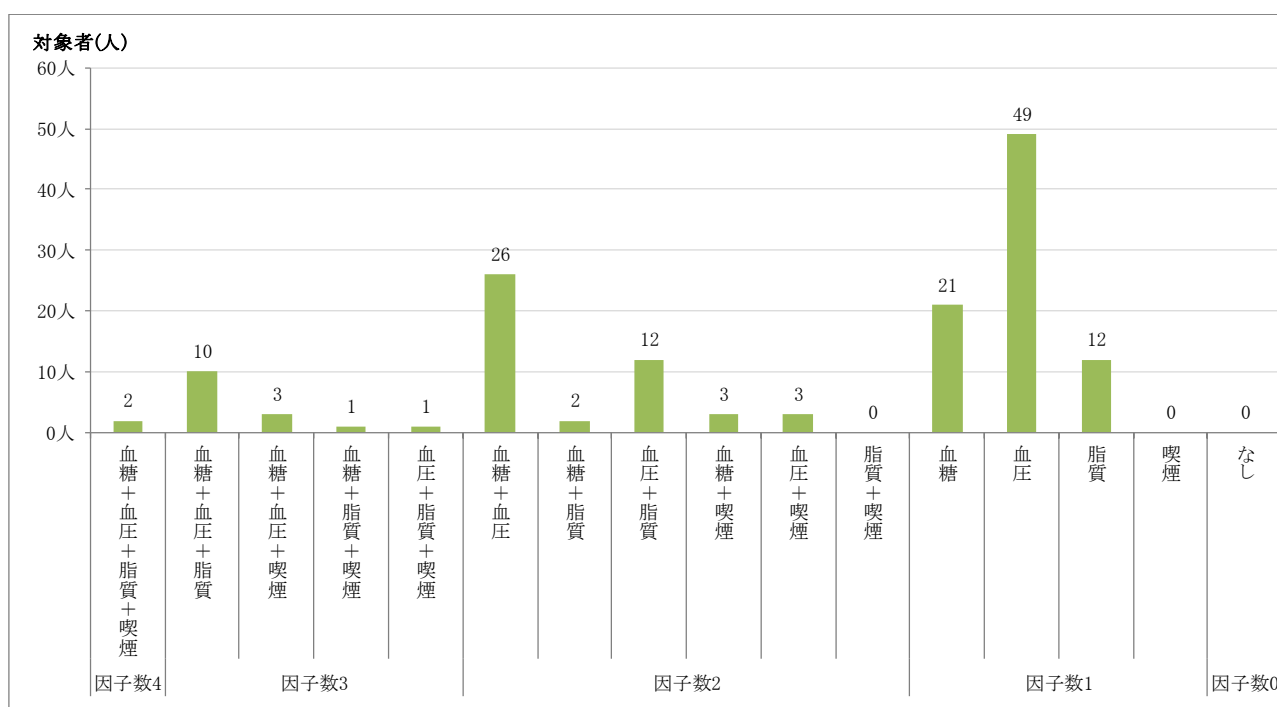
積極的支援対象者のうち、最も対象者数が多いリスク因子は因子数2「血糖+血圧」11人であり、動機付け支援対象者のうち、最も対象者数が多いリスク因子は、因子数1「血圧」49人で、次いで因子数2「血糖+血圧」26人となっている。

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

(4) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する218人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 …健診受診後、医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	218 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…令和2年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	51 人
↓		
除外患者を除いた候補者数		167 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…令和2年3月31日時点。
 ※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者167人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。健診異常値放置受診勧奨対象者の判定は、厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を特定する。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙は生活習慣病のリスクを高めることから、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ.優先順位			
↑ 高 効果 ↓ 低	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 0人	候補者C 0人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 8人	候補者D 24人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 18人	候補者F 117人
		喫煙	非喫煙
←良 効率 悪→			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			167人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

健診異常値放置者の判定について

- 健康診査にて異常値があるとされた被保険者を対象とし、健康診査受診後に医療機関への受診がない被保険者を健診異常値放置者と判定する。

(5)生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。

「(1)特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において治療中断が発生している患者9人が対象となる。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I.条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
		候補者人数
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	2 人
	上記以外のグループ	7 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		9 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12ヵ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

上記以外のグループ…治療中断者は健康診査受診の有無にかかわらず発生する。「(1)特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」では、最初の分岐で健康診査の受診の有無を見ているため、「6 治療中断者」には健康診査未受診者のみ格納される。事業を実施するためには健康診査受診者の治療中断者も併せて事業を実施する必要があるため、ここで健康診査受診者における治療中断者の人数を特定している。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられる。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II.除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	0 人
除外患者を除き、候補者となった患者数		9 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12ヵ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者9人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。生活習慣病治療中断者の判定は、過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を特定する。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位				
↑ 高 効果 ↓ 低	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 0人	候補者A2 0人	候補者A3 0人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 0人	候補者B2 1人	候補者B3 0人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 4人	候補者C2 2人	候補者C3 2人
		毎月受診	2～3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1～候補者C3の患者数				9人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

生活習慣病治療中断者の判定について

- 分析期間内において生活習慣病の治療を行っている人の生活習慣病での医療機関受診頻度を特定する。その後、毎月受診していた方が毎月受診せず中断している等、現在の受診状況と比較し、生活習慣病の医療機関受診を中断している判定を行う。

(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、77.8%が生活習慣を起因とするものであり、その全てが糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

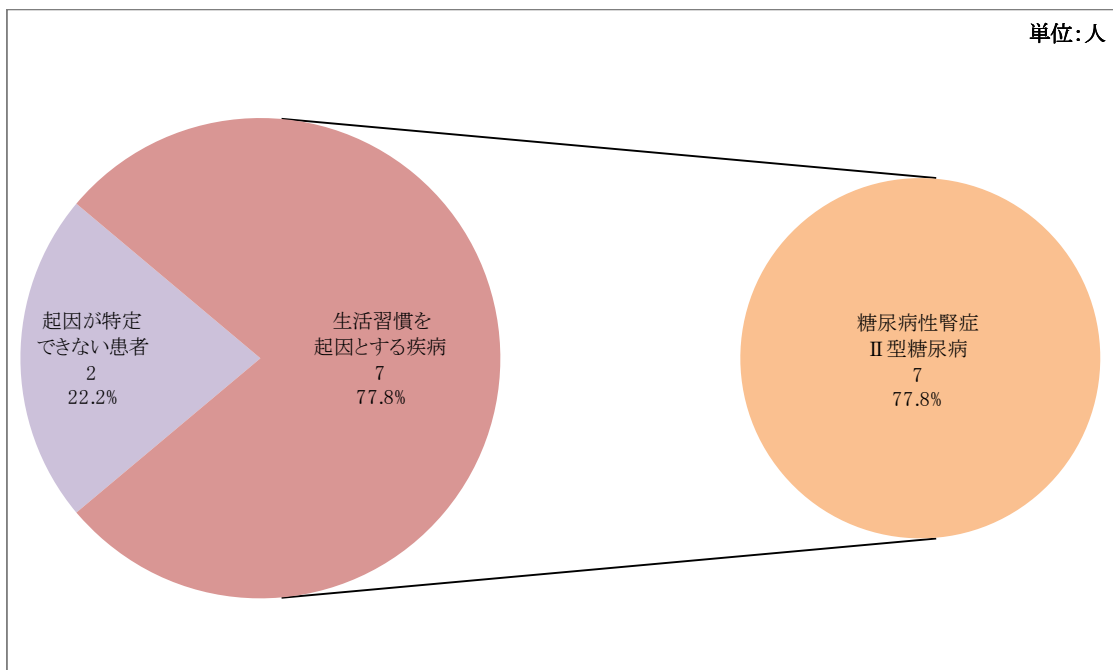
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	9
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	9

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12ヵ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12ヵ月分)。

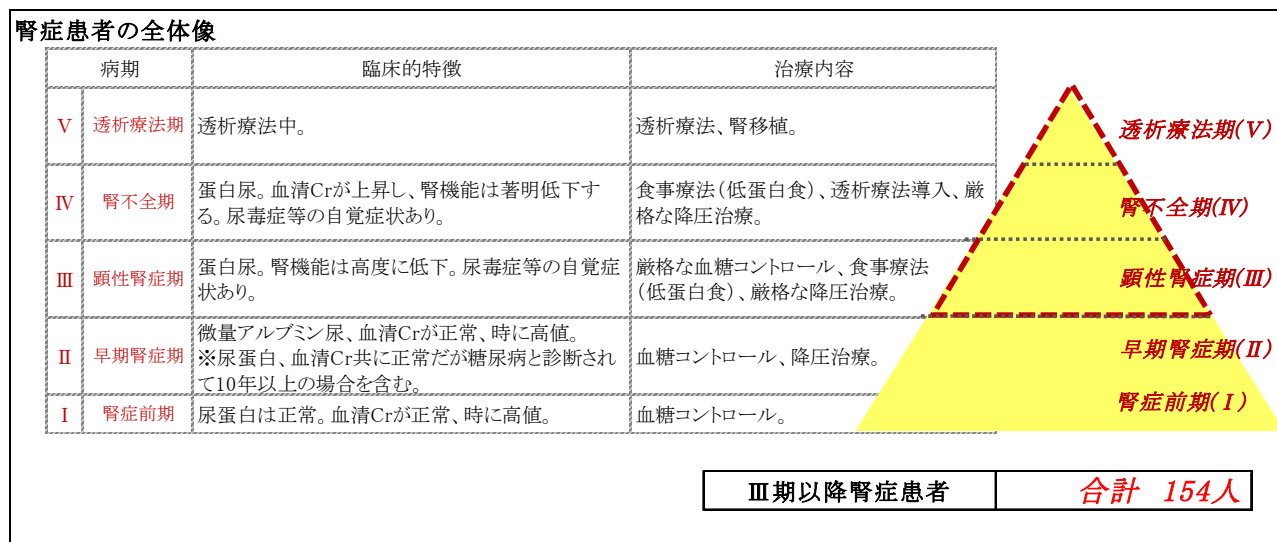
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者154人中60人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

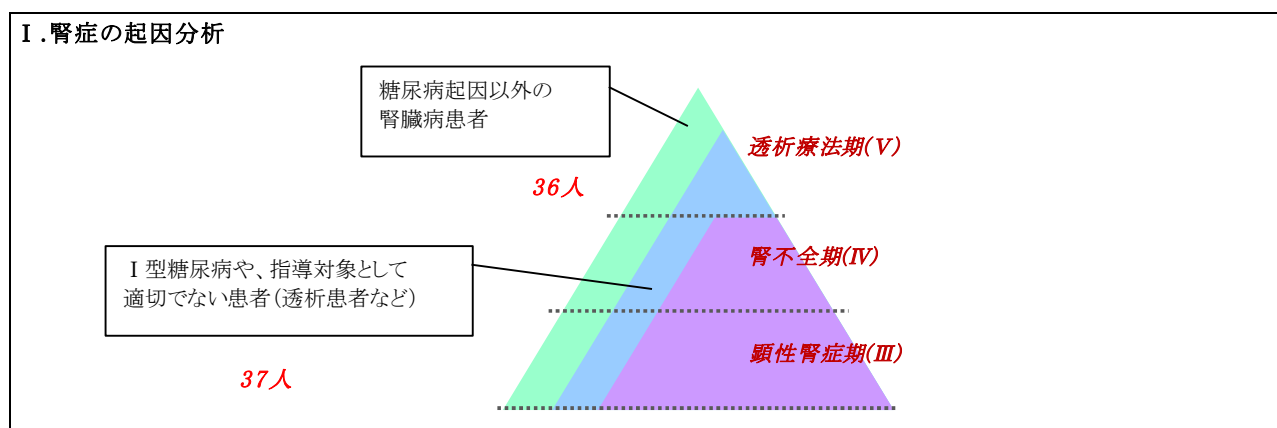
腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、36人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、37人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

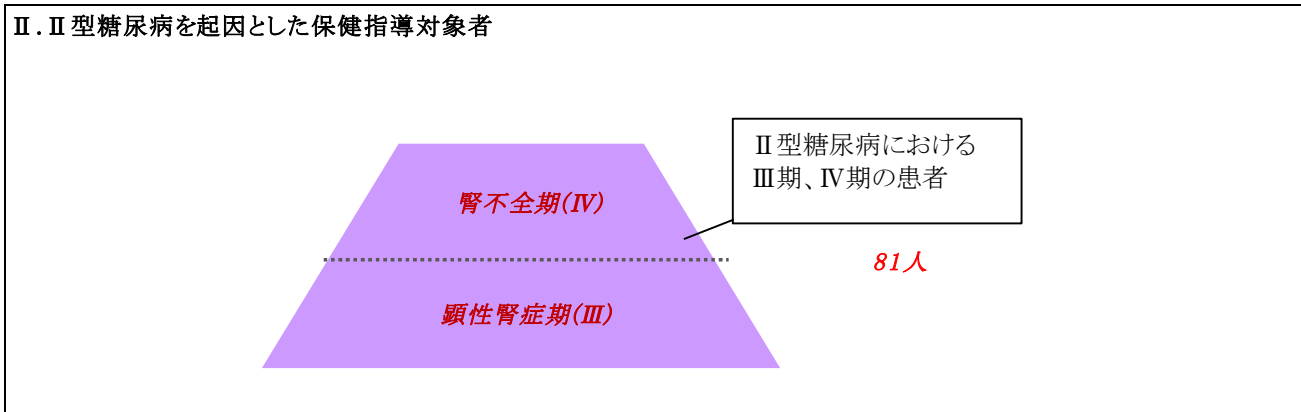
腎症の起因分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて81人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

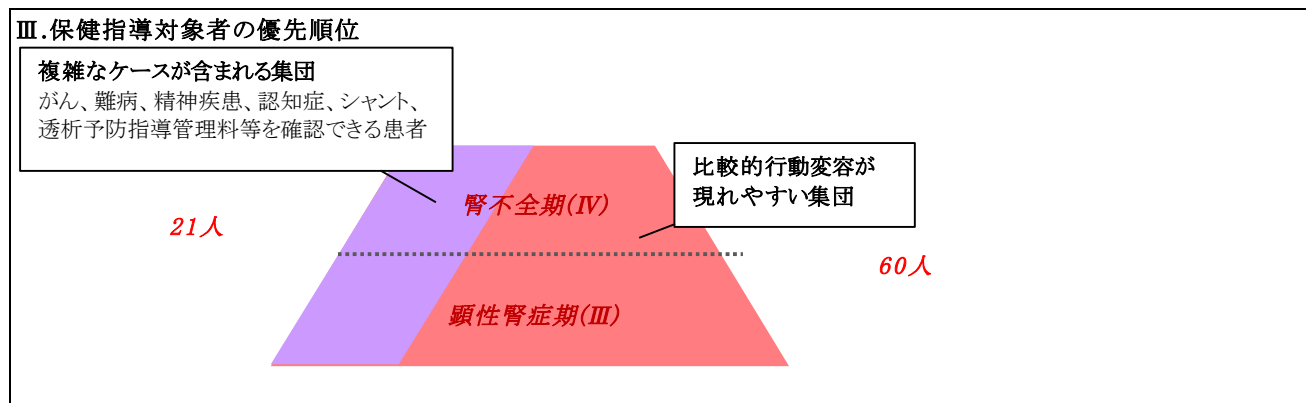


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。81人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、21人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、60人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

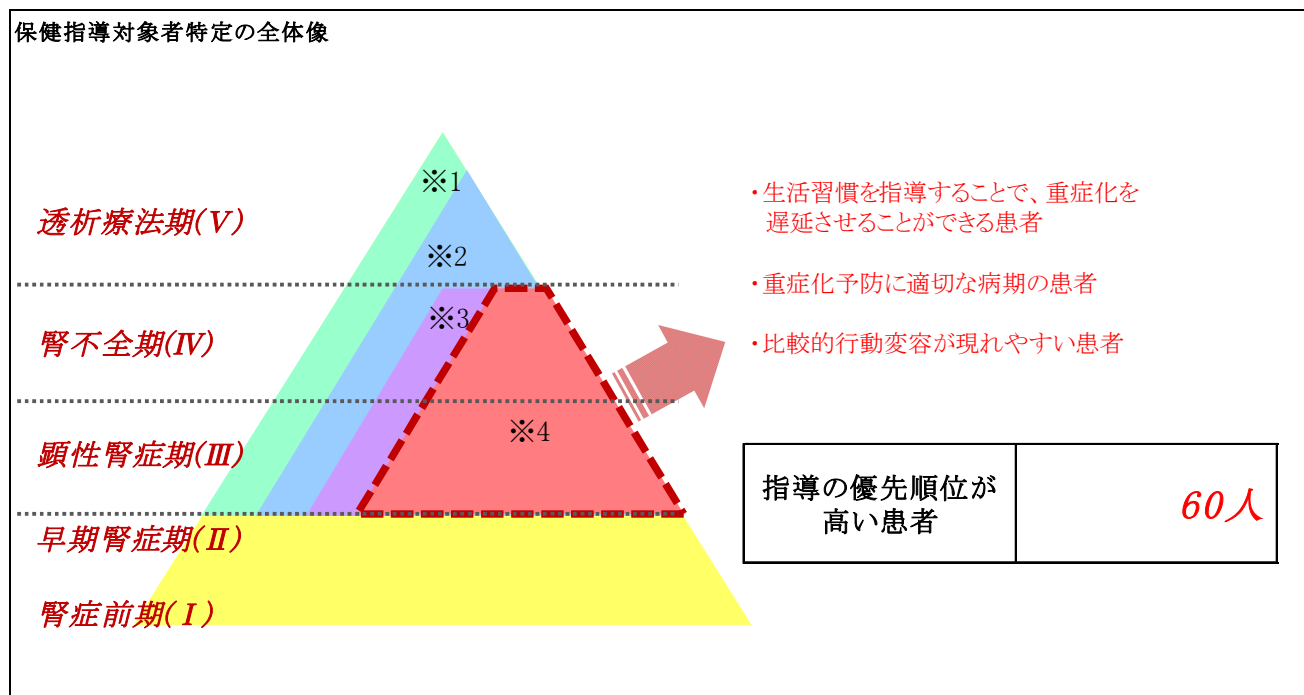
保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「II型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、60人となった。この分析の全体像を以下に示す。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2… I型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

(7) 受診行動適正化に係る分析

重複服薬は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下の通りである。

同一月内に2カ所以上の医療機関を受診し、同一の薬効の調剤を受けている状態が3カ月以上継続している「重複服薬者」について平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

重複服薬者数

	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月
重複服薬者数(人) ※	6	7	8	8	8	5	3	4	6	6	5	3
12カ月間の実人数											11人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

※重複服薬者数…同一月内に2カ所以上の医療機関を受診し、同一の薬効の調剤を受けている状態が3カ月以上継続(重複している日数が1日でもあり、なおかつその状態が3カ月以上連続していれば該当とみなす)している患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複服薬者は11人存在する。機械的に患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(重複服薬者)

除外設定		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	8人
除外患者を除き、候補者となった患者数		3人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

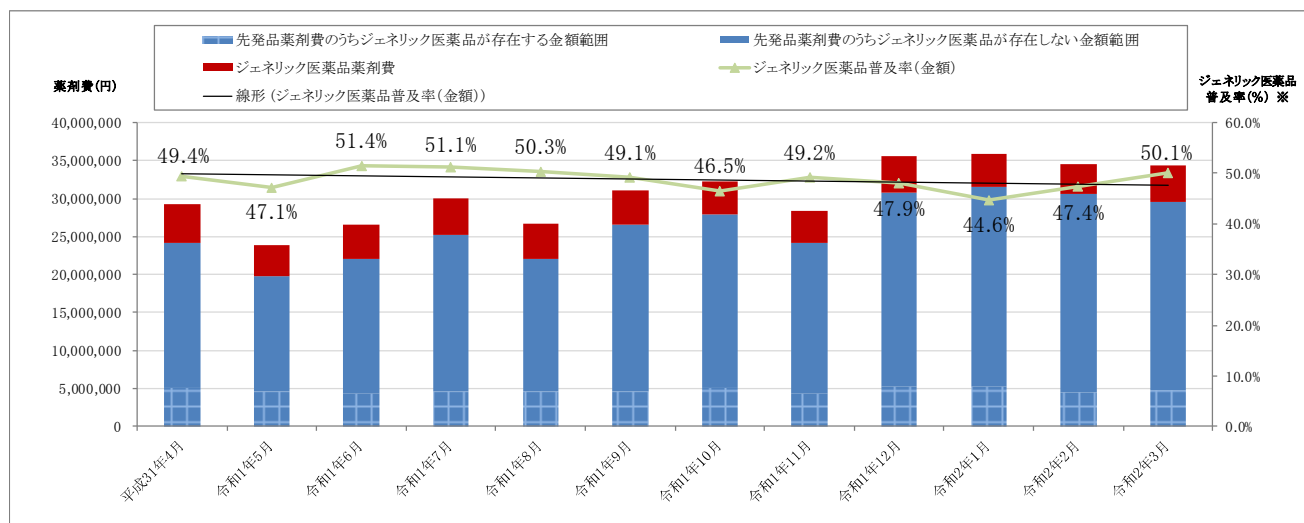
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に、平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は48.7%(金額ベース)、77.9%(数量ベース)である。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



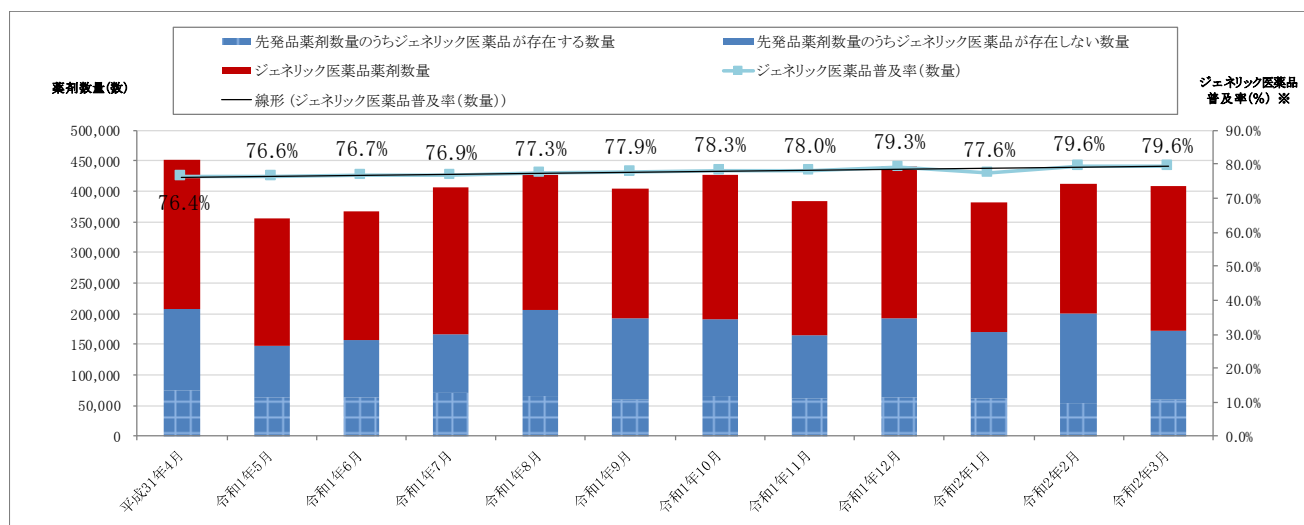
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

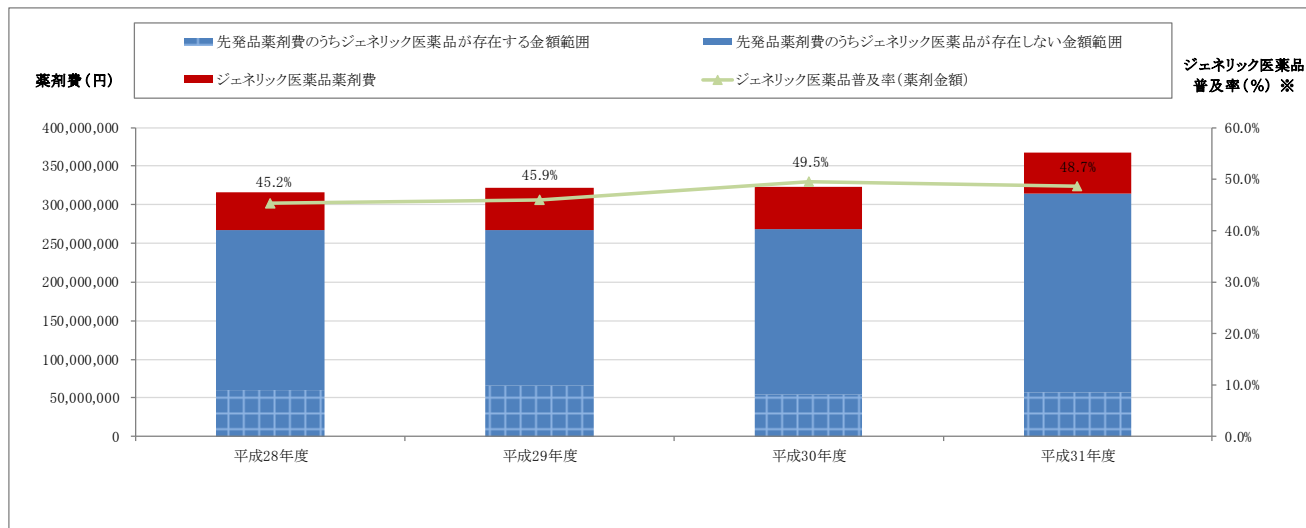
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

平成28年度から平成31年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示す。平成31年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)48.7%は、平成28年度45.2%より3.5ポイント上昇しており、平成31年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)77.9%は、平成28年度67.8%より10.1ポイント上昇している。

年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

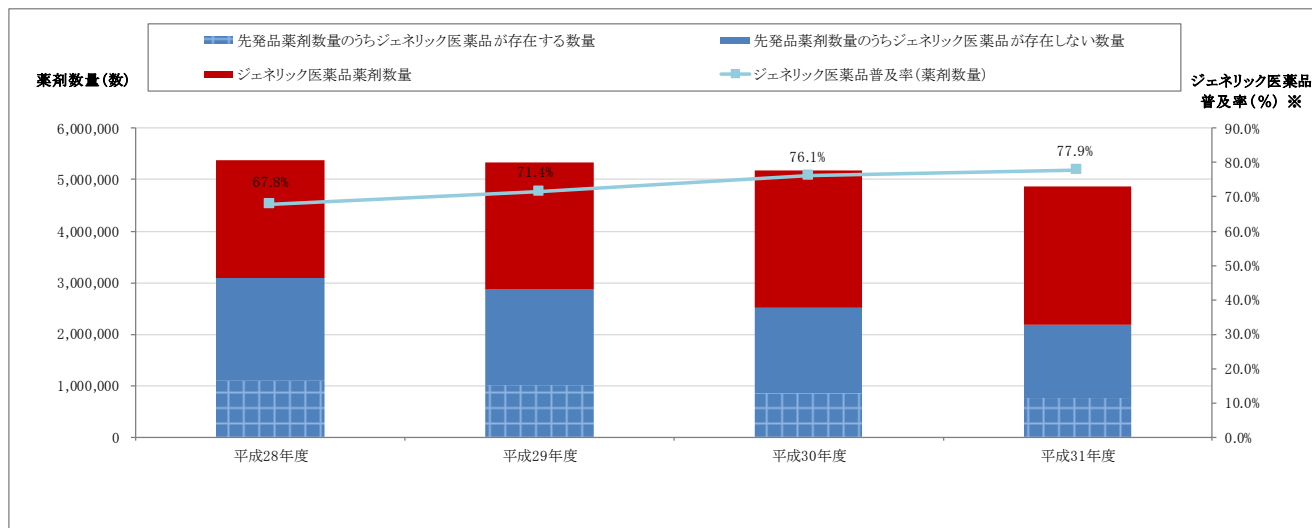


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～令和2年3月診療分(48カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



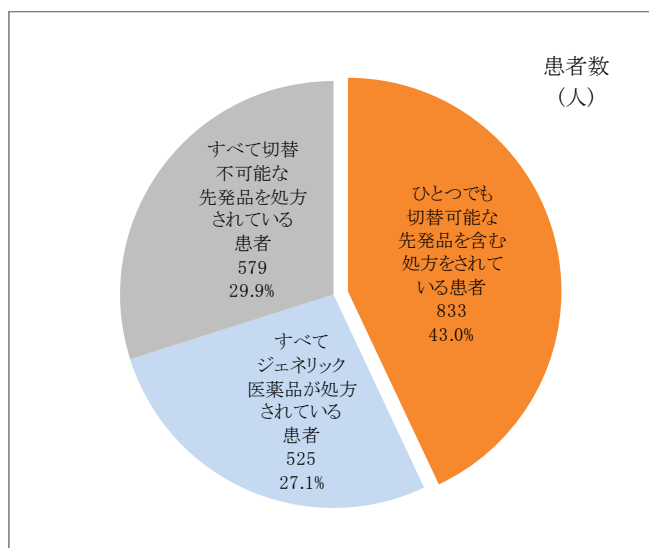
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～令和2年3月診療分(48カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

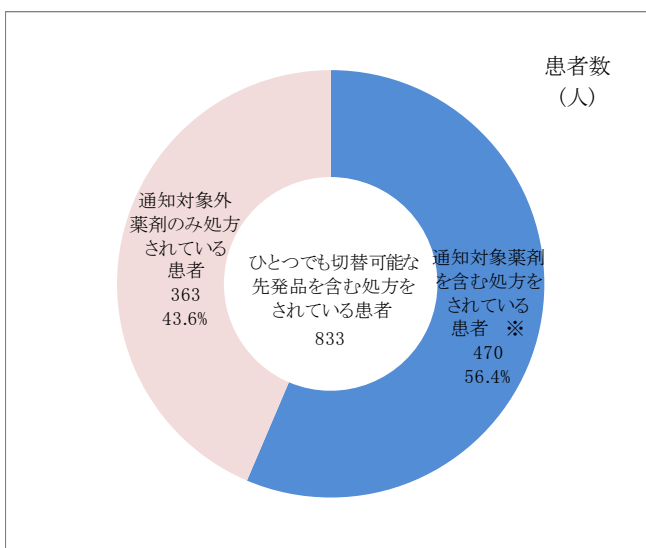
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、令和2年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は1,937人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は833人で患者数全体の43.0%を占める。さらにこのうちデータ分析会社基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、470人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、ひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者の56.4%を占める。

ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル(患者数ベース)



「ひとつでも切替可能な先発品を含む処方をされている患者」の内訳



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…データ分析会社通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のみは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(9) 薬剤併用禁忌に係る分析

薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性がある。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認するが、患者がお薬手帳を持たず、さらに処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、すでに処方された薬と新たに処方される薬とで併用禁忌の状態になる可能性がある。

現在、平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)の対象者延べ人数は110人、実人数は62人である。

薬剤併用禁忌対象者数

	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月
薬剤併用禁忌対象者数(人)※	12	7	11	7	6	7	11	13	10	10	8	8
12カ月間の延べ人数											110人	
12カ月間の実人数											62人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

主な併用禁忌の組み合わせを以下に示す。

薬剤併用禁忌 医薬品リスト

実人数(人)	62
件数合計(件)	124

No.	(A) 剤型名	(A) 医薬品 コード	(A) 医薬品名	(B) 剤型名	(B) 医薬品 コード	(B) 医薬品名	件数
1	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	24
2	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	24
3	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	17
4	内服	622028301	インヴェガ錠6mg	内服	610462014	リスパダール内用液1mg/mL 0.1%	14
5	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	5
6	内服	620161001	マリキナ配合顆粒	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	4
7	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	622661701	トアラセット配合錠「杏林」	3
8	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	621950801	シムピコートタービュヘイラー60吸入	3
9	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	2
10	内服	620002510	カロナールシロップ2%	内服	620161301	幼児用PL配合顆粒	2
11	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	2
12	内服	620002038	コカール錠200mg	内服	622657101	トアラセット配合錠「トーワ」	2
13	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	620002038	コカール錠200mg	2
14	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	622700301	ブデホル吸入粉末剤60吸入「JG」	2
15	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	622661701	トアラセット配合錠「杏林」	1
16	内服	620071204	アセトアミノフェン細粒20%「JG」	内服	620161301	幼児用PL配合顆粒	1
17	内服	621498101	カブコデN配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	1
18	内服	621498101	カブコデN配合錠	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	1
19	内服	621498101	カブコデN配合錠	内服	620161401	ビーエイ配合錠	1
20	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160501	PL配合顆粒	1
21	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	622666801	トアラセット配合錠「オーハラ」	1
22	内服	621742103	クラリスロマイシン錠200mg「杏林」	内服	622374201	ベルソムラ錠15mg	1
23	内服	620002039	コカールドライシロップ40%	内服	620161301	幼児用PL配合顆粒	1
24	内服	620002038	コカール錠200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	1
25	内服	622040901	シュアポスト錠0.25mg	内服	610443002	アマリール1mg錠	1
26	内服	622041001	シュアポスト錠0.5mg	内服	613960002	オイグルコン錠1.25mg	1
27	内服	620004541	ニトロベン舌下錠0.3mg	内服	622306501	ザルティア錠5mg	1
28	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	1
29	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	内服	620160501	PL配合顆粒	1
30	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	621761601	ツロプテロールテープ0.5mg「トーワ」	1
31	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	660421117	ホクナリンテープ2mg	1
32	内服	622485401	ボノサップパック400	内服	622374201	ベルソムラ錠15mg	1

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…令和2年3月31日時点。

(10) 服薬情報に係る分析

薬剤の多剤服薬は、副作用が起りやすく様々なリスクがある。特に高齢者に起りやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れがある。転倒による骨折をきっかけに寝たきりになったり、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等が起りやすくなる。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行う。薬剤種類数別対象者数は以下の通りである。複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の対象者は207人である。

薬剤種類数別対象者数

年齢階層	対象者数(人)									
	～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～	合計	
被保険者数(人)	591	163	187	163	213	520	944	1,326	4,107	
薬剤種類数	2種類	5	0	1	1	0	6	12	9	34
	3種類	8	3	1	4	2	10	13	18	59
	4種類	4	1	1	2	2	10	20	27	67
	5種類	1	2	0	0	2	7	13	30	55
	6種類	2	1	1	1	2	4	19	22	52
	7種類	0	2	1	1	0	4	18	17	43
	8種類	2	0	2	2	3	5	7	16	37
	9種類	0	0	0	0	2	3	4	12	21
	10種類	0	0	2	0	1	2	3	11	19
	11種類	0	0	0	0	1	2	2	3	8
	12種類	1	0	2	1	0	1	1	4	10
	13種類	0	0	1	1	1	1	1	3	8
	14種類	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	15種類	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	16種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17種類	0	0	0	0	0	1	1	1	3
	18種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	19種類	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	20種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	21種類以上	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	合計	23	9	12	14	16	58	114	176	422



長期多剤服薬者数(人)※	207
--------------	-----

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和1年12月～令和2年3月診療分(4カ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

※長期多剤服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の人数。

また、長期多剤服薬者207人が被保険者全体に占める割合は5.0%、長期服薬者全体に占める割合は49.1%である。

長期多剤服薬者の状況

		～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 ～69歳	70歳～	合計
A	被保険者数(人)	591	163	187	163	213	520	944	1,326	4,107
B	長期服薬者数(人)※	23	9	12	14	16	58	114	176	422
C	長期多剤服薬者数(人)※	5	3	9	7	10	25	56	92	207
C/A	被保険者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	0.8%	1.8%	4.8%	4.3%	4.7%	4.8%	5.9%	6.9%	5.0%
C/B	長期服薬者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	21.7%	33.3%	75.0%	50.0%	62.5%	43.1%	49.1%	52.3%	49.1%

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和1年12月～令和2年3月診療分(4カ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

※長期服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されている人数。

※長期多剤服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の人数。

5. 分析結果に基づく健康課題の把握

(1) 分析結果

平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)における分析結果を以下に示す。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病		医療費	構成比
1位	新生物<腫瘍>	215,648,709円	17.3%
2位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	165,947,818円	13.3%
3位	循環器系の疾患	147,946,674円	11.9%

患者数が多い疾病		患者数
1位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	1,818人
2位	循環器系の疾患	1,689人
3位	消化器系の疾患	1,646人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	精神及び行動の障害	261,240円
2位	新生物<腫瘍>	205,380円
3位	妊娠, 分娩及び産じょく	169,290円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病		医療費	構成比
1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	87,299,371円	7.0%
2位	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	78,901,112円	6.3%
3位	その他の神経系の疾患	76,420,379円	6.1%

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	1,372人
2位	糖尿病	1,228人
3位	その他の消化器系の疾患	1,147人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	白血病	945,715円
2位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	870,451円
3位	心臓の先天奇形	598,355円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	383件
高額レセプト件数割合	0.8%
高額レセプト医療費割合	32.0%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)		患者一人当たりの医療費
1位	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	17,604,613円
2位	心臓の先天奇形	9,705,880円
3位	結核	9,157,140円

【健診異常値放置者の状況】

健診異常値放置者	218人
----------	------

【生活習慣病治療中断者の状況】

生活習慣病治療中断者	9人
------------	----

【人工透析患者の状況】

人工透析患者	9人
(Ⅱ型糖尿病起因患者)	7人

【医療機関受診状況】

重複受診者	29人
頻回受診者	15人
重複服薬者	61人

※平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)期間中の実人数

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

ジェネリック医薬品普及率	77.9%
--------------	-------

【薬剤併用禁忌の発生状況】

薬剤併用禁忌対象者	62人
-----------	-----

【服薬状況】

長期多剤服薬者	207人
---------	------

平成28年度から平成31年度における疾病分類別の順位、高額レセプトの件数と割合等を年度別に示す。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病			医療費	構成比
平成28年度	1位	循環器系の疾患	176,065,458円	14.5%
	2位	新生物<腫瘍>	168,105,512円	13.9%
	3位	精神及び行動の障害	120,273,244円	9.9%
平成29年度	1位	新生物<腫瘍>	180,676,129円	15.1%
	2位	循環器系の疾患	169,159,600円	14.1%
	3位	精神及び行動の障害	126,438,361円	10.6%
平成30年度	1位	循環器系の疾患	193,711,251円	16.1%
	2位	新生物<腫瘍>	186,096,436円	15.5%
	3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	140,988,381円	11.7%
平成31年度	1位	新生物<腫瘍>	215,648,709円	17.3%
	2位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	165,947,818円	13.3%
	3位	循環器系の疾患	147,946,674円	11.9%

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病			医療費	構成比
平成 28 年度	1位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	86,408,728円	7.1%
	2位	その他の神経系の疾患	79,518,758円	6.6%
	3位	腎不全	69,895,660円	5.8%
平成 29 年度	1位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	89,997,186円	7.5%
	2位	その他の神経系の疾患	81,500,765円	6.8%
	3位	高血圧性疾患	64,888,320円	5.4%
平成 30 年度	1位	その他の神経系の疾患	84,148,257円	7.0%
	2位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	77,465,484円	6.4%
	3位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	73,136,457円	6.1%
平成 31 年度	1位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	87,299,371円	7.0%
	2位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	78,901,112円	6.3%
	3位	その他の神経系の疾患	76,420,379円	6.1%

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

平成 28 年度	高額レセプト件数	328件
	高額レセプト件数割合	0.7%
	高額レセプト医療費割合	27.8%
平成 29 年度	高額レセプト件数	342件
	高額レセプト件数割合	0.7%
	高額レセプト医療費割合	28.2%
平成 30 年度	高額レセプト件数	358件
	高額レセプト件数割合	0.7%
	高額レセプト医療費割合	31.3%
平成 31 年度	高額レセプト件数	383件
	高額レセプト件数割合	0.8%
	高額レセプト医療費割合	32.0%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)			患者一人当たりの 医療費
平成 28 年度	1位	その他の循環器系の疾患	13,403,200円
	2位	腎不全	7,315,788円
	3位	てんかん	6,741,700円
平成 29 年度	1位	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	13,307,600円
	2位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	6,520,440円
	3位	腎不全	5,730,776円
平成 30 年度	1位	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	31,106,220円
	2位	腎不全	7,958,770円
	3位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	6,996,320円
平成 31 年度	1位	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	17,604,613円
	2位	心臓の先天奇形	9,705,880円
	3位	結核	9,157,140円

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ジェネリック医薬品 普及率	67.8%	71.4%	76.1%	77.9%

(2) 分析結果に基づく課題とその対策

分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
<p>◆動機付け・積極的支援対象者等への特定健康診査及び特定保健指導 疾病大分類や疾病中分類において生活習慣病患者が多数存在し、支援対象者の割合は全国等の平均と比べて高い。また、1人当たりの医療費も年々増加している。令和7年度の特定健康診査受診率の目標値を60%とし、右の事業等により受診率の向上を図り、また、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病への早期介入・予防をする必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査の受診勧奨 ・特定健診継続受診対策 ・特定保健指導の実施 ・歯周疾患検診の実施
<p>◆生活習慣病治療中断者 生活習慣病治療中断者が存在する。医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ重症化を予防する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病治療中断者受診勧奨 ・糖尿病重症化予防
<p>◆糖尿病性腎症 人工透析患者のうちⅡ型糖尿病起因の患者が存在する。糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になる。そこで早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができると考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病重症化予防
<p>◆重複・頻回受診者、重複服薬者 重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在し、それらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受診行動適正化指導
<p>◆ジェネリック医薬品の普及率 調剤レセプトにおけるジェネリック医薬品普及率は、国が定める現在の目標(80%以上)を達成したが、院内処方を含めた普及率は未達成のため、更なる切り替え勧奨を行う必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品差額通知

(3) 茂木町の健康課題と第2期データヘルス計画に向けた目標

① 茂木町の現状

特定健診の結果よる平成31年度の動機付け支援対象者割合は9.8%であり、県(8.6%)同規模自治体(9.3%)及び全国(8.9%)の平均と比べ高い。また、積極的支援対象者の平成31年度の割合は3.0%であり、全国平均(3.1%)並みであるが、県平均の2.7%より高い数値となっている。【P14参照】

また、動機付け支援の対象となるリスク因子を確認すると、血圧の異常によって対象となる被保険者が多い。【P75参照】

主たる死因の状況では、心臓病が35.3%、脳疾患が19.8%と、いずれも県(心臓病28.5%、脳疾患17.7%)、同規模自治体(心臓病29.0%、脳疾患16.3%)、全国(心臓病27.4%、脳疾患14.7%)の平均と比べ高い割合となっている。

【P22参照】

医療情報の分析から、中分類による疾病別患者数では、心臓病、脳疾患の要因となる生活習慣病(高血圧疾患、糖尿病、脂質異常症)患者数が上昇傾向にあり、延べ人数では平成28年度が3,395人であったのに対し、平成31年度では3,646人と約7.4%上昇している。特に糖尿病について同年度を比較すると、医療費では14.4%、患者数についても15.7%上昇している。【P59、60参照】

被保険者数は毎年減少しているにもかかわらず、総医療費は増加傾向にであり、平成31年度の1人当たりの医療費は平成28年度と比較して13.3%増加している。

【P41参照】

人工透析者数は平成31年度において9名となっており、その内、2型糖尿病を起因とする透析者が7名である。【P80参照】

透析までは至らないが腎不全期(Ⅳ)及び顕性腎症期(Ⅲ)にあたる被保険者が81人となりその内、優先して保健指導を行う被保険者は60人存在する。

【P81～83参照】

② 茂木町の課題

健診時の質問票において、咀嚼時にものを噛みにくいと感じている被保険者の割合が、全国平均と比べ男性で1.5倍、女性で1.8倍と高い。【男性33.0%、女性32.6% P144、145参照】それによる食生活が乱れが、血糖、血圧等の異常につながり、特定保健指導支援対象者割合の高さの要因のひとつと考えられることから、歯周疾患への対策が重要である。

医療費の増大については、被保険者の高齢化と共に、高額レセプト件数の増加も原因のひとつである。疾病大分類別にみると、新生物に対する高額レセプトの総医療費が特に増加している。茂木町では、特定健診とがん検診をあわせて実施しており、健診受診者を増加させることにより、新生物の早期発見、早期治療につなげることが必要である。

また、人工透析については、支援対象者に保健指導を実施し、早期介入、早期治療に努める必要がある。

③ 第2期データヘルス計画に向けた目標

上記の現状分析及び課題から、目標を次のとおり設定する。

- ・特定健診受診率を令和7年度末において60%へ上昇させる。
- ・支援対象者の対象となる健診受診者における、生活習慣病に係る有所見者数を令和2年度より減少させる。
- ・糖尿病を起因とする新規透析者数を減少させる。
- ・1人当たりの医療費を減少させる。

第3章 保健事業実施計画

1. 各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

優先順位	事業名	事業目的	事業概要
10	特定健康診査受診勧奨事業	特定健康診査の受診率向上	特定健康診査を受診していない者を対象に特定健康診査の受診を促す。
2	特定健診継続受診対策	被保険者の生活習慣病等の予防・早期発見	特定健診受診者を対象に、自身の健康管理に役立てるため結果説明会を行う。経年結果を活用した検査値の見方などを説明し継続受診に繋げる。
1	特定保健指導事業	生活習慣病該当者及び予備群の減少	特定健診の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話等で行う。また、グループ支援として、調理実習や運動指導等を実施する。
4	生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	生活習慣病治療中断者の減少	以前に生活習慣病で定期受診をしていたが、その後定期受診を中断した者を対象に、通知書を送付することで受診勧奨を行う。
3	糖尿病重症化予防事業	糖尿病患者の病期進行阻止	「栃木県糖尿病重症化予防プログラム」に基づき、特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、空腹時血糖値の基準によって糖尿病に関する情報提供、医療機関への受診勧奨、保健指導を行う。
5	受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)	重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少	レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。
12	ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。
8	健康体操	被保険者が主体となった、各地域での健康づくり推進活動	生命の貯蓄体操茂木支部(継続者教室)が町内に23道場あり、地域公民館等で健康づくりに取り組んでいる。指導者の支援と初心者教室の開催により継続的に被保険者が健康づくりを進められるように支援する。
9	人間ドック受診推進事業	被保険者の健康増進及び病気の予防や早期発見	35歳以上の国民健康保険被保険者を対象に、提携医療機関で行う人間ドック受診費用の一部を助成する。より細かく自身の体調を知ることで、病気の予防や早期発見に繋げる。
6	ヤング健診受診推進事業	若年者の生活習慣病予防	特定健診の対象者は40歳以上であるが、その以前から健診の受診勧奨と結果説明会への参加を促し、健康への意識を高め、生活習慣病を予防する。
11	COPD啓発事業	COPDの認知度向上	特定健診実施時に喫煙指導を実施し、COPDの啓発を行い、認知度の向上を図る。
7	歯周疾患検診事業	歯周疾患の早期発見・治療によるQOLの向上	茂木町歯科医師会に委託し、町内歯科医院において対象被保険者に歯科検診を実施する。

実施内容	目標値	
	アウトプット	アウトカム
令和3年度～令和7年度		
特定健診未受診者に対し、勧奨通知を発送しする。また、町報、ケーブルテレビ等により広報を行う。	勧奨対象者への通知率 100%	勧奨対象者の特定健康診査受診率 20%
健診時に結果説明会についてのお知らせを記載した健診結果引換券を配布し、結果説明会にて個別指導を実施する。説明会では、経年結果を活用した検査結果の見方、及び継続受診の必要性を説明する。	結果説明会指導率 70%	2年連続受診受診する被保険者の増
指導対象者を特定し、町保健師等が個別に指導を実施する。また、グループ支援として、料理教室や運動指導等を実施する。	対象者の指導実施率 50%以上	動機付け及び積極的支援対象者の対象者数10%減
生活習慣病治療中断者に医療機関受診勧奨通知書を作成し、送付する。通知後に医療機関受診があるか確認し、受診がない対象者にはフォローを行う。	対象者への通知率 100%	対象者の医療機関受診率 20%
健康診査データ及びレセプトデータから対象者を特定後、プログラムに基づき健診結果説明会時に情報提供、医療機関未受診者に対し受診勧奨通知の発送を行う。保健指導対象者へ同意勧奨を行い、同意が得られた対象者にかかりつけ医と連携し指導実施する。	情報提供 対象者への実施率 90% 受診勧奨 医療機関への受診率 50% 保健指導 保健指導を毎年2人以上実施	糖尿病性腎症を原因とする 新規透析者の減少
レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、勧奨通知の発送及び専門職による指導を行う。	対象者の指導実施率 100%	指導後の受診行動適正化 50%
ジェネリック医薬品差額通知書を作成し、送付する。対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、実施内容を検討する。	対象者への通知率 100%	通知対象者の院内処方を含めた ジェネリック医薬品普及率 (数量ベース) 80%
町が主体となり健康体操の初心者教室を開催し、その後各地域にある継続教室へと繋げ、住民主体の健康づくりを推進する。	健康体操会員数の維持	継続者教室の23カ所を維持
提携医療機関と契約し、町報・町ホームページ等にて被保険者に広報。受診希望者からの申請を受け付け、費用の助成を行う。提携医療機関からの受診結果を保険部門と健康部門が共有し、町民の健康増進に活かす。	提携医療機関を2増	年間受診者 250人
19歳から39歳の町民を対象とし、ヤング健診及び結果説明会での保健指導を実施する。健診の受診のみでなく、結果説明会への参加を促し、特定健診の対象以前から健康管理に関する意識を高める。また、未受診者に対する受診勧奨も併せて実施する。	受診勧奨実施率 100% 保健指導実施率 50%	国保加入者の受診率 25%
特定健診結果説明会において、禁煙に関する指導を実施し、リーフレット等の配布により啓発を行う。	喫煙指導と広報の実施	COPDに対する認知度 60%
被保険者の内、年度内に20歳・30歳・35歳・40歳・50歳・60歳・70歳へ達する対象者に受診券を交付し、歯科医院において問診及び歯周組織検査を実施する。歯周疾患検診票による歯科医から町への結果報告により、検査結果に基づく対象者への直接指導を実施する。	受診指導と広報の実施	歯周疾患検診の受診率 10%

2. 全体スケジュール

各事業におけるスケジュールについて以下に示す。

事業名	第1期					第2期					
	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
特定健康診査 受診勧奨事業	実施				評価	P	D				CA
特定保健指導事業	実施				評価	P	D				CA
健診異常値放置者 受診勧奨事業	実施				評価	P	D				CA
生活習慣病治療 中断者受診勧奨事業	実施				評価	P	D				CA
糖尿病性腎症 重症化予防事業	実施				評価	P	D				CA
受診行動適正化 指導事業 (重複・頻回受診、重 複服薬)	実施				評価	P	D				CA
ジェネリック 医薬品差額通知事業	実施				評価	P	D				CA
健康体操	実施				評価	P	D				CA
人間ドック受診推進 事業	実施				評価	P	D				CA
ヤング健診受診推進 事業	実施				評価	P	D				CA
COPD啓発事業	実施				評価	P	D				CA
歯周疾患検診事業	実施				評価	P	D				CA

3. 各事業の実施内容と評価方法

本計画(第2期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

(1) 特定健康診査受診勧奨事業

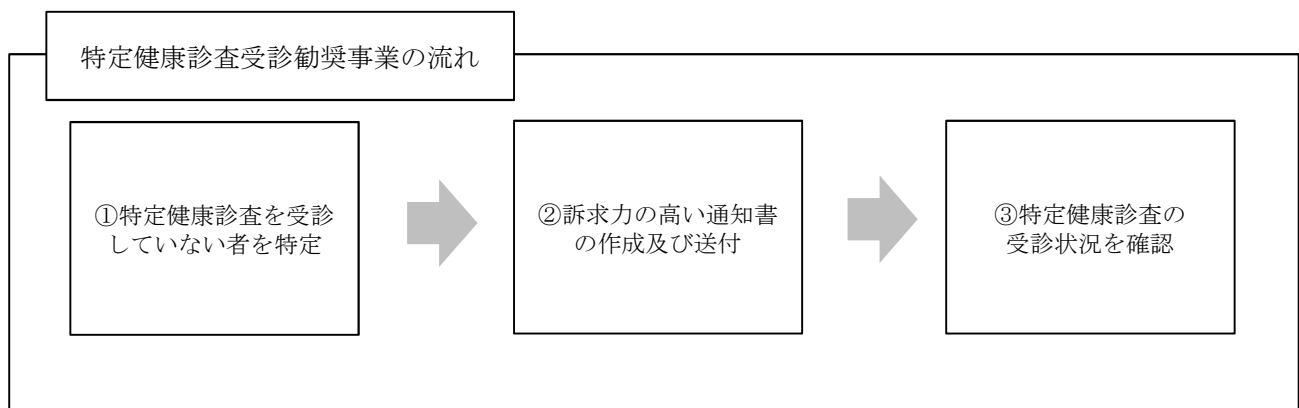
【事業目的】

特定健康診査の受診率向上

【事業概要】

特定健康診査を受診していない者を対象に特定健康診査の受診を促す。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
勧奨対象者への通知率 100%	勧奨対象者の特定健康診査受診率 20%	事業対象者のうち特定健康診査を受診した人数より確認する。

【実施スケジュール】

以下のスケジュールにて実施する。

PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
D(実行)	対象者特定、準備			←————→									
	指導実施												
C(効果測定)	効果測定												
	効果確認												⇔
A(改善)	改善計画												⇔
P(計画)	実施計画策定												⇔

(2) 特定健診継続受診対策

【事業目的】

被保険者の生活習慣病等の予防・早期発見

【事業概要】

特定健診受診者を対象に、自身の健康管理に役立てるため結果説明会を行う。経年結果を活用した検査値の見方などを説明し継続受診に繋げる。

【事業内容】

特定健診受診者に対し、健診結果説明会を実施し、経年経過を活用した検査結果の見方と継続受診の重要性を説明する。

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
結果説明会指導率 70%	2年連続受診者の増加	特定健診受診率を確認する。

【実施スケジュール】

以下のスケジュールにて実施する。

PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
D(実行)	対象者特定、準備				←→									
	指導実施						←→							
C(効果測定)	効果測定						←→							
	効果確認												←→	
A(改善)	改善計画												←→	
P(計画)	実施計画策定												←→	

(3) 特定保健指導事業

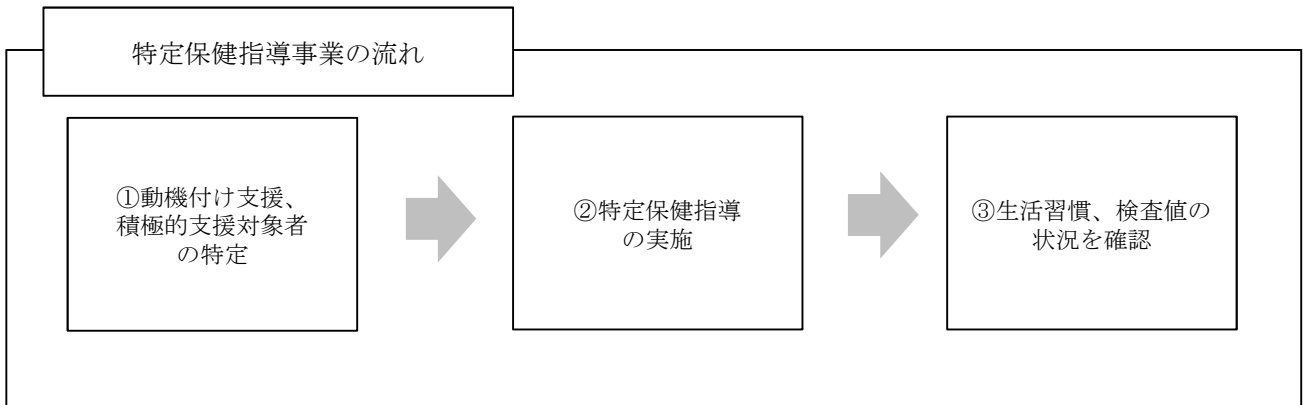
【事業目的】

生活習慣病該当者及び予備群の減少

【事業概要】

特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話等で行う。また、グループ支援として、調理実習や運動指導等を実施する。

【事業内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
対象者の指導実施率 50% 以上	動機付け及び積極的支援対象者の対象者数10%減	保健指導対象者の人数を算出する

【実施スケジュール】

以下のスケジュールにて実施する。

PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
D(実行)	対象者特定、準備			←→									
	指導実施			←→									
C(効果測定)	効果測定												
	効果確認											←→	←→
A(改善)	改善計画											←→	←→
P(計画)	実施計画策定											←→	←→

(4) 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業

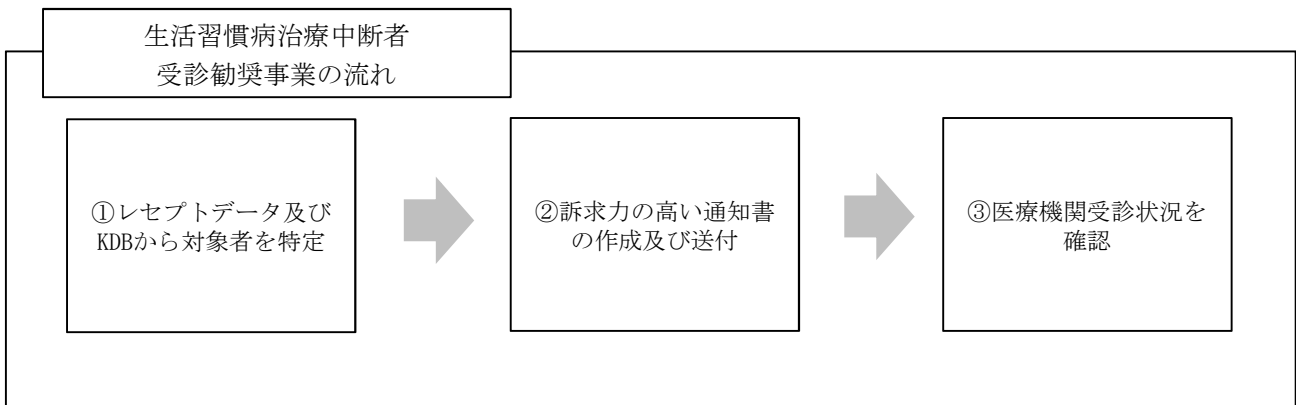
【事業目的】

生活習慣病治療中断者の減少

【実施概要】

以前に生活習慣病で定期受診をしていたがその後定期受診を中断した者を対象に、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	対象者の医療機関受診率 20%	通知後医療機関を受診したか確認する。

【実施スケジュール】

以下のスケジュールにて実施する。

PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
D(実行)	対象者特定、準備				←→								
	指導実施				←→								
C(効果測定)	効果測定												
	効果確認												←→
A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定												←→

(5) 糖尿病重症化予防事業

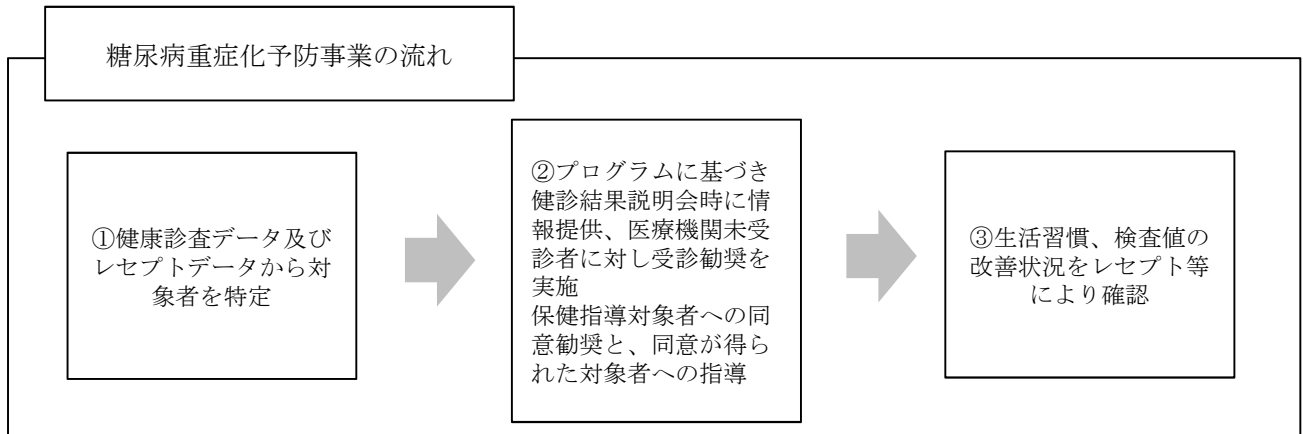
【事業目的】

糖尿病患者の病期進行阻止

【実施概要】

「栃木県糖尿病重症化予防プログラム」に基づき、特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、空腹時血糖値の基準によって糖尿病に関する情報提供、医療機関への受診勧奨、保健指導を行う。

【実施内容】



【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
情報提供 対象者への実施率 90% 受診勧奨 医療機関への受診率 50% 保健指導 保健指導を毎年2人以上実施	糖尿病性腎症を原因とする新規透析者の減少	特定健診の結果及びレセプトより改善状況等を確認する。

【実施スケジュール】

以下のスケジュールにて実施する。

PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
D(実行)	対象者特定、準備		←										
	指導実施			←									
C(効果測定)	効果測定						←						
	効果確認												←
A(改善)	改善計画												←
P(計画)	実施計画策定												←

(6) 受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)

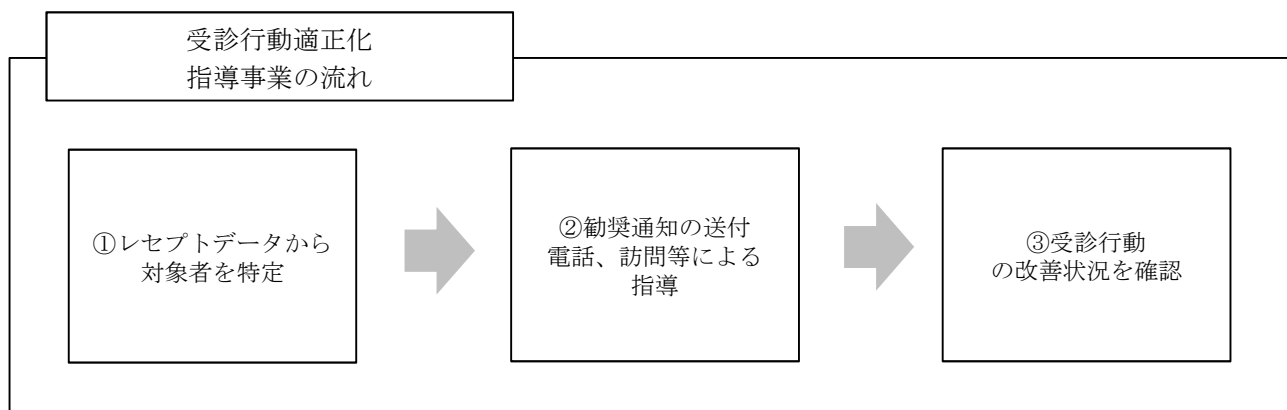
【事業目的】

重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

【実施概要】

レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、勧奨通知の発送及び専門職による指導を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者の指導実施率 100% 以上	指導後の受診行動適正化 50%	指導後の医療機関受診状況をレセプト等により確認する。

【実施スケジュール】

以下のスケジュールにて実施する。

PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
D(実行)	対象者特定、準備		←										
	指導実施				←								
C(効果測定)	効果測定	←											
	効果確認						←						
A(改善)	改善計画												←
P(計画)	実施計画策定												←

(7) ジェネリック医薬品差額通知事業

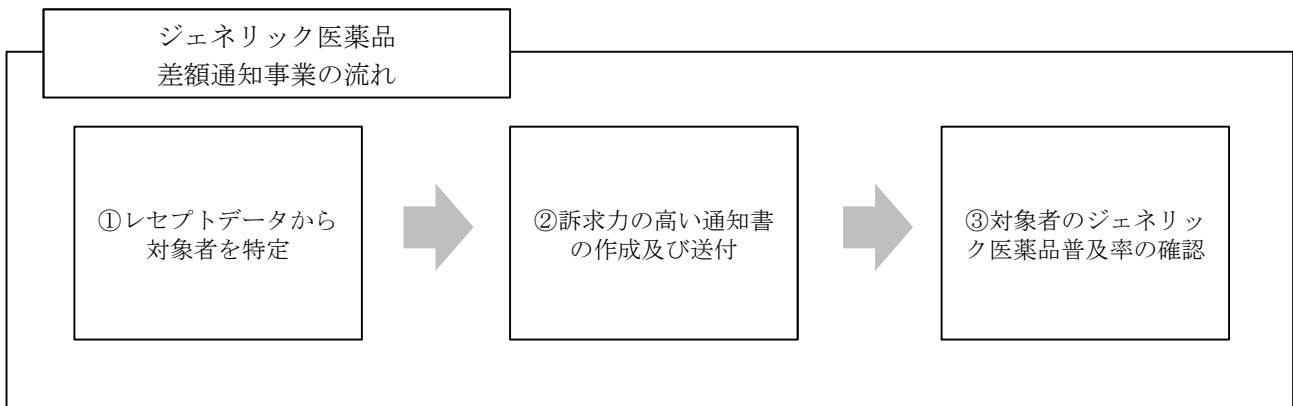
【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

【実施概要】

レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	通知対象者の院内処方を含めたジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 80%	通知前後のジェネリック医薬品普及率(数量ベース)を確認する。

【実施スケジュール】

以下のスケジュールにて実施する。

PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
D(実行)	対象者特定、準備					↔						↔	
	通知発送						↔						↔
C(効果測定)	効果測定						↔						
	効果確認												↔
A(改善)	改善計画												↔
P(計画)	実施計画策定												↔

(8) 健康体操

【事業目的】

被保険者が主体となった、各地域での健康づくり推進活動

【事業概要】

生命の貯蓄体操茂木支部（継続者教室）が町内に23道場あり、地域公民館等で健康づくりに取り組んでいる。指導者の支援と初心者教室の開催により継続的に被保険者が健康づくりを進められるように支援する。

【実施内容】

町主体で健康体操の初心者教室を開催し、その後各地域にある継続教室へと繋げ、住民主体の健康づくりを推進する。

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
健康体操会員数の維持	継続者教室の23カ所を維持	年度末時点での会員数及び教室数を確認する。

(9) 人間ドック受診推進事業

【事業目的】

被保険者の健康増進及び病気の予防や早期発見

【事業概要】

35歳以上の国民健康保険被保険者を対象に、提携医療機関で行う人間ドック受診費用の一部を助成する。より細かく自身の体調を知ることで、病気の予防や早期発見に繋げる。

【実施内容】

提携医療機関と契約し、町報・町ホームページ等にて被保険者に広報。受診希望者からの申請を受け付け、受診費用の助成を行う。

提携医療機関からの受診結果を保険部門と健康部門が共有し、町民の健康増進に活かす。

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
提携医療機関を2増	年間受診者 250人	人間ドック助成金対象者を確認する。

【実施スケジュール】

以下のスケジュールにて実施する。

PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
D(実行)	広報・受付	←→											
	受診			←→									
C(効果測定)	効果測定												
	効果確認			←→									
A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定												←→

(10) ヤング健診受診推進事業

【事業目的】

若年者の生活習慣病予防

【事業概要】

特定健診の対象者は40歳以上であるが、その以前から健診の受診勧奨と結果説明会への参加を促し、健康への意識を高め、生活習慣病を予防する。

【実施内容】

19歳から39歳の町民を対象とし、健康づくりに関して早期に関心が高めることを目的とし、ヤング健診及び結果説明会での保健指導を実施する。

健診の受診のみでなく、結果説明会への参加を促し、特定健診の対象以前からの健康管理に関する意識を高める。

未受診者に対する受診勧奨も併せて実施する。

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
受診勧奨実施率 100% 保健指導実施率 50%	国保加入者の受診率 25%	ヤング健診受診率を確認する。

(11) COPD啓発事業

【事業目的】

COPD認知度の向上

【事業概要】

特定健診実施時に喫煙指導とCOPDの啓発を行い、認知度の向上を図る。

【実施内容】

特定健診結果説明会において、禁煙に関する指導を実施し、リーフレット等の配布によるCOPDの啓発を行う。

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
禁煙指導と広報の実施	COPDに対する認知度 60%	アンケート等により確認する。

(12) 歯周疾患検診事業

【事業目的】

歯周疾患の早期発見・治療によるQOLの向上

【事業概要】

茂木町歯科医師会に委託し、町内歯科医院において対象被保険者に歯科検診を実施する。

【実施内容】

被保険者の内、年度内に**20歳・30歳・35歳・40歳・50歳・60歳・70歳**へ達する対象者に受診券を交付し、歯科医院において問診及び歯周組織検査を実施する。

歯周疾患検診票による町への結果報告により、検査結果に基づく対象者への直接指導を実施する。

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
受診指導と広報の実施	歯周疾患検診の受診率 10%	歯周疾患検診受診率を確認する。

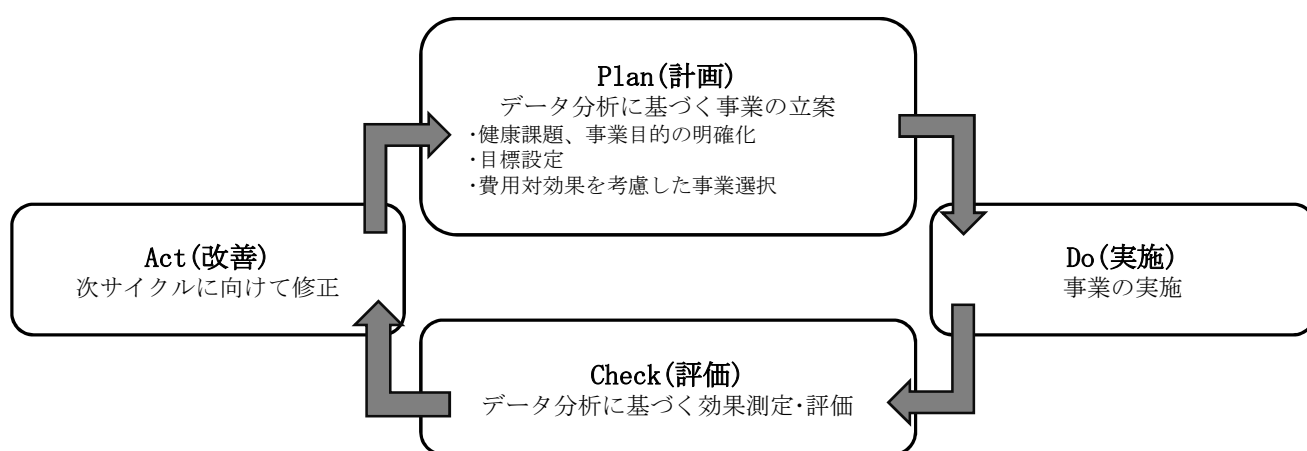
第4章 その他

1. データヘルス計画の見直し

(1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととする。また、中間期間等計画期間の途中で進捗確認・中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行う。最終年度においては、次の期の計画策定を円滑に行うため、上半期に仮評価を行うこととする。

評価・見直しに当たっては、住民課と保健福祉課が連携して行い、栃木県国民健康保険団体連合会に設置される支援・評価委員会に指導・助言を受けるものとする。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

(2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

2. 計画の公表・周知

本計画は、ホームページ等で公表し、周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

3. 個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取り扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組む。

地区分析

1. 大分類による疾病別医療費地区別統計

平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費統計を地区別に示す。

茂木	逆川	中川	須藤	その他
----	----	----	----	-----

【茂木】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	16,566,957	3.0%	11	1,648	13	441	8	37,567	12
II. 新生物<腫瘍>	109,221,345	19.8%	1	1,932	12	483	7	226,131	3
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	2,013,034	0.4%	19	622	17	159	15	12,661	19
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	79,719,563	14.4%	2	8,540	1	856	1	93,130	7
V. 精神及び行動の障害	41,057,867	7.4%	5	2,329	8	193	14	212,735	4
VI. 神経系の疾患	42,313,992	7.7%	4	4,088	5	402	11	105,259	5
VII. 眼及び付属器の疾患	23,089,120	4.2%	9	2,480	7	560	6	41,231	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	3,852,691	0.7%	16	689	16	148	16	26,032	14
IX. 循環器系の疾患	71,048,364	12.9%	3	8,207	2	755	4	94,104	6
X. 呼吸器系の疾患	19,238,168	3.5%	10	3,569	6	763	3	25,214	15
X I. 消化器系の疾患 ※	29,124,799	5.3%	8	6,440	3	777	2	37,484	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	9,088,998	1.6%	14	1,954	11	421	9	21,589	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	39,490,033	7.1%	6	4,425	4	625	5	63,184	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	30,243,450	5.5%	7	2,103	9	341	12	88,690	8
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	2,653,304	0.5%	17	17	19	3	20	884,435	1
X VI. 周産期に発生した病態 ※	3,921	0.0%	21	1	21	1	21	3,921	21
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	9,560,632	1.7%	13	210	18	32	18	298,770	2
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,339,299	1.1%	15	2,093	10	420	10	15,094	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	15,384,455	2.8%	12	755	14	268	13	57,405	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,383,562	0.4%	18	702	15	125	17	19,068	17
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	38,476	0.0%	20	6	20	5	19	7,695	20
合計	552,432,030			22,464		1,481		373,013	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

茂木	逆川	中川	須藤	その他
----	----	----	----	-----

【逆川】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	21,894,243	7.1%	6	898	11	209	9	104,757	4
II. 新生物<腫瘍>	51,539,930	16.7%	1	1,053	9	252	7	204,524	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,350,079	0.4%	16	332	15	84	15	16,072	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	22,762,662	7.4%	5	4,112	2	407	2	55,928	9
V. 精神及び行動の障害	38,015,100	12.3%	4	953	10	104	14	365,530	1
VI. 神経系の疾患	38,420,039	12.4%	3	1,813	6	195	11	197,026	3
VII. 眼及び付属器の疾患	10,282,969	3.3%	11	1,326	7	271	6	37,945	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,897,254	0.9%	15	452	14	84	15	34,491	14
IX. 循環器系の疾患	39,776,606	12.9%	2	4,596	1	416	1	95,617	5
X. 呼吸器系の疾患	21,778,812	7.0%	7	2,101	5	370	4	58,862	8
X I. 消化器系の疾患 ※	16,818,110	5.4%	9	3,341	3	388	3	43,346	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	4,754,347	1.5%	13	1,194	8	244	8	19,485	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	17,101,989	5.5%	8	2,798	4	336	5	50,899	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	11,013,771	3.6%	10	854	13	159	12	69,269	7
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	86,766	0.0%	19	16	19	7	19	12,395	18
X VI. 周産期に発生した病態 ※	227,660	0.1%	17	4	20	3	20	75,887	6
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	50,066	0.0%	20	63	18	15	18	3,338	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,065,046	1.3%	14	883	12	202	10	20,124	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	6,228,435	2.0%	12	321	17	133	13	46,830	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	139,305	0.0%	18	322	16	44	17	3,166	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	5,901	0.0%	21	4	20	2	21	2,951	21
合計	309,209,090			11,756		768		402,616	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

茂木	逆川	中川	須藤	その他
----	----	----	----	-----

【中川】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	2,673,882	1.2%	14	652	13	179	8	14,938	17
II. 新生物<腫瘍>	37,059,966	16.2%	2	683	12	175	10	211,771	2
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	1,014,962	0.4%	16	248	16	64	16	15,859	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	46,751,774	20.4%	1	2,865	2	311	1	150,327	3
V. 精神及び行動の障害	23,214,502	10.1%	3	950	7	86	14	269,936	1
VI. 神経系の疾患	19,823,619	8.7%	5	1,558	6	167	11	118,704	4
VII. 眼及び付属器の疾患	9,122,216	4.0%	10	921	8	202	6	45,159	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,480,776	1.1%	15	333	15	72	15	34,455	12
IX. 循環器系の疾患	20,258,041	8.8%	4	2,888	1	285	3	71,081	6
X. 呼吸器系の疾患	11,364,834	5.0%	9	1,756	4	304	2	37,384	11
X I. 消化器系の疾患 ※	16,508,220	7.2%	6	1,961	3	274	4	60,249	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,383,307	1.5%	12	779	10	181	7	18,692	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	13,817,702	6.0%	7	1,609	5	218	5	63,384	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	11,699,733	5.1%	8	707	11	118	13	99,150	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	102,301	0.0%	18	9	19	4	19	25,575	13
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	18,969	0.0%	19	21	18	6	18	3,162	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,060,814	1.3%	13	783	9	179	8	17,100	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	6,651,702	2.9%	11	366	14	138	12	48,201	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	116,120	0.1%	17	211	17	30	17	3,871	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	229,123,440			8,446		579		395,723	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

茂木	逆川	中川	須藤	その他
----	----	----	----	-----

【須藤】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,641,237	1.3%	12	389	13	110	10	14,920	13
II. 新生物<腫瘍>	17,811,183	14.3%	1	503	11	136	7	130,965	2
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	676,641	0.5%	16	158	17	51	15	13,267	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	16,241,677	13.1%	3	2,219	2	238	1	68,242	5
V. 精神及び行動の障害	11,041,056	8.9%	5	739	7	61	14	181,001	1
VI. 神経系の疾患	6,181,131	5.0%	9	967	6	103	11	60,011	7
VII. 眼及び付属器の疾患	7,184,222	5.8%	8	721	8	147	6	48,872	8
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	625,046	0.5%	17	165	16	42	16	14,882	14
IX. 循環器系の疾患	16,653,378	13.4%	2	2,379	1	227	2	73,363	4
X. 呼吸器系の疾患	8,108,530	6.5%	6	1,149	5	198	4	40,952	11
X I. 消化器系の疾患 ※	7,622,669	6.1%	7	1,697	3	201	3	37,924	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,607,140	1.3%	14	527	9	133	8	12,084	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	14,974,405	12.1%	4	1,325	4	182	5	82,277	3
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	6,076,770	4.9%	10	440	12	93	13	65,342	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	35,553	0.0%	18	7	19	3	19	11,851	18
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	23,365	0.0%	19	34	18	7	18	3,338	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,627,233	1.3%	13	524	10	128	9	12,713	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	4,682,877	3.8%	11	265	14	98	12	47,784	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,444,074	1.2%	15	207	15	31	17	46,583	10
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	2,233	0.0%	20	1	20	1	20	2,233	20
合計	124,260,420			6,443		432		287,640	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

茂木	逆川	中川	須藤	その他
----	----	----	----	-----

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	166,100	0.5%	11	27	11	4	9	41,525	10
II. 新生物<腫瘍>	16,285	0.0%	15	6	14	4	9	4,071	15
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	28,003	0.1%	13	42	7	5	7	5,601	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	472,142	1.4%	7	41	8	6	3	78,690	7
V. 精神及び行動の障害	4,490,676	13.6%	3	105	3	7	2	641,525	4
VI. 神経系の疾患	16,252,971	49.3%	1	148	1	9	1	1,805,886	1
VII. 眼及び付属器の疾患	50,505	0.2%	12	15	13	3	13	16,835	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,880	0.0%	16	1	16	1	15	2,880	16
IX. 循環器系の疾患	210,285	0.6%	10	85	4	6	3	35,048	11
X. 呼吸器系の疾患	387,319	1.2%	8	36	9	6	3	64,553	8
X I. 消化器系の疾患 ※	863,112	2.6%	5	112	2	6	3	143,852	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	18,839	0.1%	14	2	15	1	15	18,839	12
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	740,955	2.2%	6	63	5	5	7	148,191	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	5,733,028	17.4%	2	53	6	4	9	1,433,257	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	0	0.0%		0		0		0	
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	232,237	0.7%	9	34	10	4	9	58,059	9
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3,326,643	10.1%	4	21	12	2	14	1,663,322	2
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0.0%		0		0		0	
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	32,991,980			235		10		3,299,198	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

2. 中分類による疾病別医療費地区別統計

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

茂木	逆川	中川	須藤	その他
----	----	----	----	-----

【茂木】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	50,779,080	9.2%	217
2	0402	糖尿病	37,425,731	6.8%	596
3	0606	その他の神経系の疾患	29,463,695	5.3%	363
4	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	26,546,502	4.8%	70
5	0901	高血圧性疾患	25,888,523	4.7%	635
6	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	24,940,780	4.5%	235
7	0903	その他の心疾患	22,605,576	4.1%	243
8	1402	腎不全	18,268,752	3.3%	43
9	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	17,203,558	3.1%	69
10	1113	その他の消化器系の疾患	16,679,566	3.0%	540

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【逆川】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	26,734,762	8.6%	35
2	0606	その他の神経系の疾患	24,896,304	8.1%	179
3	0105	ウイルス性肝炎	14,511,381	4.7%	45
4	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	14,265,238	4.6%	10
5	0402	糖尿病	14,257,402	4.6%	282
6	0901	高血圧性疾患	13,921,205	4.5%	335
7	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	10,245,241	3.3%	64
8	1113	その他の消化器系の疾患	9,956,781	3.2%	281
9	0906	脳梗塞	7,660,031	2.5%	41
10	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	7,370,780	2.4%	107

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

茂木	逆川	中川	須藤	その他
----	----	----	----	-----

【中川】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0404 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	29,870,932	13.0%	88
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	20,135,166	8.8%	78
3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	15,596,968	6.8%	32
4	0606 その他の神経系の疾患	13,062,832	5.7%	148
5	1113 その他の消化器系の疾患	11,381,540	5.0%	179
6	0901 高血圧性疾患	9,955,201	4.3%	221
7	0402 糖尿病	9,565,744	4.2%	190
8	1402 腎不全	8,333,432	3.6%	12
9	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	6,370,965	2.8%	30
10	0403 脂質異常症	5,862,069	2.6%	173

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

【須藤】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	9,014,345	7.3%	57
2	0402 糖尿病	8,505,518	6.8%	157
3	0901 高血圧性疾患	7,854,530	6.3%	179
4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	5,688,471	4.6%	21
5	0606 その他の神経系の疾患	4,868,316	3.9%	92
6	1302 関節症	4,754,382	3.8%	54
7	0403 脂質異常症	4,690,715	3.8%	137
8	1402 腎不全	4,219,006	3.4%	10
9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	3,828,589	3.1%	99
10	1113 その他の消化器系の疾患	3,772,053	3.0%	142

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

茂木	逆川	中川	須藤	その他
----	----	----	----	-----

【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	8,618,531	26.1%	2
2	1402 腎不全	4,335,998	13.1%	2
3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	4,334,409	13.1%	5
4	0606 その他の神経系の疾患	4,129,232	12.5%	5
5	0603 てんかん	3,475,294	10.5%	6
6	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	3,313,348	10.0%	2
7	1404 その他の腎尿路系の疾患	1,279,853	3.9%	4
8	1309 骨の密度及び構造の障害	724,298	2.2%	3
9	1113 その他の消化器系の疾患	583,847	1.8%	5
10	0404 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	448,878	1.4%	4

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

茂木	逆川	中川	須藤	その他
----	----	----	----	-----

【茂木】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	25,888,523	635	42.9%
2	0402	糖尿病	37,425,731	596	40.2%
3	1113	その他の消化器系の疾患	16,679,566	540	36.5%
4	0403	脂質異常症	15,100,063	517	34.9%
5	0703	屈折及び調節の障害	1,861,774	434	29.3%
6	1006	アレルギー性鼻炎	4,392,765	425	28.7%
7	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,339,299	420	28.4%
8	1003	その他の急性上気道感染症	1,729,175	401	27.1%
9	1105	胃炎及び十二指腸炎	5,105,084	393	26.5%
10	0606	その他の神経系の疾患	29,463,695	363	24.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【逆川】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	13,921,205	335	43.6%
2	0402	糖尿病	14,257,402	282	36.7%
3	1113	その他の消化器系の疾患	9,956,781	281	36.6%
4	0403	脂質異常症	6,133,173	218	28.4%
5	0703	屈折及び調節の障害	1,023,663	215	28.0%
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,065,046	202	26.3%
7	1105	胃炎及び十二指腸炎	2,789,472	193	25.1%
8	1006	アレルギー性鼻炎	2,145,147	184	24.0%
9	1202	皮膚炎及び湿疹	2,455,304	183	23.8%
10	0606	その他の神経系の疾患	24,896,304	179	23.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

茂木	逆川	中川	須藤	その他
----	----	----	----	-----

【中川】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	9,955,201	221	38.2%
2	0402	糖尿病	9,565,744	190	32.8%
3	1113	その他の消化器系の疾患	11,381,540	179	30.9%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,060,814	179	30.9%
5	0403	脂質異常症	5,862,069	173	29.9%
6	1006	アレルギー性鼻炎	1,669,296	162	28.0%
7	1003	その他の急性上気道感染症	1,058,970	159	27.5%
8	0703	屈折及び調節の障害	697,039	152	26.3%
9	0606	その他の神経系の疾患	13,062,832	148	25.6%
10	1202	皮膚炎及び湿疹	1,175,519	142	24.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【須藤】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	7,854,530	179	41.4%
2	0402	糖尿病	8,505,518	157	36.3%
3	1113	その他の消化器系の疾患	3,772,053	142	32.9%
4	0403	脂質異常症	4,690,715	137	31.7%
5	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,627,233	128	29.6%
5	0703	屈折及び調節の障害	712,021	128	29.6%
7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	3,828,589	99	22.9%
8	1202	皮膚炎及び湿疹	592,045	96	22.2%
9	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,335,658	93	21.5%
9	1006	アレルギー性鼻炎	1,020,259	93	21.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

茂木	逆川	中川	須藤	その他
----	----	----	----	-----

【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0603	てんかん	3,475,294	6	60.0%
2	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	4,334,409	5	50.0%
2	0606	その他の神経系の疾患	4,129,232	5	50.0%
2	1113	その他の消化器系の疾患	583,847	5	50.0%
2	0301	貧血	27,593	5	50.0%
6	1404	その他の腎尿路系の疾患	1,279,853	4	40.0%
6	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	448,878	4	40.0%
6	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	331,540	4	40.0%
6	1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	232,237	4	40.0%
10	1309	骨の密度及び構造の障害	724,298	3	30.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

年度別 特定健康診査結果分析

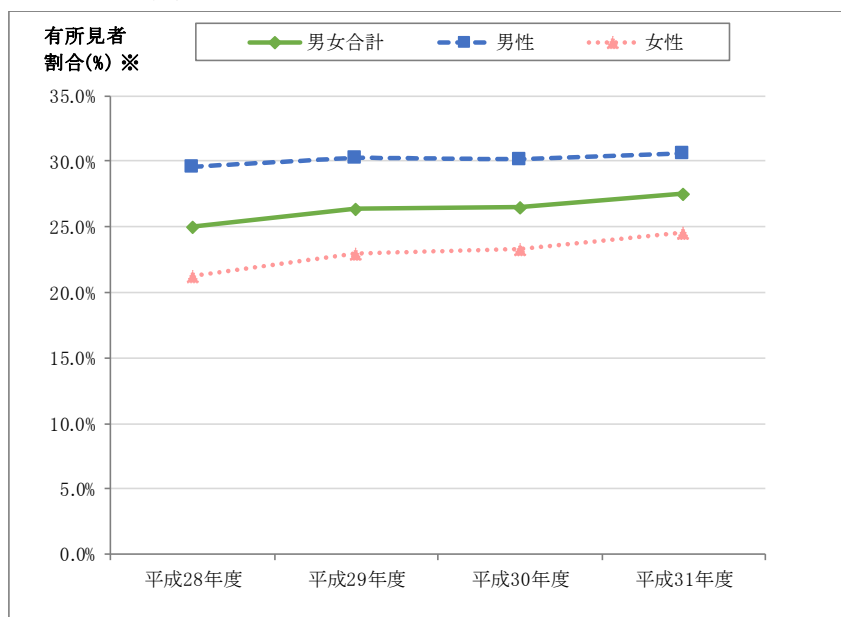
1. 有所見者割合

平成28年度から平成31年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合 (BMI)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,404	1,455	1,525	1,516
	有所見者数(人) ※	352	384	405	417
	有所見者割合(%) ※	25.1%	26.4%	26.6%	27.5%
男性	対象者数(人) ※	641	681	730	746
	有所見者数(人) ※	190	206	220	228
	有所見者割合(%) ※	29.6%	30.2%	30.1%	30.6%
女性	対象者数(人) ※	763	774	795	770
	有所見者数(人) ※	162	178	185	189
	有所見者割合(%) ※	21.2%	23.0%	23.3%	24.5%

年度別 有所見者割合 (BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

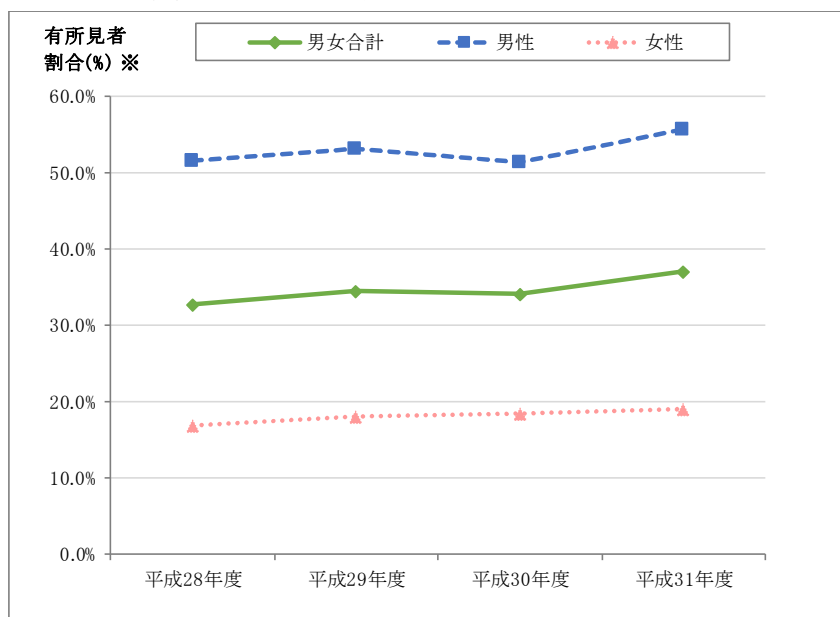
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,403	1,455	1,525	1,516
	有所見者数(人) ※	459	502	520	562
	有所見者割合(%) ※	32.7%	34.5%	34.1%	37.1%
男性	対象者数(人) ※	641	681	730	746
	有所見者数(人) ※	330	362	374	415
	有所見者割合(%) ※	51.5%	53.2%	51.2%	55.6%
女性	対象者数(人) ※	762	774	795	770
	有所見者数(人) ※	129	140	146	147
	有所見者割合(%) ※	16.9%	18.1%	18.4%	19.1%

年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

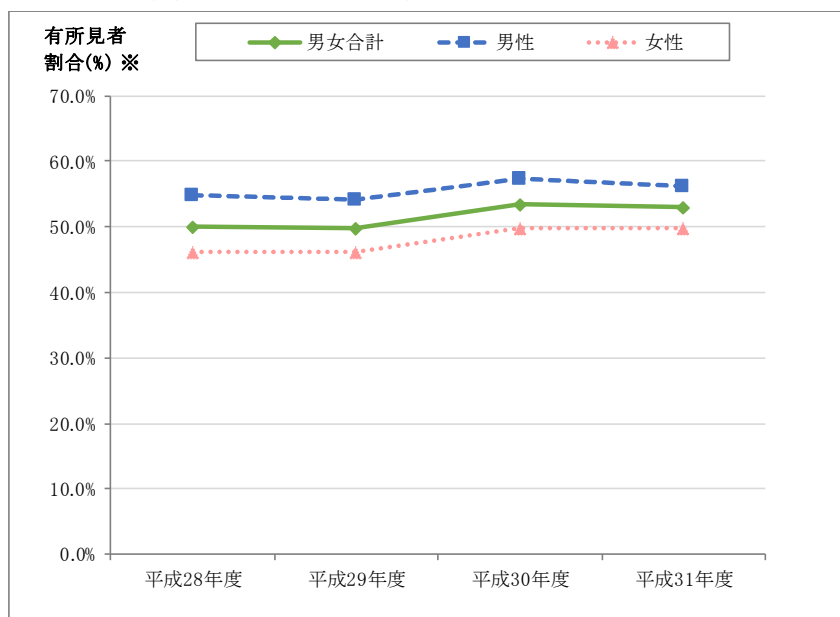
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,404	1,455	1,525	1,516
	有所見者数(人) ※	703	726	814	803
	有所見者割合(%) ※	50.1%	49.9%	53.4%	53.0%
男性	対象者数(人) ※	641	681	730	746
	有所見者数(人) ※	351	369	418	420
	有所見者割合(%) ※	54.8%	54.2%	57.3%	56.3%
女性	対象者数(人) ※	763	774	795	770
	有所見者数(人) ※	352	357	396	383
	有所見者割合(%) ※	46.1%	46.1%	49.8%	49.7%

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

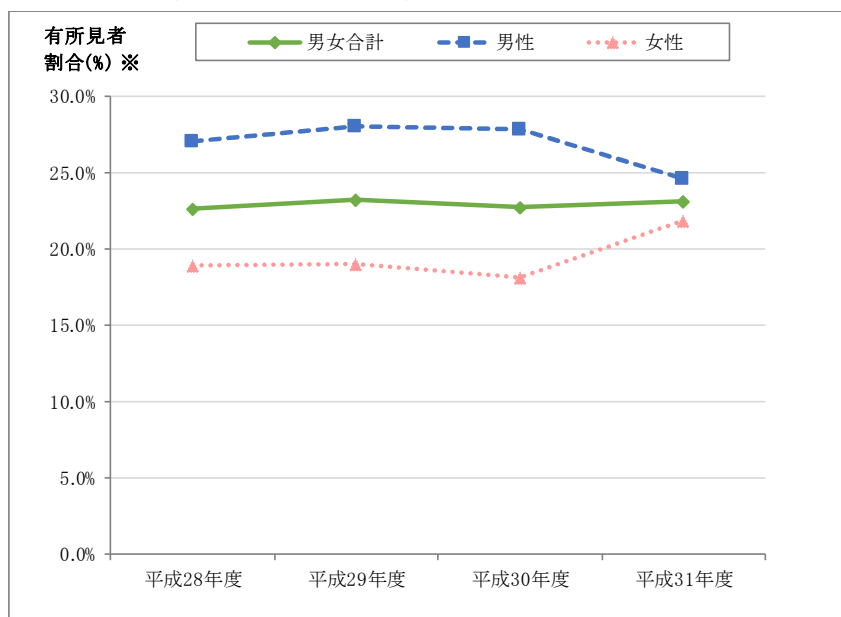
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,404	1,455	1,525	1,516
	有所見者数(人) ※	317	338	347	351
	有所見者割合(%) ※	22.6%	23.2%	22.8%	23.2%
男性	対象者数(人) ※	641	681	730	746
	有所見者数(人) ※	173	191	203	183
	有所見者割合(%) ※	27.0%	28.0%	27.8%	24.5%
女性	対象者数(人) ※	763	774	795	770
	有所見者数(人) ※	144	147	144	168
	有所見者割合(%) ※	18.9%	19.0%	18.1%	21.8%

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

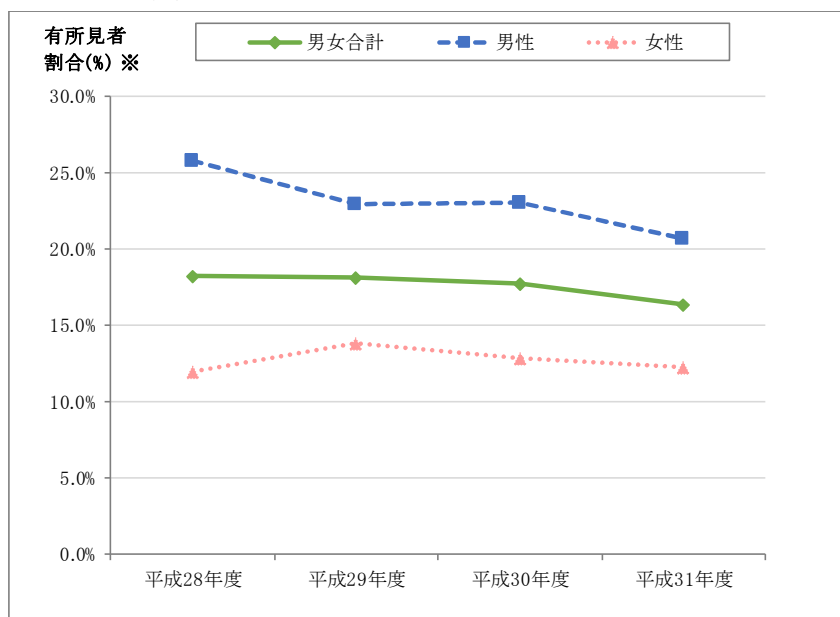
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,404	1,455	1,525	1,516
	有所見者数(人) ※	256	263	270	248
	有所見者割合(%) ※	18.2%	18.1%	17.7%	16.4%
男性	対象者数(人) ※	641	681	730	746
	有所見者数(人) ※	165	156	168	154
	有所見者割合(%) ※	25.7%	22.9%	23.0%	20.6%
女性	対象者数(人) ※	763	774	795	770
	有所見者数(人) ※	91	107	102	94
	有所見者割合(%) ※	11.9%	13.8%	12.8%	12.2%

年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

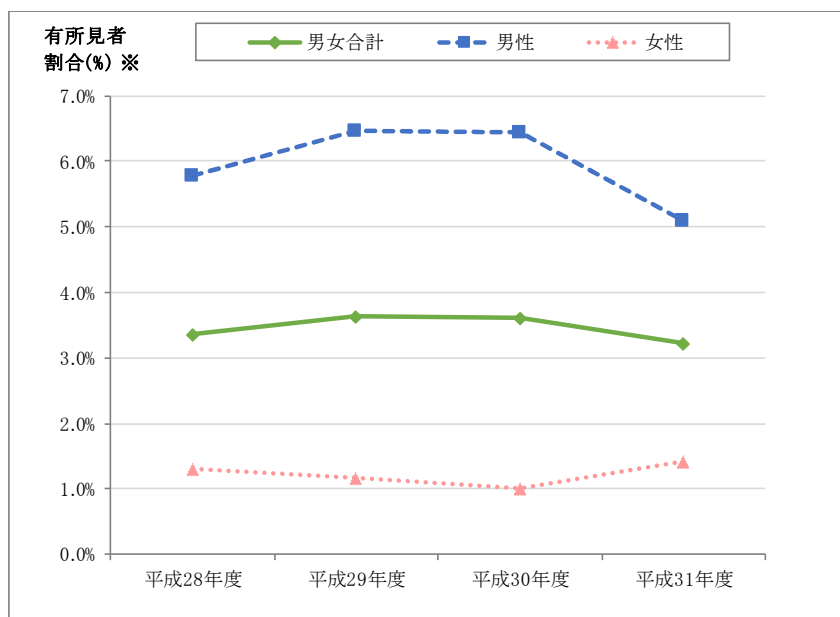
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

年度別 有所見者割合 (HDLコレステロール)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,404	1,455	1,525	1,516
	有所見者数(人) ※	47	53	55	49
	有所見者割合(%) ※	3.3%	3.6%	3.6%	3.2%
男性	対象者数(人) ※	641	681	730	746
	有所見者数(人) ※	37	44	47	38
	有所見者割合(%) ※	5.8%	6.5%	6.4%	5.1%
女性	対象者数(人) ※	763	774	795	770
	有所見者数(人) ※	10	9	8	11
	有所見者割合(%) ※	1.3%	1.2%	1.0%	1.4%

年度別 有所見者割合 (HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

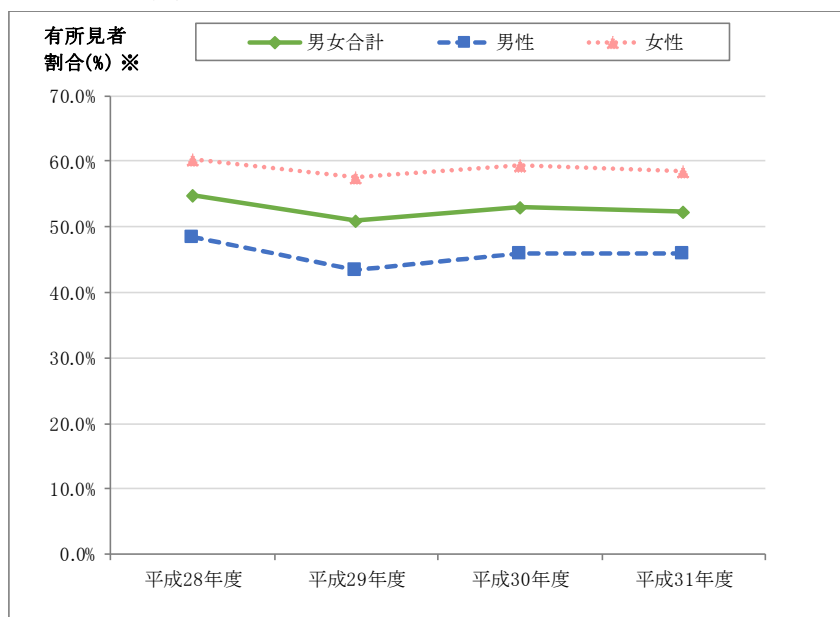
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,404	1,455	1,525	1,516
	有所見者数(人) ※	771	742	808	792
	有所見者割合(%) ※	54.9%	51.0%	53.0%	52.2%
男性	対象者数(人) ※	641	681	730	746
	有所見者数(人) ※	311	296	335	342
	有所見者割合(%) ※	48.5%	43.5%	45.9%	45.8%
女性	対象者数(人) ※	763	774	795	770
	有所見者数(人) ※	460	446	473	450
	有所見者割合(%) ※	60.3%	57.6%	59.5%	58.4%

年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

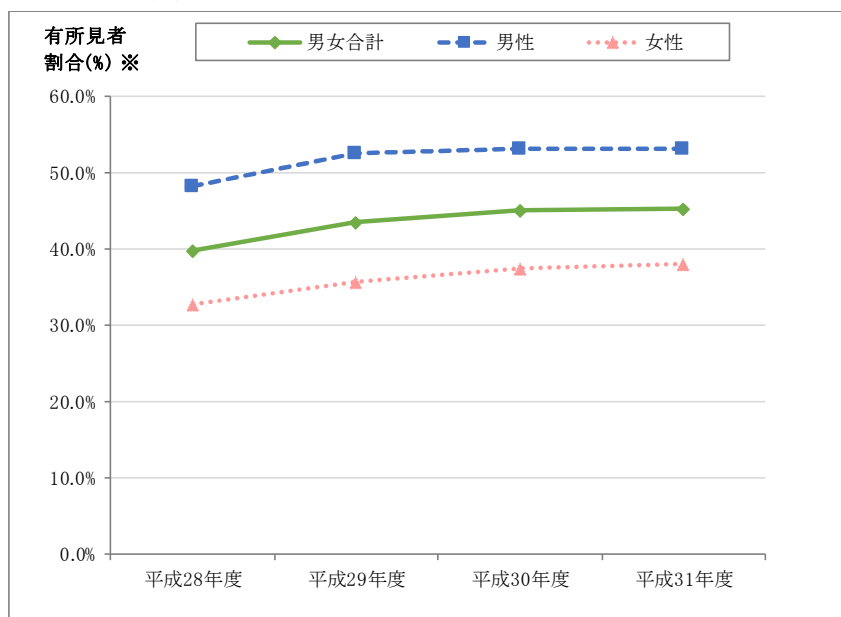
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,344	1,386	1,444	1,444
	有所見者数(人) ※	534	603	649	654
	有所見者割合(%) ※	39.7%	43.5%	44.9%	45.3%
男性	対象者数(人) ※	608	641	695	704
	有所見者数(人) ※	293	337	369	373
	有所見者割合(%) ※	48.2%	52.6%	53.1%	53.0%
女性	対象者数(人) ※	736	745	749	740
	有所見者数(人) ※	241	266	280	281
	有所見者割合(%) ※	32.7%	35.7%	37.4%	38.0%

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

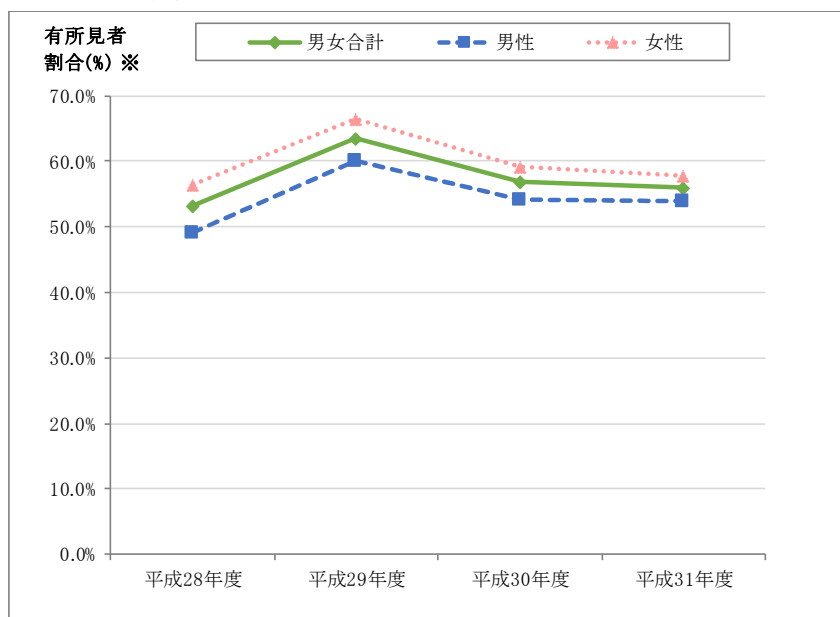
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,404	1,455	1,525	1,516
	有所見者数(人) ※	746	924	867	848
	有所見者割合(%) ※	53.1%	63.5%	56.9%	55.9%
男性	対象者数(人) ※	641	681	730	746
	有所見者数(人) ※	315	409	396	403
	有所見者割合(%) ※	49.1%	60.1%	54.2%	54.0%
女性	対象者数(人) ※	763	774	795	770
	有所見者数(人) ※	431	515	471	445
	有所見者割合(%) ※	56.5%	66.5%	59.2%	57.8%

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c (NGSP) : 5.6%以上

2. 質問別回答状況

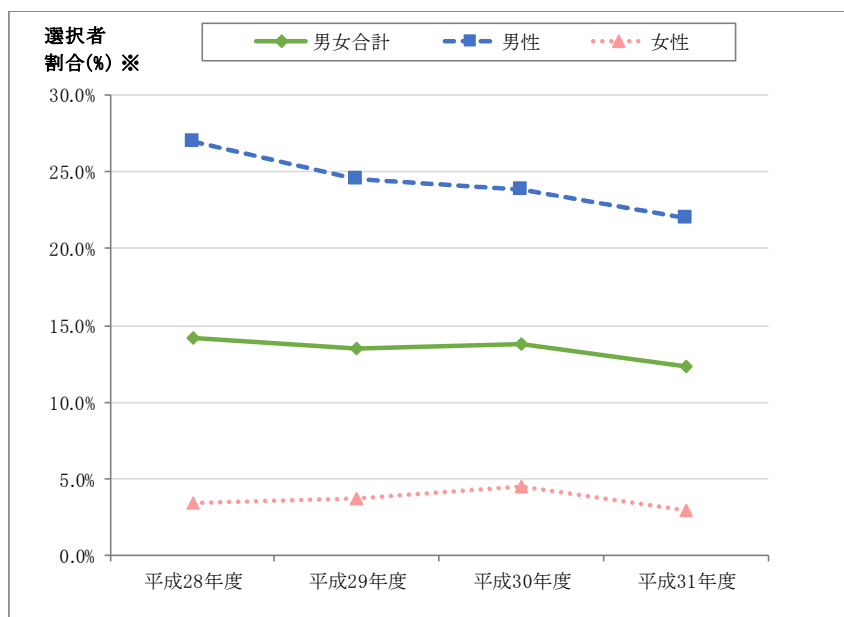
平成28年度から平成31年度の特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・咀嚼・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を年度別に示す。

①喫煙習慣

年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,404	1,454	1,525	1,516
	選択者数(人) ※	199	196	210	187
	選択者割合(%) ※	14.2%	13.5%	13.8%	12.3%
男性	質問回答者数(人) ※	641	681	730	746
	選択者数(人) ※	173	167	174	164
	選択者割合(%) ※	27.0%	24.5%	23.8%	22.0%
女性	質問回答者数(人) ※	763	773	795	770
	選択者数(人) ※	26	29	36	23
	選択者割合(%) ※	3.4%	3.8%	4.5%	3.0%

年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

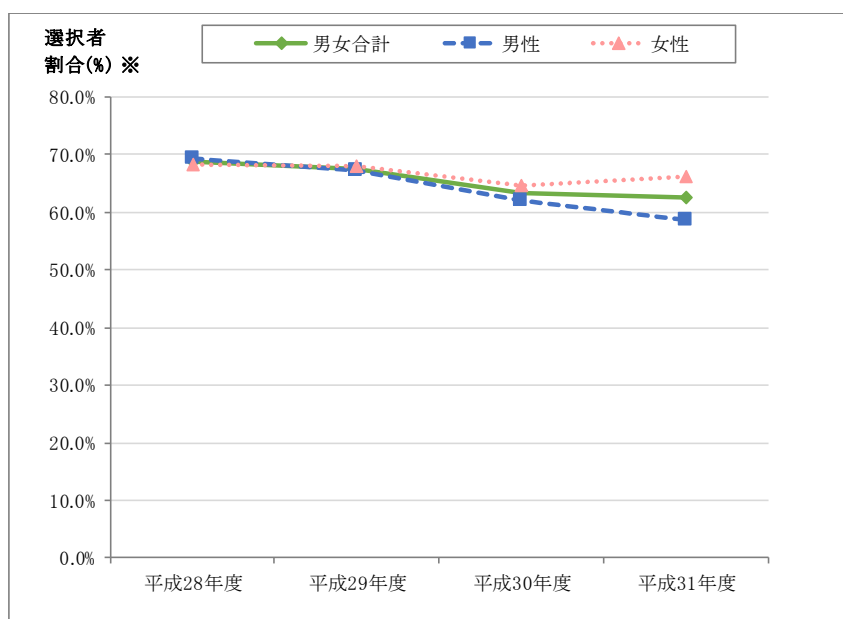
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

②運動習慣

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,391	1,454	1,525	1,516
	選択者数(人) ※	956	983	967	947
	選択者割合(%) ※	68.7%	67.6%	63.4%	62.5%
男性	質問回答者数(人) ※	632	681	730	746
	選択者数(人) ※	438	458	453	437
	選択者割合(%) ※	69.3%	67.3%	62.1%	58.6%
女性	質問回答者数(人) ※	759	773	795	770
	選択者数(人) ※	518	525	514	510
	選択者割合(%) ※	68.2%	67.9%	64.7%	66.2%

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

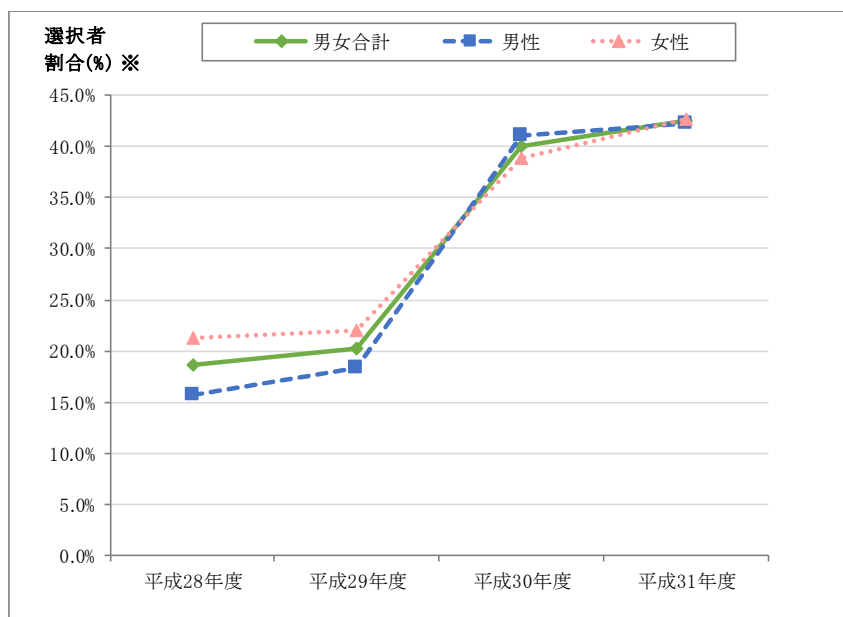
※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,379	1,419	1,524	1,516
	選択者数(人) ※	258	288	609	644
	選択者割合(%) ※	18.7%	20.3%	40.0%	42.5%
男性	質問回答者数(人) ※	626	658	730	746
	選択者数(人) ※	98	121	300	315
	選択者割合(%) ※	15.7%	18.4%	41.1%	42.2%
女性	質問回答者数(人) ※	753	761	794	770
	選択者数(人) ※	160	167	309	329
	選択者割合(%) ※	21.2%	21.9%	38.9%	42.7%

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

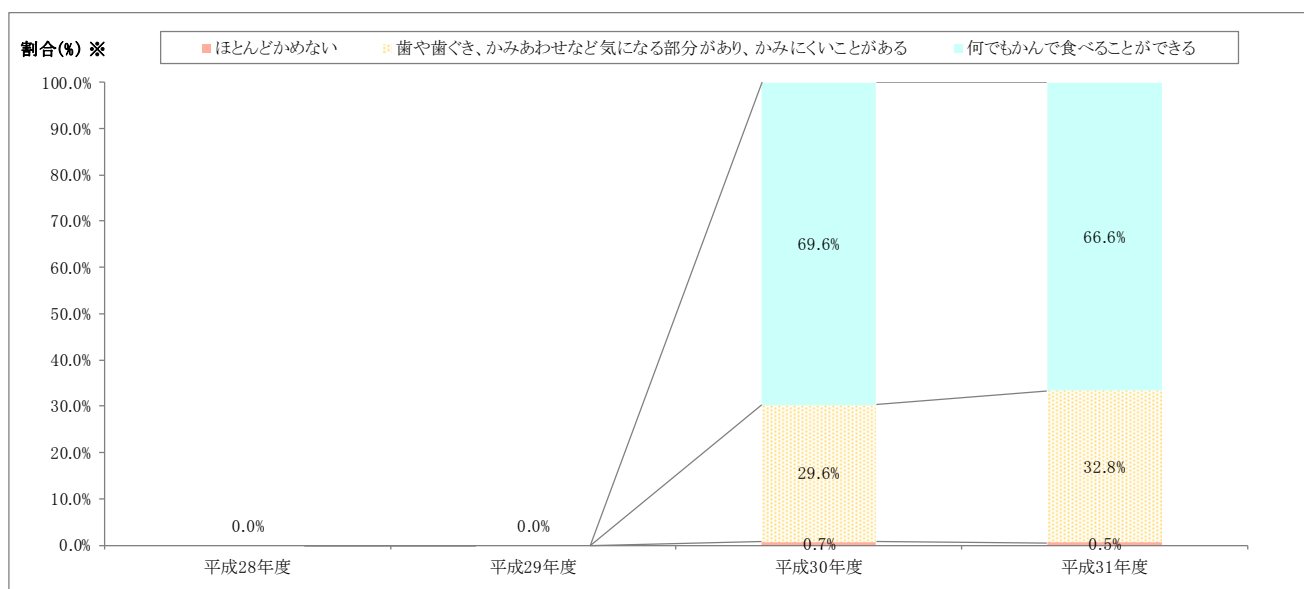
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

③咀嚼

年度別 咀嚼の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	ほとんどかめない		歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある		何でもかんで食べることができる	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成28年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成29年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成30年度	1,525	11	0.7%	452	29.6%	1,062	69.6%
平成31年度	1,502	8	0.5%	493	32.8%	1,001	66.6%

年度別 咀嚼の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食事をかんで食べる時の状態に回答した人数。

※選択者数…食事をかんで食べる時の状態の選択肢を選択した人数。

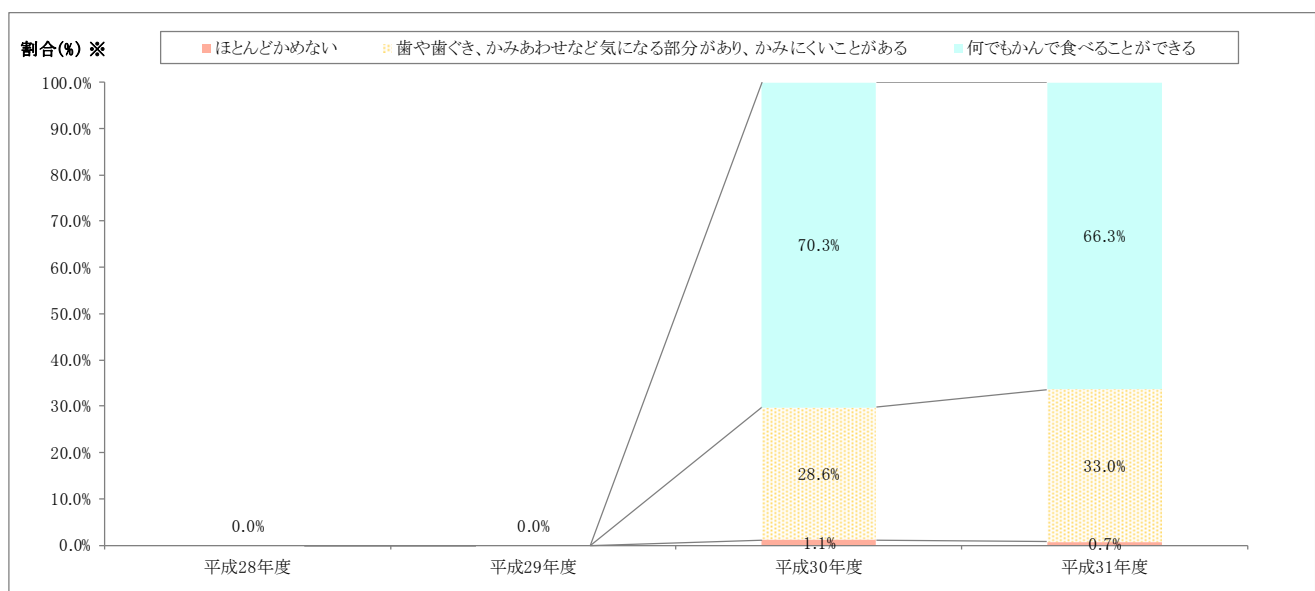
※割合…食事をかんで食べる時の状態に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

咀嚼…「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 咀嚼の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	ほとんどかめない		歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある		何でもかんで食べることができる	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成28年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成29年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成30年度	730	8	1.1%	209	28.6%	513	70.3%
平成31年度	739	5	0.7%	244	33.0%	490	66.3%

年度別 咀嚼の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食事をかんで食べる時の状態に回答した人数。

※選択者数…食事をかんで食べる時の状態の選択肢を選択した人数。

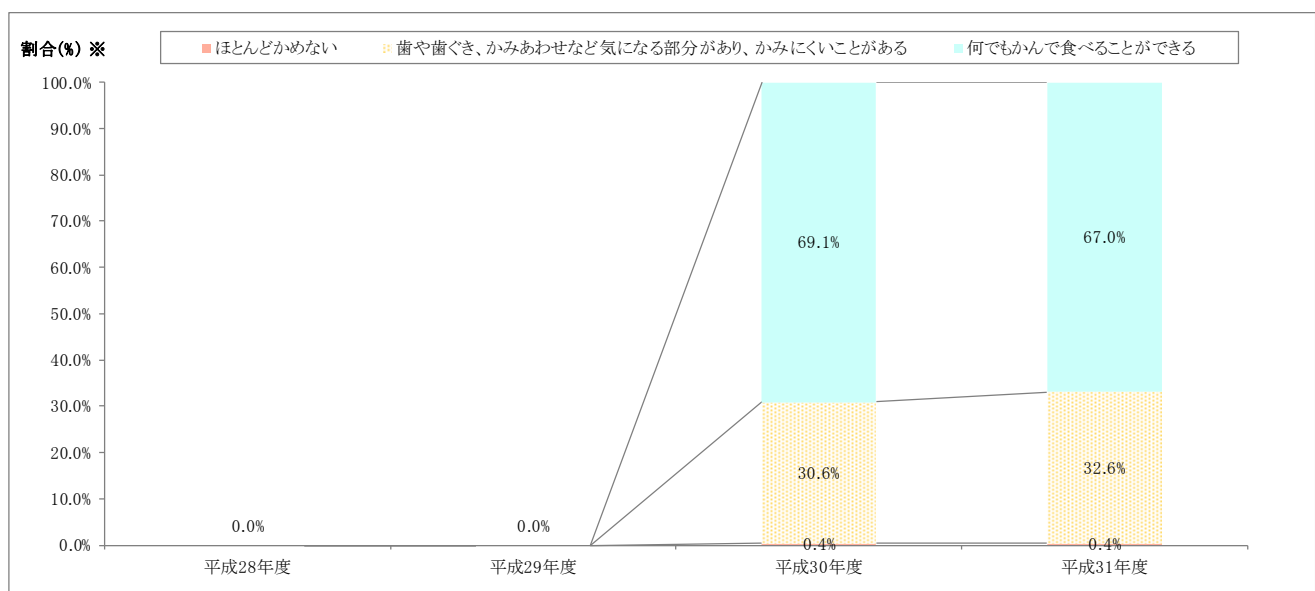
※割合…食事をかんで食べる時の状態に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

咀嚼…「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 咀嚼の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	ほとんどかめない		歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある		何でもかんで食べることができる	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成28年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成29年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成30年度	795	3	0.4%	243	30.6%	549	69.1%
平成31年度	763	3	0.4%	249	32.6%	511	67.0%

年度別 咀嚼の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食事をかんで食べる時の状態に回答した人数。

※選択者数 …食事をかんで食べる時の状態の選択肢を選択した人数。

※割合 …食事をかんで食べる時の状態に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

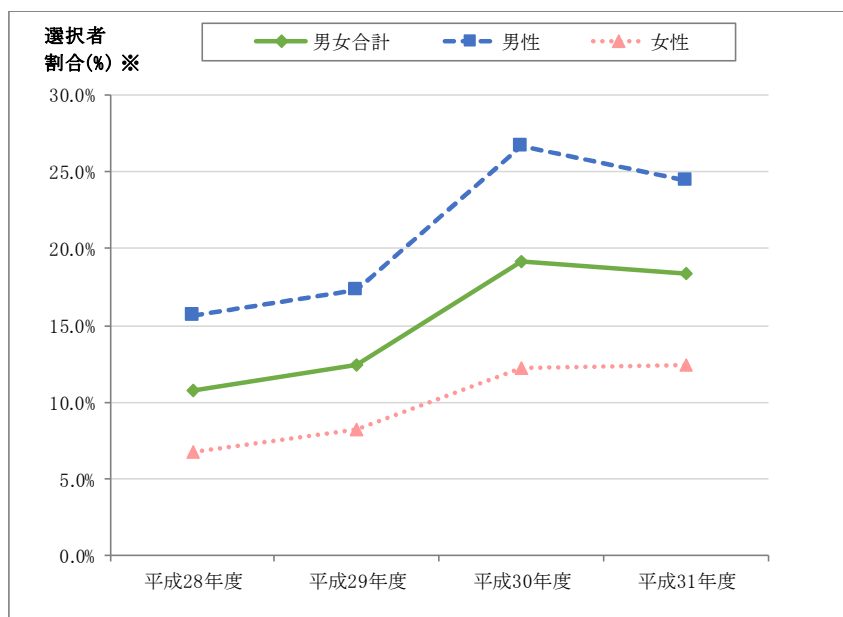
咀嚼…「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答数を集計。

④食習慣

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,379	1,419	1,524	1,516
	選択者数(人) ※	149	177	292	278
	選択者割合(%) ※	10.8%	12.5%	19.2%	18.3%
男性	質問回答者数(人) ※	626	658	730	746
	選択者数(人) ※	98	114	195	182
	選択者割合(%) ※	15.7%	17.3%	26.7%	24.4%
女性	質問回答者数(人) ※	753	761	794	770
	選択者数(人) ※	51	63	97	96
	選択者割合(%) ※	6.8%	8.3%	12.2%	12.5%

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

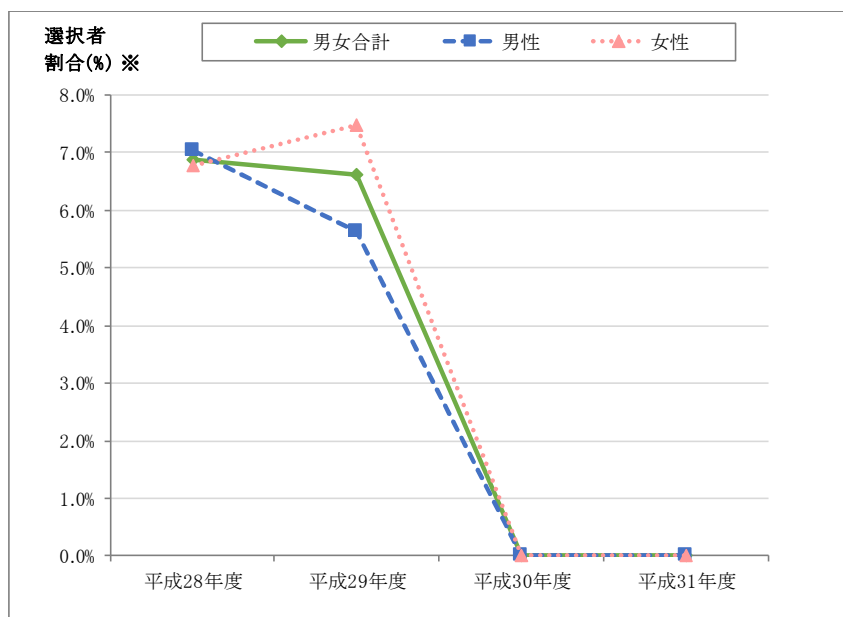
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,379	1,419	0	0
	選択者数(人) ※	95	94	0	0
	選択者割合(%) ※	6.9%	6.6%	0.0%	0.0%
男性	質問回答者数(人) ※	626	658	0	0
	選択者数(人) ※	44	37	0	0
	選択者割合(%) ※	7.0%	5.6%	0.0%	0.0%
女性	質問回答者数(人) ※	753	761	0	0
	選択者数(人) ※	51	57	0	0
	選択者割合(%) ※	6.8%	7.5%	0.0%	0.0%

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。

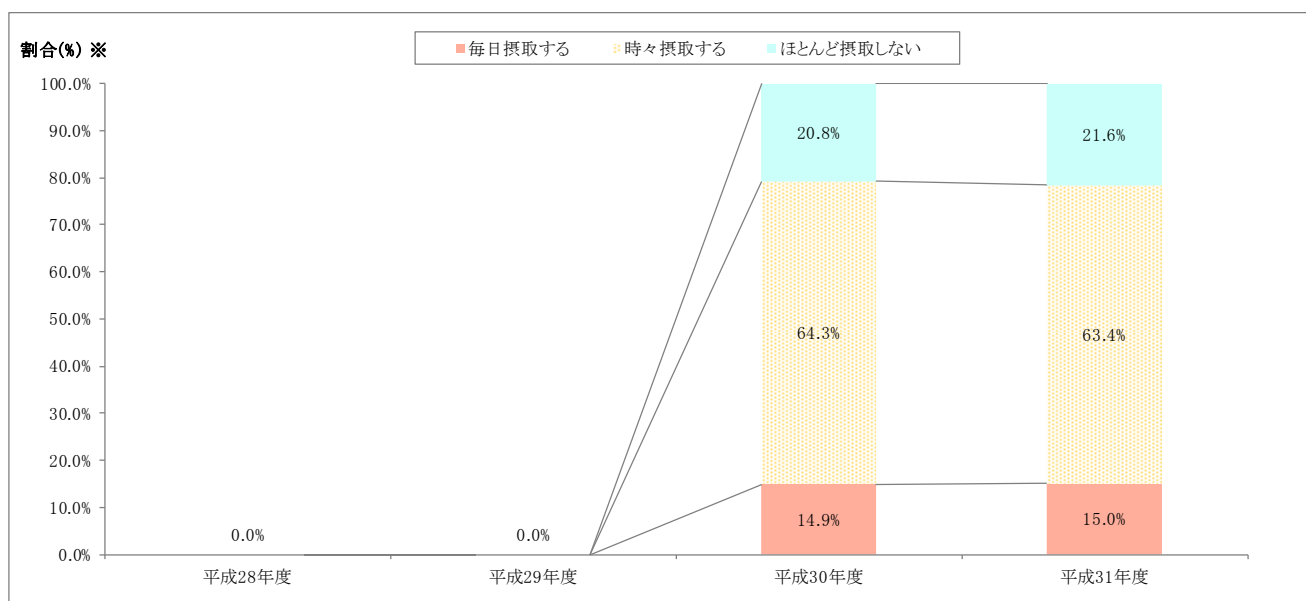
週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

※平成30年度以降で廃止された質問項目。

年度別 間食の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日摂取する		時々摂取する		ほとんど摂取しない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成28年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成29年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成30年度	1,525	227	14.9%	981	64.3%	317	20.8%
平成31年度	1,516	228	15.0%	961	63.4%	327	21.6%

年度別 間食の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人数。

※選択者数…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物の選択肢を選択した人数。

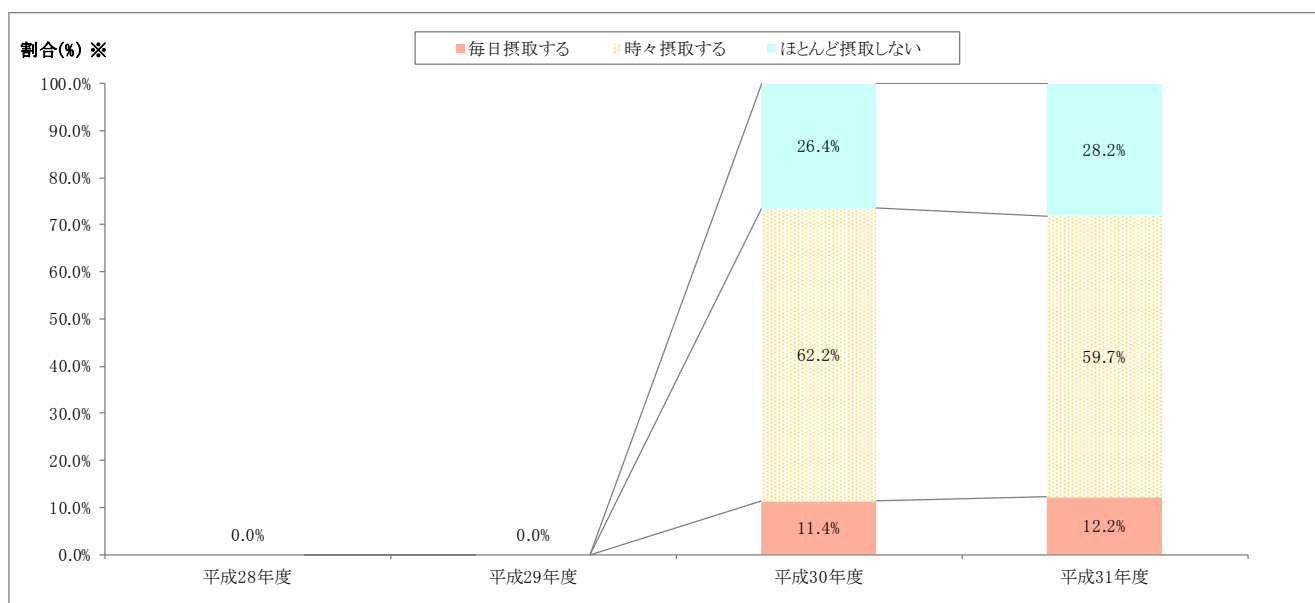
※割合…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

間食…「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 間食の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日摂取する		時々摂取する		ほとんど摂取しない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成28年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成29年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成30年度	730	83	11.4%	454	62.2%	193	26.4%
平成31年度	746	91	12.2%	445	59.7%	210	28.2%

年度別 間食の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人数。

※選択者数…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物の選択肢を選択した人数。

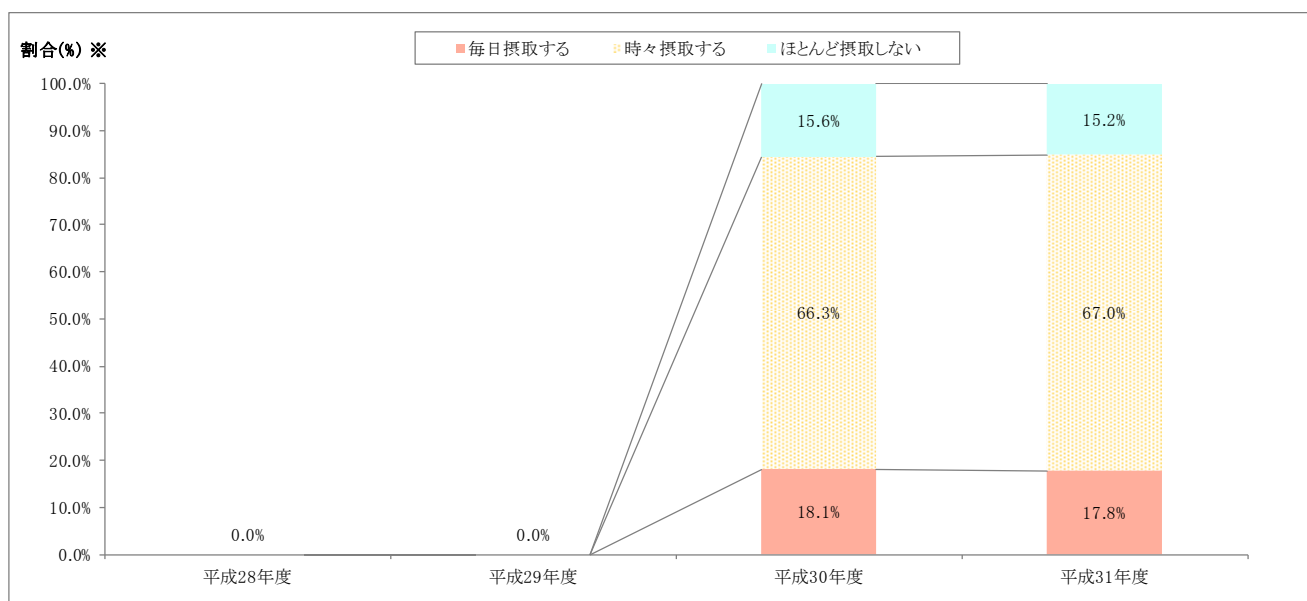
※割合…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

間食…「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 間食の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日摂取する		時々摂取する		ほとんど摂取しない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成28年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成29年度	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成30年度	795	144	18.1%	527	66.3%	124	15.6%
平成31年度	770	137	17.8%	516	67.0%	117	15.2%

年度別 間食の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人数。

※選択者数…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物の選択肢を選択した人数。

※割合…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

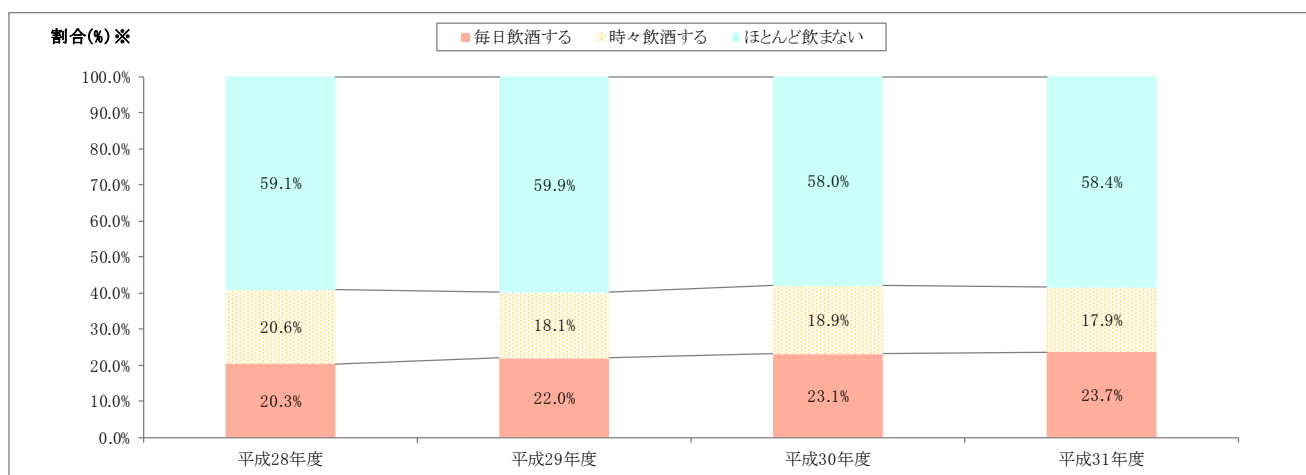
間食…「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答数を集計。

⑤飲酒習慣

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成28年度	1,404	285	20.3%	289	20.6%	830	59.1%
平成29年度	1,437	316	22.0%	260	18.1%	861	59.9%
平成30年度	1,525	353	23.1%	288	18.9%	884	58.0%
平成31年度	1,516	359	23.7%	272	17.9%	885	58.4%

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

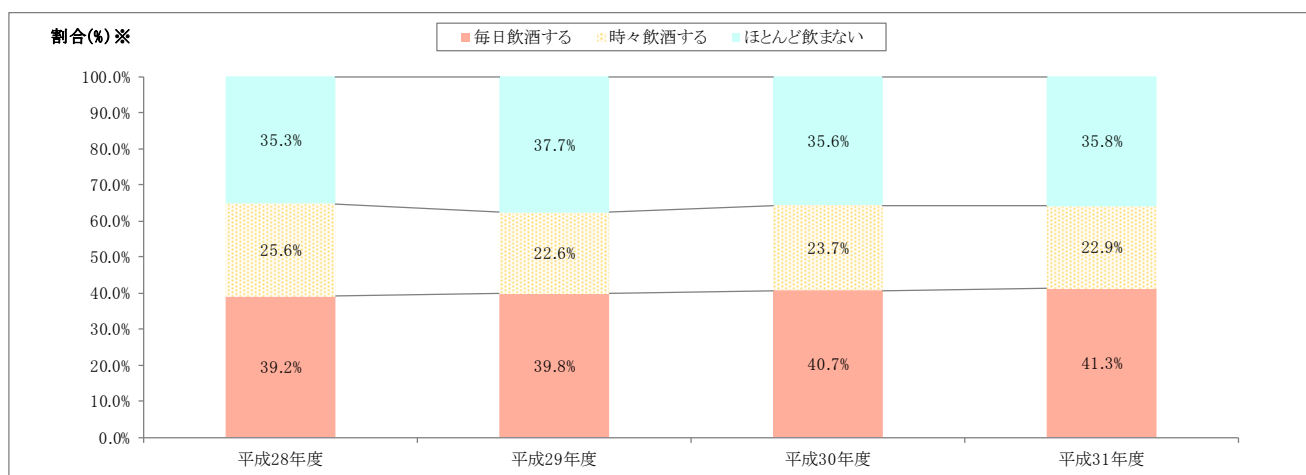
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成28年度	641	251	39.2%	164	25.6%	226	35.3%
平成29年度	674	268	39.8%	152	22.6%	254	37.7%
平成30年度	730	297	40.7%	173	23.7%	260	35.6%
平成31年度	746	308	41.3%	171	22.9%	267	35.8%

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数 …飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

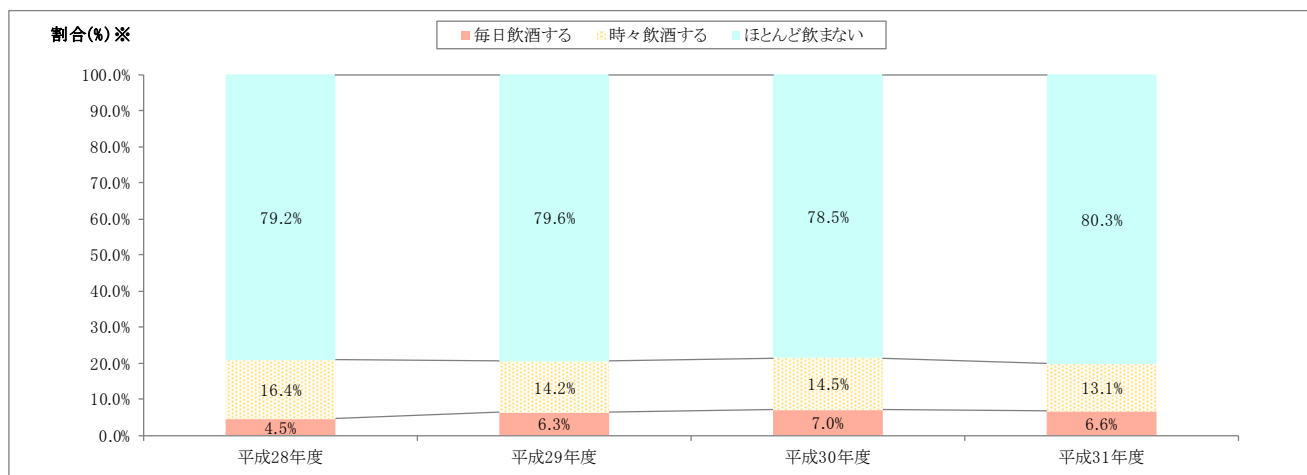
※割合 …飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成28年度	763	34	4.5%	125	16.4%	604	79.2%
平成29年度	763	48	6.3%	108	14.2%	607	79.6%
平成30年度	795	56	7.0%	115	14.5%	624	78.5%
平成31年度	770	51	6.6%	101	13.1%	618	80.3%

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

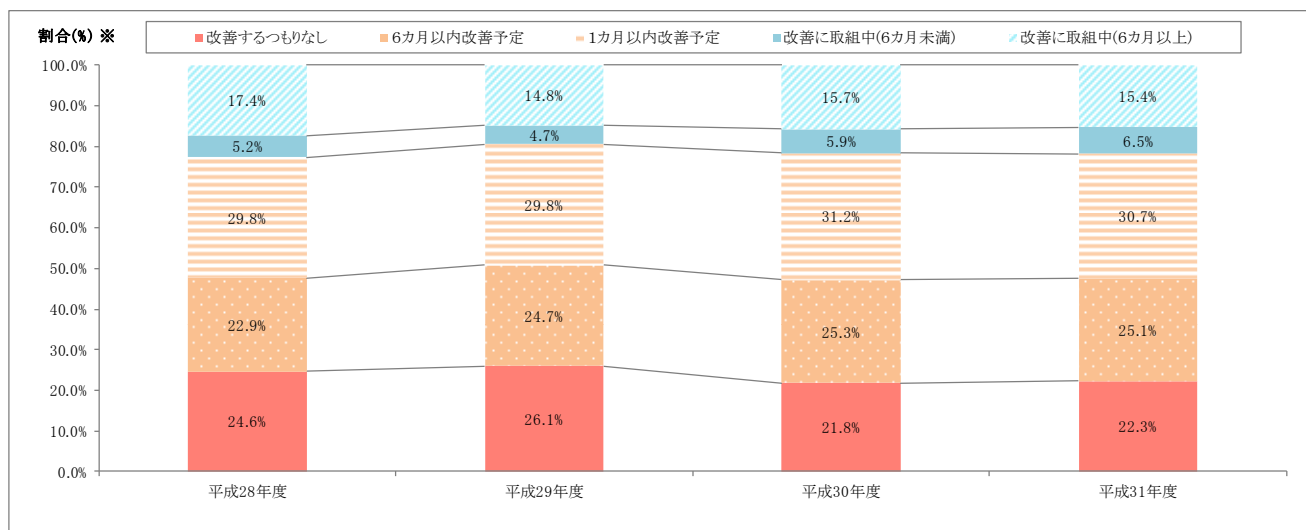
⑥生活習慣

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成28年度	1,377	339	24.6%	316	22.9%	410	29.8%
平成29年度	1,419	370	26.1%	350	24.7%	423	29.8%
平成30年度	1,525	333	21.8%	386	25.3%	476	31.2%
平成31年度	1,514	338	22.3%	380	25.1%	465	30.7%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成28年度	1,377	72	5.2%	240	17.4%
平成29年度	1,419	66	4.7%	210	14.8%
平成30年度	1,525	90	5.9%	240	15.7%
平成31年度	1,514	98	6.5%	233	15.4%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

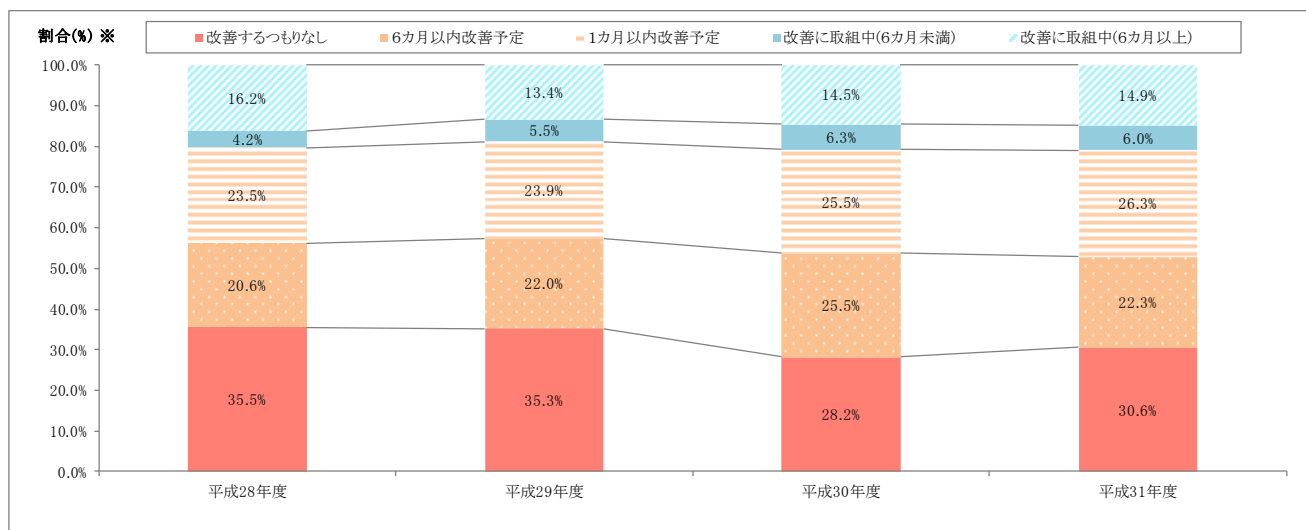
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成28年度	625	222	35.5%	129	20.6%	147	23.5%
平成29年度	658	232	35.3%	145	22.0%	157	23.9%
平成30年度	730	206	28.2%	186	25.5%	186	25.5%
平成31年度	746	228	30.6%	166	22.3%	196	26.3%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成28年度	625	26	4.2%	101	16.2%
平成29年度	658	36	5.5%	88	13.4%
平成30年度	730	46	6.3%	106	14.5%
平成31年度	746	45	6.0%	111	14.9%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

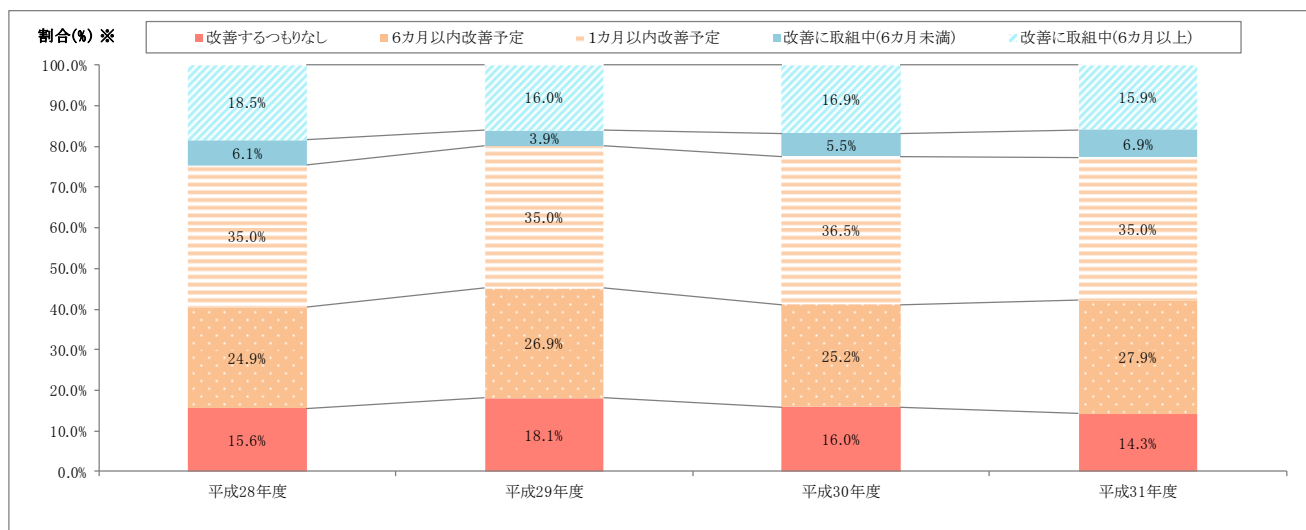
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成28年度	752	117	15.6%	187	24.9%	263	35.0%
平成29年度	761	138	18.1%	205	26.9%	266	35.0%
平成30年度	795	127	16.0%	200	25.2%	290	36.5%
平成31年度	768	110	14.3%	214	27.9%	269	35.0%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成28年度	752	46	6.1%	139	18.5%
平成29年度	761	30	3.9%	122	16.0%
平成30年度	795	44	5.5%	134	16.9%
平成31年度	768	53	6.9%	122	15.9%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～令和2年3月健診分(48カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

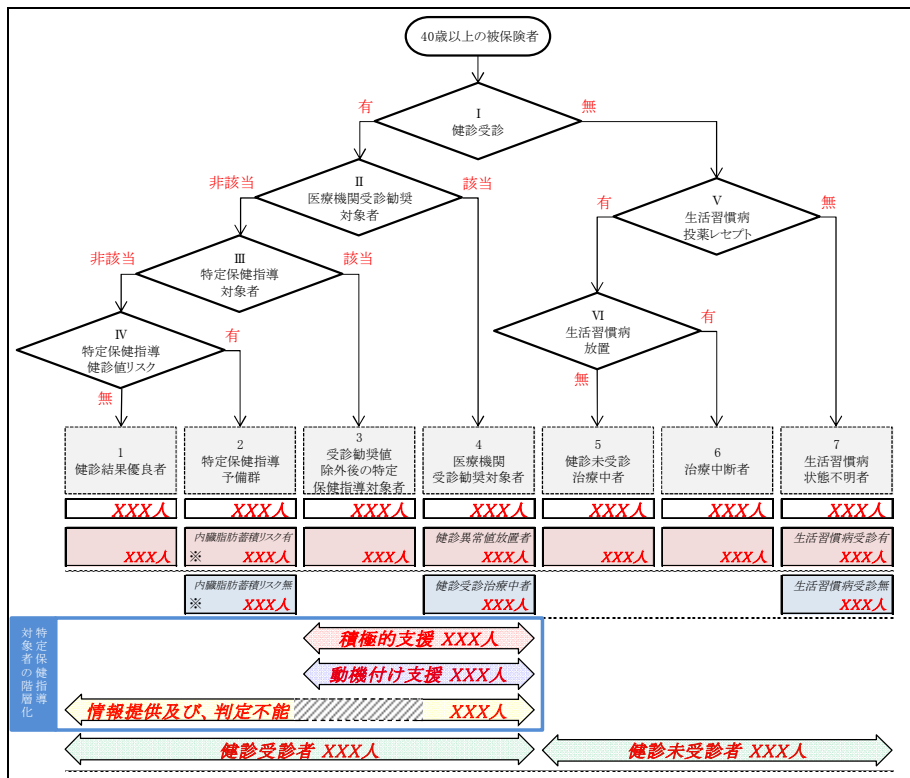
※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

巻末資料

1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 … 健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 … 健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 … 厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【平成30年度版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク … 厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト … 生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 … 生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

- 健診受診あり
1. 健診結果優良者 … 保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
 2. 特定保健指導予備群 … 保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 内臓脂肪蓄積リスク有 … 「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 内臓脂肪蓄積リスク無 … 「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 … 受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
 4. 医療機関受診勧奨対象者 … 受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
 健診異常値放置者 … 「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 健診受診治療中者 … 「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため医療機関受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
5. 健診未受診治療中者 … 生活習慣病治療中の者。
 6. 治療中断者 … 過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
 7. 生活習慣病の投薬治療をしていない者 … 生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 生活習慣病受診有 … 「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 生活習慣病受診無 … 「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

3. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	膵癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性陰炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性陰炎	陰炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		

茂木町国民健康保険第2期データヘルス計画
(令和3～7年度)

発効年月 令和3年3月

発効・編集 茂木町住民課国保年金係
〒321-3598

栃木県芳賀郡茂木町大字
茂木155番地

電話 0285-63-5629

FAX 0285-63-5600